

2020
No.109

冬季号

広報 ほねつぎ

公益社団法人 長野県柔道整復師会機関誌

柔道整復術公認100周年 長野県柔道整復師会創立95周年
社団法人設立50周年 長野県接骨師協同組合設立25周年
記念式典



グラビア

柔道整復術公認100周年
長野県柔道整復師会創立95周年
社団法人設立50周年
長野県接骨師協同組合設立25周年 記念式典

目次

巻頭挨拶

表紙『柔道整復術公認100周年 長野県柔道整復師会創立95周年
社団法人設立50周年 長野県接骨師協同組合設立25周年 記念式典』
柔道整復師とは

2 高田保会長・酒井正彦副会長・柏木久明副会長・保険部長
後藤茂之衆議院議員・宮下一郎衆議院議員・務台俊介衆議院議員
小松裕前衆議院議員・若林健太顧問

グラビア

11 柔道整復術公認100周年 長野県柔道整復師会創立95周年
社団法人設立50周年 長野県接骨師協同組合設立25周年
協同組合プレゼンテーション・公開記念講演・記念式典・記念祝賀会開催される

特集

18 令和元年台風第19号等に係る被害状況等について
19 台風19号による避難所でのボランティア活動参入の経過
20 台風19号災害による活動について
25 台風19号による激甚災害現場復旧の手伝い
27 柔道整復師会ボランティア活動報告
28 台風19号被災地支援救護ボランティア

レポート

30 一フレイル予防シンポジウム— 参加報告 —
32 『長野びんずる』臨時救護活動の報告
35 令和元年度 安曇野市総合防災訓練
38 令和元年度 松本市医療救護訓練
40 出口クリスタ選手 世界柔道選手権大会 優勝祝賀会
42 第3回松本マラソン トレーナー活動
44 工藤鉄男会長 旭日小綬章叙勲受章記念祝賀会
45 第4回日本赤十字社長野県支部・救護隊・(公社)長野県柔道整復師会赤十字特殊奉仕団との懇談会
48 介護予防事業関連の報告
50 南信支部学術大会・学術講演会(市民公開講座)
53 令和元年度 第35回中信支部学術大会
55 第2回諏訪地区中体連救護講習会
56 令和元年度 スポーツ医科学サポート会議
57 在宅医療シンポジウム in 信州
58 (公社)長野県柔道整復師会 令和元年度保険講習会 報告書
59 第24回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会を終えて
62 第28回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加して
64 — 第一回フレイル予防推進検討会 —

県事業報告

67 令和元年度 生涯学習講演会
69 令和元年度 生活習慣病予防健診(松本会場)
70 ホームページリニューアルについての打ち合わせ
71 令和元年度 健康保険組合連合会長野連合会と(公社)長野県柔道整復師会との懇談会

介護予防事業報告

73

スポーツ支援部の活動報告

82

北信越ブロック報告

88 北信越ブロック会長会報告 令和元年8月6日(火) 福井市
89 北信越ブロック会長会報告 令和元年10月3日(木) 金沢市
90 北信越ブロック会長会報告 令和元年12月5日(木) 富山市
91 令和元年度 日本柔道整復師会北信越ブロック理事会(秋)報告

支部だより

92 中信支部・保険部

会員のひろば

95 東信支部・北信支部・中信支部・南信支部

街かどあれこれ

102 中信支部・南信支部

新入会員紹介

106 北信支部・南信支部

部会報告

109 事業部・広報部・スポーツ支援部

会務報告

114 新入会員・会員の異動
広告

編集後記

123 表紙写真説明

柔道整復師とは

平成24年9月16日に日本医療福祉新聞社の発行した「営業法の解説」に、厚生省としての正式な見解を述べている。(これは昭和23年に厚生省の医務課現在の医事課で作成されたものの現代語版)

結論として、「本来は医師が当然行うべき医業の一部を免許により行うものである」こと、その業務は免許範囲内のものに限られる。営業法第一条は、国民医療法第一項に対する例外法、あるいは特別法として業務の範囲内において、医業の一部をなし得ることを規定している。

ここにいう免許は、医療禁止の一部解除を内容とする国家の行為であり、免許を受けた者は、夫々の業務の範囲内で医業の一部を行うことが許されることになる。そこで柔道整復師は、医業の一部を免許によって国から許された国家資格者である。

すなわち、柔道整復師は医業の一部を免許によって国から許されている柔道整復術について、国民が医療選択肢の一つとして理解できるように、自分たち柔道整復師も行政の行動を待つのではなく自分たちから情報発信するものである。

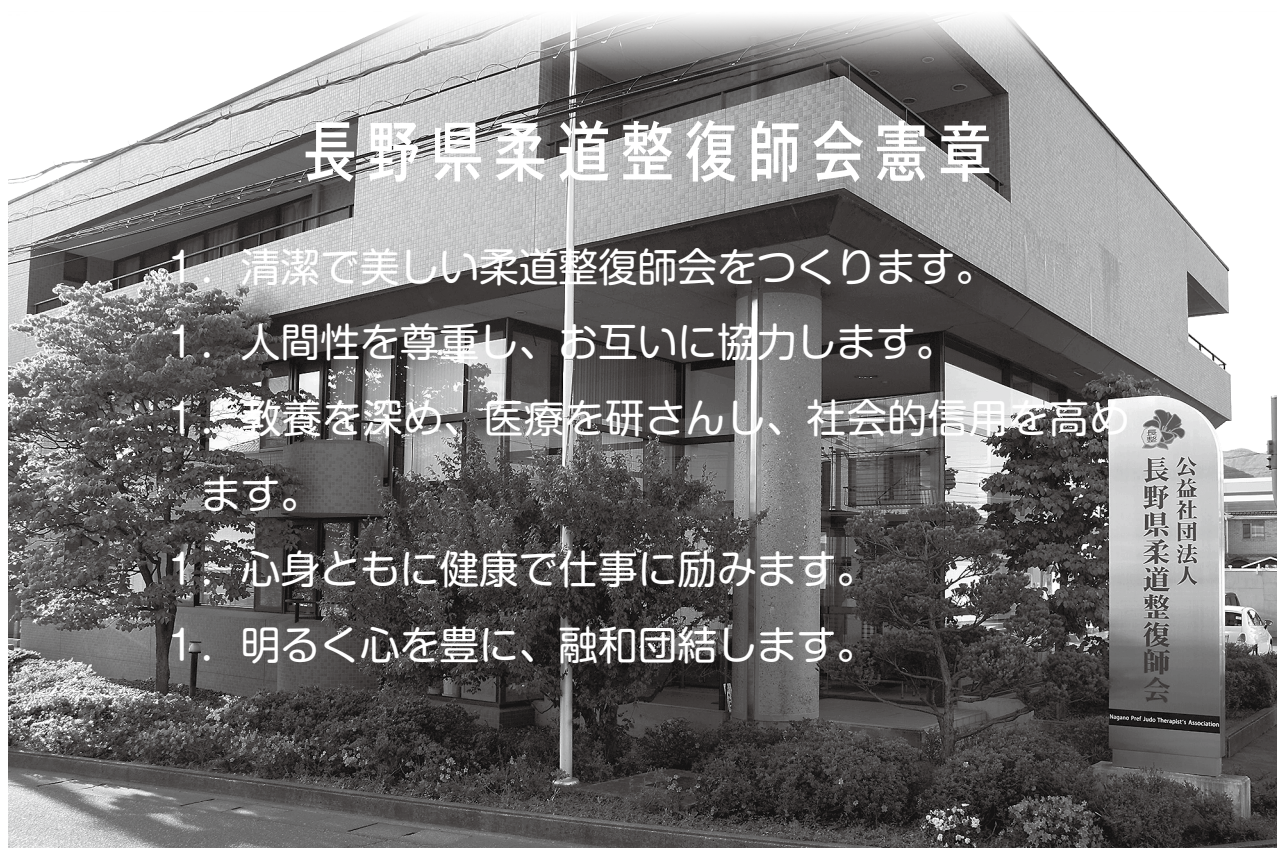
2014年の医療法の改正によって、医療法第6条の2の3項に「国民の責務」が盛り込まれた。

「国民は、良質かつ適切な医療の効率的な提供に資するよう、医療提供施設相互間の機能の分担及び業務の提携の重要性についての理解を深め、医療提供施設の機能に応じ、医療に関する選択を適切に行い、医療を適切に受けるように務めなければならない。」

よって、国民が責任を負わされていることから、行政は国民のために、この条文に記載されている責務を果たすための必要かつ正確な情報提供を発信しなければならない。

長野県柔道整復師会憲章

1. 清潔で美しい柔道整復師会をつくります。
1. 人間性を尊重し、お互いに協力します。
1. 教養を深め、医療を研さんし、社会的信用を高めます。
1. 心身ともに健康で仕事に励みます。
1. 明るく心を豊に、融和団結します。





新年のご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会 会長 高田 保

明けましておめでとうございます。会員の皆様が健やかで新しい年をお迎えになられましたことを心よりお喜び申し上げます。日頃からスポーツボランティア活動・防災活動・介護予防事業・政連活動などにご協力をいただき感謝申し上げます。昨年は柔道整復術公認100周年と当会の社団法人設立50周年となる節目を迎えました。そして今年はいよいよ2020東京オリンピック・パラリンピックの年です。全国から多くの柔道整復師がトレーナーとして協力します。

さて、昨年10月に発生した台風19号は長野県を始め全国各地に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになった方のご冥福をお祈りすると共に被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。当会におきましても被災された会員の皆様は本当にお辛いと思います。一日も早く平常の生活に戻れることを願っております。今回の台風で避難所生活を余儀なくされた方に対して、北信支部会員が中心となり1ヵ月半にわたり夜8時から10時までボランティアでマッサージを行いました。協力していただいた会員には心より御礼申し上げます。

業界は代行業者による行き過ぎた患者照会や併診問題等の難題に直面しています。そこで、今期は新たな事業として保険取り扱いに関する車座集会を各支部で開催しました。いずれの会場でも柏木保険部長と会員間で活発な質疑応答が行われました。保険の取り扱いを理解して引き続き適正な保険請求を行ってください。この

車座集会が有益なものとなることを期待しています。また、このような状況では、パラメディカルの職種は情報を共有し連携する必要があると思っています。

ところで、昨年11月23・24日に東京有明医療大学で開催された第28回日本柔道整復接骨医学会学術大会には全体で2220名が参加、本会からは27名が参加し5名が日頃の研究成果を発表しました。本県の日接医学会会員数は258名で全国都道府県では5番目となっています。これは本会会員の向学心の表れだと思います。学術大会では、ソフトバンクホークスの工藤公康監督や武見敬三参議院議員の講演があり、とても充実した内容でした。日々学術技術を研鑽し良質な医療を患者さんに提供することが我々の責務です。

平成30年に政府の経済財政諮問会議で2040年までに国民の健康寿命を3年以上延伸する取り組みに関する資料が提出されました。国は健康長寿社会を目指して介護予防・予防医療に力を入れています。この取り組みに柔整師の参入が大いに期待されます。それには、柔整師が行っている介護予防事業のエビデンスをデータ化し今までの実績をアピールしなくてはなりません。この施策に関連して、本県でも県民の健康長寿推進を目的として「通いの場」という名称で介護予防事業が立ち上げられます。長野県健康福祉部からも本会に協力依頼がありましたので、多くの皆様のご協力をお願いします。予防医療の分野でも柔整師を活用していただけるよ

う提言してまいります。業界は急速な社会変化に対して未来志向で取り組むことが肝要です。

大変厳しい柔整業界ですが、今期より支部が本会に組み込まれ公益法人の枠の中で運営されています。今年も本会と支部間で合理的な運営を心掛けてまいります。また、行政や保険者及びに医師会等関係諸団体の皆様とさらなる信頼

構築に努めると共に、政治への積極的な働きかけを行います。社会貢献を念頭に置き会員の生活基盤の安定を求めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、会員並びにご家族の皆様の益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会 酒井 正彦
副会長

会員の皆様におかれましては、清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度は、5月19日開催の通常総会において、理事定数13名から9名への削減や外部団体であった地区を支部として本会の一部にしたことに伴い、まだ馴染まない点もありますが、概ね良好に推移しているのではないかと感じています。

業界でみますと、厚生労働省の社会保障審議会の下に設置された柔整療養費検討専門委員会の中で様々な検討がなされ、一部は今年の4月から実施に移されております。その中にある教育改革では、3年の臨床実習が義務付けられましたが、これは、患者さんの体に触れる職種である以上至極当然なことであり反論する方は少ないと思います。しかし、この問題を含めた平成の大改革と称される改革が順次進められ業界としては良くなっていくはずですが、現実問題として今を踏ん張れるかが問題です。

令和元年7月7日、メトロポリタン長野において、(公社)長野県柔道整復師会と長野県接骨師協同組合の共催で、「柔道整復術公認100周年」「長野県柔道整復師会創立95周年」「社団法人設立50周年」「長野県接骨師協同組合設立25周年」の記念式典並びに祝賀会を開催し、先人への感謝と今後の継承と発展を誓ったところですが、会員各位の収入減の源となってい

る、一部保険者による必要なまでの患者さんに対する照会やリーフレットの配布が現在も堂々として行われています。医療費の適正化の下に行われているこれらの行為は、患者さんとの信頼関係を崩す要因で、決して看過できない状態にあります。

実際にこれを危惧した厚労省が平成30年5月24日付で「柔整療養費の被保険者等への照会について」として 1. 患者等への照会は、施術期間・実日数及び負傷の原因・箇所のみ限定すること。 2. 申請書と患者照会の回答とが一致しないときは、保険者は、不正が明らかな場合を除き、必ず施術者への照会をしなければならないこと。 3. 施術者に照会する場合も、疑義の解消に必要な範囲のみの照会に限定すること。 4. 保険者の不適切な患者照会について、厚労省に相談窓口ができたこと。といった内容が厚労省の事務連絡として配信されておりますので、保険者の患者照会に対し疑義を感じたときは、保険部を中心とした役員に是非とも相談していただきたいと思っております。

一方、保険者にも疑義を持たれない正々堂々とした誤りのない請求も心掛けていただきたいと思っております。

本年も、皆さんと共に笑顔で過ごせたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げ新年の挨拶といたします。



就任ご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会 柏木 久明
副会長・保険部長

本会総会の決議を受けまして公益社団法人長野県柔道整復師会の副会長兼保険部長を引き続き拝命致しました。柏木久明です。よろしくお願ひ致します。柔道整復術公認100周年・長野県柔道整復師会創立95周年という祝賀式典が令和元年7月7日に関係者各位をお迎えし、厳かに挙行されたことは記憶に新しいところであります。時節柄、当初予定より大幅な縮小規模で開催されたのであります。

しかしながら、この様な記念式典すら開催する事が本会会員の一部より疑問視されました。一番の理由として予算であったと思います。私の知る限り過去の本会事業の歴史的観点からしてこの様な意見は聞かれなかったものです。本会高田会長は本会財務を鑑み本会の事業規模の縮小を始め理事数の削減等、財政に見合った本会運営に努めております。言うまでもなく本会運営の経済基盤は会員の収入と連動しております。2019・夏季号の広報ほねつぎでご挨拶させて頂きましたが、我々の柔整業務を行っている外的環境が様変わりしているという現実が収入

減という形で我々に突き付けられているのです。

柔道整復師の有資格者増大、養成校がらみの過剰供給、乱立開業は元より結果的に国民の受診抑制に繋がる執拗な患者照会等、諸問題が山積しています。節目の柔道整復術公認100周年に奇しくもわが柔整界はとんでもない岐路に立たされているものと思います。

まさしく、少子高齢化や地方の衰退、財政赤字、規制改革といった構造的な問題に直面している大きな岐路に立っている我が日本国と同様と思われます。

この厳しい現状に本会の理事として過去からの延長にならないように緊張感をもって多数の意見を伺いながら時代を観て方向性を決めていきたいものだと思っております。又、保険部長としてのポリシーは私を含め会員の良い意味でのあらゆる利益が国民福祉に繋がる事と信じておりますのでより一層能動的に取り組んでまいりますので皆様のご支援をよろしく願ひいたします。



新年のご挨拶

自民党政調会長代理、
社会保障制度調査会事務局長
衆議院議員 後藤 茂之

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は、長野県柔道整復師会の皆様方には大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。高田会長をはじめとした、これまでの貴会のご尽力により、柔道整復師が自らの技量や専門知識を十分に発揮し、活躍できる環境が整えられてきたことに感謝しております。また、柔道整復術により、国民が日々の生活を健康的に暮らせることについても、その大きな貢献について、大変ありがたく思っております。

我が国の医療は高齢化が進む中にあっても、公平性を担保し、一定の質を達成した点で世界的にも高く評価されております。

高齢化がさらに進む中で、この保健医療システムを保持・発展させるため、効率的な医療提供を進めていくなど、継続的な努力を怠ってはならないと考えます。

またこれからの保健医療システムは、こうした状況に柔軟に対応していくことができるものでなければなりません。

団塊の世代が75歳を迎える2025年を目途に、介護が必要となった場合にも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めています。

こうした中で、柔道整復師の果たす役割や、

柔道整復師に対する国民の期待は、今後ますます大きくなっていくものと考えます。

このような状況の中、貴会が柔道整復師の資質向上のために積極的な取組を進められていることを、大変心強く思います。こうした取組を通じて、高い資質を持った柔道整復師が養成され、良質な施術が提供されることを願っております。

また、療養費制度をめぐるさまざまな課題については、厚生労働省の専門委員会で議論され、平成29年10月より、各都道府県の協会けんぽや国保連にある「柔整審査会」の権限を強化し、しっかりと調査を行えるようにするとともに、平成30年4月より、受領委任を取り扱う施術管理者について、質の向上を図るため、実務研修と研修を受講することを課せられました。

これらを取り組むことにより、適正な保険請求が推進される仕組みが構築され、国民がこれまで以上に安心して施術を受けられる制度となることを期待しています。

私としましても、本年も皆様方とともに、柔道整復師が活躍できるような環境を整えられるよう、これからも努力を重ねたいと思います。

皆様方にとって、この新しい年がより佳き年でありますよう、心から祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

衆議院議員 宮下 一郎

長野県柔道整復師会の先生方には、日頃より、温かいご指導・ご支援を頂いており、心より御礼を申し上げます。特に、先生方が自民党に対して、一貫して力強いご支援を頂いておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

私は、昨年9月に内閣府副大臣を拝命し、経済再生、全世代型社会保障改革、TPP等に対する国内対策、予算編成方針策定を含む経済財政政策、金融庁などを担当させて頂き、元気に活動しております。

昨年は、8月の九州での大雨、9月に千葉県での大停電などの大きな被害をもたらした台風15号、10月に長野県や関東・東北地方に大きな浸水被害をもたらした台風19号など、多くの災害に見舞われた年でした。また、国内経済は緩やかな回復基調にあるものの、海外リスクや人手不足への対応、オリンピック・パラリンピック後の経済成長力の確保などの課題への対応が求められています。

こうした観点から、昨年11月には予備費を財源として「被災者の生活と生業（なりわい）の再建に向けた対策パッケージ」を策定し、12月には補正予算と令和2年度当初予算の合わせた「15か月予算」の考え方の下に、事業規模26兆円の「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」を取りまとめるとともに、「令和2年度予算編成の基本方針」を決定しました。

税制改正では、デフレ脱却と経済再生を図るため、事業会社からベンチャー企業に対する出資についての所得控除制度の創設や、5G（第5世代移動通信システム）設備を促進するため

の税額控除または特別償却の創設、金融分野では、家計の安定的な資産形成を支援するためのNISA制度の5年延長、企業の事務負担の軽減のための消費税の申告期限を1月延長する特例の創設などが決定されました。

全世代型社会保障制度改革については、人生100年時代に対応し、年齢にかかわらず活躍できる環境を整備し、負担能力に応じて制度を支える仕組みへの改革の方向性が打ち出されました。

なお、令和2年度の診療報酬については、診療報酬を0.55%引き上げ、薬価を0.99%引き下げて、全体として医療費の伸びを抑えることとなりました。

伊那谷においては、昨年、三遠南信自動車道の天竜峡大橋が開通するなど、道路交通網の整備が着実に進んでいます。リニア中央新幹線の開通まで、あと8年。防災・減災対策や土地改良事業の推進、中山間地農業の振興、中小企業の生産性向上や海外事業展開への支援、交流人口・関係人口の増加やインバウンド受け入れに向けた取組など、未来に向かって前進する年としなければなりません。

また、長野県柔道整復師会の先生方がさらにご活躍いただけるよう、制度問題などにも取り組んでまいります。

結びに、先生方の益々のご活躍と長野県柔道整復師会のご発展をお祈りするとともに、今年が素晴らしい一年となることを心から願い、年頭にあたってのご挨拶とさせていただきます。



非常時にこそ問われる 政治家の役割

衆議院議員 務台 俊介

令和2年の新年を迎え、皆様に心からのお祝いを申し上げます。

昨年行われた参議院選挙においては、自民党の小松裕候補のご支援に物心両面に瞠目の誠意を賜ったことに心から感謝申し上げます。この御恩は心に刻ませて頂きます。

参議院選挙に加え、昨年は上皇陛下の生前ご譲位による新天皇陛下の皇位ご就任という歴史的事業があり、恙なく平成から令和への引継ぎが行われたことは誠に喜ばしく、柔整師会の皆様とそのことを心から共に喜びあいたいと思います。私も選挙区の有権者の皆様を代表する思いで、宮殿内で催行された即位礼正殿の儀、饗宴の儀、そして皇居前広場で開催された天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典に出席して参りましたが、こうした歴史を画する大きな儀式に現職代議士として参加できることに対し、感極まるものを感じました。それだけに、国民の代表として更に一層国家国民のために粉骨砕身の努力を尽くさねばならないと自らに言い聞かせました。

それにしても昨年は長野県にとってもそして全国にとっても大きな災害が相次ぎました。国会議員の役割の最大のものは、非常事態の折にその事態に即応して的確に考え行動することだと思っています。柔整師会の皆様には、台風19号の被災地で避難者のケアに当たって縦横無尽のご活躍を頂いたことに心より感謝申し上げます。

私も負けじと、台風19号の際の千曲川堤防決壊に起因する被害に際しては、何度も被災地に入り、被災地の声を聴きその実態を踏まえ、自民党内で声を上げ、頂いた課題を政府の対応策に盛り込み、さらにそれを強力に後押しするために、臨時国会では、異例なことに農林水産委員会、環境委員会、災害対策特別委員会で質問の機会を頂き、それぞれの分野毎に関係大臣と質疑を交わしました。災害復旧で特に強調したことは、被災前より強靱な状態にしていく必要性であり、「ビルト・バック・ベター」をキーワードとする政策展開を訴えました。

日本全国が人口減に見舞われていく中で、地方の人口急減地域は下手をすれば地域の存続の危機に瀕します。災害対策に奔走した先の臨時国会の中で、もう一つ私が頑張った議員立法を通じた取り組みがありました。それは「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」の成立です。都会の若者が人口急減地域に移住し、そこで一定の所得を得てその地域の需要に応じた仕事ができるようにするために、その受け皿となる特定地域づくり事業協同組合を都道府県知事の認可を受けて作り、それに手厚い公的支援を行おうとするものです。長野県内の市町村でもこの枠組みを大いに活用し、都会から若者をこの自然環境が素晴らしい地域に移り住んで頂けるように、この場をお借りしてご紹介したいと思います。



長野県の健康の 未来を創る！

前衆議院議員 小松 裕

新年明けましておめでとうございます。皆さまには新しい年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年夏の参議院議員選挙においては各地の長野県柔道整復師会の先生がたには力いっぱいのご支援をいただきましたことに感謝を申し上げます。しかし、結果を出すことができなかったことをお詫び申し上げます。

選挙に向けて広い長野県内を走り回りながら、一番たくさんいただいた声は地域の医療や健康にかかわる課題でした。健康長寿で知られる長野県においても、地域で健康を支え病気を予防する仕組みを創ってゆくことは喫緊の課題です。とくに、人生100年時代が到来するといわれる中、体も心もシャキッとしながら老いてゆくためには、柔道整復師会の先生方の力が必要です。

病気の予防支援、生活支援サービスや地域支援事業の担い手として、また介護保険サービスにおける機能訓練指導員や認知症の初期支援における活躍です。今以上に柔道整復師の先生方の存在感を示す仕組みを作っていかなければなりません。

昨年の10月12日、記録的な大型台風19号が信州を襲い各地で甚大な被害が発生しました。私も当日から被災各地や避難所などに出向き、状況を把握すると同時に、様々な課題の対応に尽力しました。各避難所では長期の避難所生活の中、エコノミークラス症候群の予防や、心の健

康のために活躍する柔道整復師の姿もたくさん拝見しました。災害時における柔道整復師による救急対応、DJMATの役割も軌道に乗せなければいけません。柔道整復師会の先生方に担っていただかなければいけない役割がたくさんあります。

今回の台風は県内各地、特に千曲川に沿って各地で大きな被害をもたらしました。これからの復旧復興に向けて予算の獲得や国の大きな力添えが必要です。一日も早く地域の皆様が平穏な暮らしを取り戻すことができるように、自分のできる限りの力を尽くしてまいります。

また、様々な柔道整復師会が抱える課題、以前から指摘されている無資格者の課題広告や、レセプトの通知調査などの課題にも取り組み、医師会ともお互いに連携しあいながら、柔道整復師の先生がたがより一層活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。そのためにも、再びの国政復帰に向けて、捲土重来を期して、今年も活動をしてまいります。

本年は2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。かつて冬季オリンピックを開催したNAGANOです。スポーツと健康、そこに長野県柔道整復師会の先生方の力をお借りして長野県の健康の未来を創るスタートにしなければいけません。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会 顧問 若林 健太

明けましておめでとうございます。皆様には、新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。日頃、先生方には、長野県民の健康な生活を向上させるため大いにご貢献されていることに敬意を表します。また、自由民主党職域支部の中でも、常に先頭に立って支援をして頂いています事、心から感謝申し上げます。

令和元年となった昨年は、10月12日台風19号が全国各地に豪雨をもたらし、千曲川流域に大きな爪痕を残していく結果となりました。被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。発災直後、水害によって変わり果てた街の姿を目の当りにして、議席のないこの時に、このように大きな災害を被るとは思いもよらず、運命の巡り合わせに切ない思いをしました。現職時代は災害特別委員会に所属して、故小坂憲次先生から「災害時の対応は前例踏襲が効かないから政治決断の連続だ。しっかりと学んだらよい」ご指導を頂き、全国の被災地を巡り、議論に参加してきました。それだけに悔しい思いをした訳です。しかし、躊躇している場合ではない。自民党長野1区支部長として、北信地域の与党責任者として、被災地の声を、与党を通じて、政府に届け、復興政策に反映させなくてはならないと東奔西走しました。早い段階で、激甚災害の指定を受け、11月8日には台風19号災害に充てた政策パッケージが示されました。被災者生活再建支援金の適用拡大、グループ補助金、農業支援策などにより、被災地の復興に向けた道筋を示して貰ったと思います。

それぞれの立場で出来る事を精いっぱい取組

む。ラグビー日本代表のOne Teamに範をとって、長野県はOne Naganoを訴え、一致結束して、復興に向かうと訴えており、私もその一員として、これからも取組んで行くことをお誓い申し上げます。避難所では、柔道整復師会の先生方が被災された方々へ施術を施している姿をよく拝見しました。まさに、One Naganoの中心におられる事に敬意と感謝を申し上げます。

さて、今年は夏に東京オリンピックパラリンピックが開催されます。世界からトップアスリートが集まり、先生方も何かと忙しい一年となるのではないのでしょうか。このオリパラの前後には、解散総選挙も噂されており、長野1区議席奪還に向けて決意を新たに取組んで行きたいと思えます。

柔道整復師会では、急増する柔道整復師、経験不足で開業するため発生するトラブルや未入会の診療所問題、業界としての質の維持など、取り巻く課題が山積しています。残念ながら、この大事な時に議席を失っており、お役に立てない事が悔しくてなりません。七転八起。柔道整復師会の先生方には、現在の厳しい時も変わらぬご支援を頂いている事に感謝申し上げますながら、頂いたご恩に報いていくべく、必ず現役復帰して、お役に立っていただけるように頑張らせて参ります。

平素の恩情に心から御礼申し上げ、皆様の今年一年のご活躍、健やかな年となりますようにご祈念申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

柔道整復術公認100周年 長野県柔道整復師会創立95周年 社団法人設立50周年 長野県接骨師協同組合設立25周年 協同組合プレゼンテーション・公開記念講演・記念式典・ 記念祝賀会開催される

総務部 西條 義明

令和元年7月7（日）長野市ホテルメルパルク長野において、（公社）長野県柔道整復師会の周年記念式典が、多くのご来賓の皆様をお迎えして盛大に執り行うことができました。当日は、心配されていた雨もどうにか持ちこたえ、関係各位55名と172名の会員参加を得て、下記の通り開催されました。

タイムスケジュール

午前9時30分～ 長野県接骨師協同組合指定各社 プレゼンテーション
 午前10時～ 公開記念講演
 午前11時～ 記念式典
 午後12時30分～ 記念祝賀会

協同組合プレゼンテーション

長野県接骨師協同組合設立25周年を記念し、指定各社によるプレゼンテーションが行われました。本組合には指定業者約50社が加入しております。その内、(株)エス・エス・ビー、マキシー(株)、テイコクファルマケア(株)、(株)山梨ミツウロコ、(株)トスコムの5社の皆様によりプレゼンテーションを行って頂きました。また展示会場も開設され終日盛況でした。

公開記念講演

演題 「柔道整復師の明るい未来について」

講師 (公社) 日本柔道整復師会

会長 工藤鉄男 様

本講演ではNHK放送局で放映された番組で偉人たちの健康診断「嘉納治五郎 人類はなぜ

スポーツをすべきか」明治18年日本への西洋医学の導入が盛んに行われた頃、医師でなければ接骨業を開業することができない時代、当時、この窮状を憂っていた近代柔道の創設者、講道館館長・嘉納治五郎師範が活動に賛助し、講道館柔道指南役十段・山下義韶氏を接骨術営業すなわち柔道整復術公認を目指す活動の代表請願者とした。この活動が実り、大正9年に接骨術は柔道整復術として国より公認を受け見事に復活を果たされました。動画を見た後に解説をされました。先達の柔道整復師による血の滲むような事績があって、幾多の困難を乗り越えて今の至ったことに敬意を払わなければなりません。

新たな時代に「匠の技」継承の一步

柔道整復術公認100周年を記念し、安倍晋三内閣総理大臣からのビデオメッセージを頂き、スクリーンを通して柔道整復師への大きな期待を述べられ印象に残りました。

我々業界も新たなスタートをします。

1 「匠の技 伝承」プロジェクト 2 柔道整復師審査会 権限強化 3 電子請求に係るモデル実施 4 地域包括ケアシステム 5 柔整トレーナー 6 広告、無資格類似業者問題と法改正に向けて 7 法の改正に向けて

3つの大きな使命

1 業界秩序の再構築「基本理念の明確化／業界改革」 2 信頼関係の再構築 3 伝統と改革のバランス構築

最後に、令和で始まる100年の幸せに向けて確かなる知識、技術、誇り更に公益と言うモラ

ルを、備え持った柔整師が地域で施術にあたり、社会に貢献できる仕組みの構築を鉄芯石腸必ず実現します。努力しだいで柔道整復師の明るい未来は必ずやってきますと熱く強いメッセージを会員に訴えるものとなりました。

記念式典

次 第

物故会員黙禱

開式の辞

(公社) 長野県柔道整復師会
酒井 正彦 副会長

国家斉唱

式 辞

(公社) 長野県柔道整復師会
高田 保 会長

来賓祝辞

長野県知事 阿部 守一 様

代理 長野県健康福祉部

部長 大月 良則 様

長野市長 加藤 久雄 様

千曲市長 岡田 昭雄 様

衆議院議員 後藤 茂之 様

衆議院議員 務台 俊介 様

(公社) 日本柔道整復師会

会長 工藤 鉄男 様

来賓紹介

祝電披露

表 彰

受賞者代表謝辞

(公社) 長野県柔道整復師会
安藤 恒久 相談役

閉式の辞

(公社) 長野県柔道整復師会
宮下 厚 専務理事

式典に先立ちまして物故会員黙禱、柔道整復師の長い歴史を作って頂いた皆様に感謝の意を表すと共に、ご冥福をお祈りし、黙禱を捧げました。酒井正彦副会長より開式の辞のあと国家斉唱、次いで高田保会長は次のように式辞を述べられ厳粛に始まりました。

式 辞

「本日は、柔道整復術公認100周年ならびに長野県柔道整復師会周年記念式典を開催しましたところ、ご多用中にもかかわらず、日頃から大変お世話になっております各界の皆様のご臨席を賜り、挙行できますことを衷心より御礼申し上げます。

今年は、令和元年という新たな時代を迎えましたが、私共にとりましても柔道整復術公認100周年となる記念すべき年となりました。これは、明治政府が西洋医学を導入したことにより柔道整復が一時消滅の危機に瀕しました。そこで先達が血の滲むような苦勞を重ね、ようやく大正9年の内務省令で柔道整復術が公認されました。それから100年の歴史が刻まれたこととなります。全ての柔道整復師は先達の偉業を決して忘れることなく、その恩恵を後世に繋いでいく責任があると思っております。

当会は大正13年4月に任意団体の長野県柔道整復術師会として、会員16名で発足しました。昭和44年9月に社団法人として認可を受けて以来、会は連綿と継承され本日ここに創立95周年、社団法人設立50周年という節目の年を迎えることが出来ました。これも一重に関係各位のご尽力とご支援の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

我々の行う柔道整復術とは、日本古来の伝統医療の一つで、柔道の活法を基本とし本来人間の持つ自然治癒力を最大限に引き出す施術方法として、スポーツの柔道とともに伝承・発展を遂げてまいりました。2002年にはWHOに紹介され、業界の学術団体である日本柔道整復接骨医学会は日本学術会議の協力学術研究団体として登録されております。

現在、588名の本会会員は日々学術・技術の研鑽を積み、患者様の早期回復に全力を傾けています。その傍ら公益事業の一環として冬季長野オリンピックやスペシャルオリンピックス国体 高体連 中体連など各種スポーツ大会で

救護トレーナーとして活動、また、柔道の普及を通して青少年健全育成にも力を注いでいます。

毎年、著名な講師陣をお招きして講演会を開催すると共に県下各地で介護予防教室を実施して県民の皆様の健康福祉の増進に寄与しております。さらに長野県や安曇野市と防災協定を結び日本赤十字社長野県支部と連携して防災活動にも積極的に取り組んでおります。

当会は、多岐にわたり公益事業を展開しておりますが、これからも歴史と伝統を重んじ、公益法人として地域社会の発展と明るい未来に向けて邁進して参る所存でございますので、皆様方の相変わらぬご支援ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、本日ご列席の皆様方の、今後ますますのご隆盛をご祈念申し上げますと共に、深甚なる感謝の気持ちを添えまして、ご挨拶とさせていただきます。」

続いて、ご来賓祝辞、ご来賓紹介、祝電披露、表彰授与移りプレゼンターには、長野県知事 阿部守一様 代理長野県健康福祉部長 大月良則様、(公社)日本柔道整復師会会長 工藤鉄男様、(公社)長野県柔道整復師会 高田保会長が務められ、受賞者を代表し、安藤恒久相談役が謝辞を述べ、宮下厚専務理事より閉式の辞が述べられました。

表彰者ご芳名 (敬称略)

長野県知事表彰

松坂佳雄

厚生労働大臣表彰

高田 保 酒井正彦

公益社団法人 日本柔道整復師会 会長感謝状

安藤恒久 柏木久明 石坂秀司

西條賢治 保尊伸昭

全国柔道大会 功労賞

松村直行

日整永年会員表彰

安藤恒久 井坪克人 井出純一

井出啓男	伊藤憲郎	今村和久
内山富之	大島久和	尾曾元広
掛川武彦	柏木英明	金児清次
金田忠雄	神農 厚	久保田雄一
小嶋国彦	小林栄寿	塩原ゆき子
白井信行	瀧澤義人	竹内 正
田中健一	中島今朝光	野本真一
林 滋樹	原 和正	原 貞行
原 幸夫	福島講造	藤巻 旭
松坂佳雄	水澤 功	溝口友司
三間敕義	村山良治	大森素久
小平美行	堤 慶治	中山 茂
松野利幸		

公益社団法人 福島県柔道整復師会
東日本大震災感謝状

内山貴之 高田 保 村山洸介
横関徳夫

公益社団法人 長野県柔道整復師会 長寿祝
桜井藤雄 窪田保富 淵田和雄
渡辺展猛

永年功績20年表彰

大月康彦 窪田 勝 岩田達哉
大森省吾 清水仁美 三間慎一郎

学術部関係 40回北信越ブロック学会発表
國友康晴

第27回日本柔道整復接骨医学会発表

牛山正実 浅川健一 酒井正彦
伊藤 篤 牛山正明 高野広道
原 隆 矢嶋大輔

生涯学習関係 生涯学習高単位取得者
掛川武彦 丸山 桂 柳沢恵一
佐藤光洋

ボランティア高単位取得者

田口信宏 宮澤敬介 金田忠雄
尾曾共春

優良私的研究会

「しんせつけん」 代表 井出和光
「スポーツ救護研究会」 代表 鶴田 隆

記念祝賀会

次 第 開会の辞

(公社) 長野県柔道整復師会
柏木 久明 副会長

挨拶

(公社) 長野県柔道整復師会
高田 保 会長

来賓祝辞

(一社) 長野県医師会
会長 関 隆教 様
前参議院議員 若林 健太 様
長野県議会議員
代表 西澤 正隆 様
上松町町長 大屋 誠 様

乾 杯

長野県中小企業団体中央会
連携開発部 部長
緩詰 哲男 様

万歳三唱

北信越ブロック会
会長 嶋谷 清 様

閉会の辞

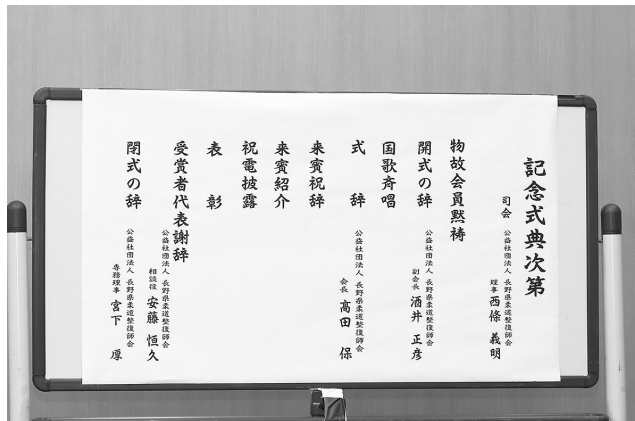
(公社) 長野県柔道整復師会
宮下 厚 専務理事

記念式典終了後、会場を移し、柏木久明副会長の開会の辞に次いで、高田保会長が挨拶を述べられ、来賓祝辞、乾杯は長野県中小企業団体中央会 連携開発部長 緩詰哲男様の乾杯のご発声で宴に入ると、ご来賓の皆様方と会員が親しく熱心に歓談する場となりました。中締めは、北信越ブロック会長の嶋谷清様より万歳三唱にて宴は最高潮を迎え、宮下厚専務理事の閉会の辞により本記念事業は全て終了いたしました。

尚、事務局の皆様、実行委員の皆様、ご参加いただいた皆様、設営・運営に携わっていただいた全ての関係各位の皆様、早朝より終日お疲れ様でした。本当にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。



入り口看板



式次第



協同組合プレゼン



会長挨拶



役員



新役員



来賓



司会者



表彰



工藤日整会長



記念講演



会長挨拶



会長挨拶



乾杯



会場の様子



宴会の様子



事務局



来賓6名



来賓



万歳

令和元年台風第19号等に係る 被害状況等について

中信支部 宮澤 輝

内閣府の非常災害対策本部発表の概要は以下の通りであった（内閣府ホームページ内の防災情報のページ参照）。

気象の概要（気象庁情報）

台風第19号は12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過し、13日未明に東北地方の東海上に抜けた。

台風本体の発達した雨雲や台風周辺の湿った空気の影響で、静岡県や新潟県、関東甲信地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨となった。10日からの総雨量は神奈川県箱根町で1000ミリに達し、関東甲信地方と静岡県の17地点で500ミリを超えた。この記録的な大雨により、12日15時30分に静岡県、神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、長野県の7都県に、12日19時50分に茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県の5県に、13日0時40分に岩手県に特別警報を発表した。

東京都江戸川臨海では観測史上1位の値を超える最大瞬間風速43.8メートルを観測するなど、関東地方の7カ所で最大瞬間風速40メートルを超える暴風となったほか、東日本から北日本にかけての広い範囲で非常に強い風を観測した。また、12日には千葉県市原市で竜巻とみられる突風が発生した。

長野県における被害状況（消防庁情報）

死者5人（長野市2、佐久市2、東御市1）

負傷者 重傷7人 軽傷137人
住家被害 全壊873棟 半壊2214棟 一部破損3422棟
床上浸水202棟 床下浸水1779棟

長野市の長野県立総合リハビリテーションセンターにおいて入院患者57人、職員50人が浸水により孤立

長野市（穂保地区）の社会福祉施設において入所者87人、職員15人が浸水により孤立

長野市（篠ノ井地区）の社会福祉施設において入所者及び職員120人が浸水により孤立

上田市（武石地区）において道路陥落により孤立

上田市（武石小沢根地区）において64人が道路陥落により孤立

佐久穂町において土砂崩落により孤立

筑北村において5世帯13人が土砂崩落により孤立

激甚災害の指定

10月29日閣議決定

11月1日公布・施行

激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づき、令和元年10月11日から同月14日までの間の暴風雨及び豪雨による災害（※台風第19号の暴風雨による災害）を激甚災害に指定する政令を閣議決定。

台風19号による避難所での ボランティア活動参入の経過

総務部 酒井 正彦

令和元年台風19号で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますと共にお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げます。

今回の台風で被災された皆様が身を寄せられた避難所において当会会員延べ336名が延べ1374名の被災者の皆様へのケアを行いました。ここに至った経過について簡潔に記します。

一般社団法人長野県医師会の先生方とは、毎年懇談会を開催させていただいております。平成30年3月28日に開催された懇談会には、「当会では、平成20年に長野県（当時村井知事）と災害時応援協定を締結いたしました。その応援内容にある「医療救護」の分野で県医師会の皆様の傘下のもと、職域を活かした活動をしたいという強い思いがあります。つきましては、柔道整復師は災害時応援協定に基づく「医療救護」への参画は難しいものか。もし参画できる可能性があるとするれば、どの様な準備が必要になるのかご指導いただけたら幸いです。」との議題を提出させていただきました。

この思いが根底にあり、今回の災害ボランティアの活動も本会単独ではなく医師会の先生方とタックを組んで出来ないものかとの思っていた矢先の10月19日、長野県医師会会長の関隆教先生より「長野県健康福祉部長の大月良則様が避難所を訪問したところ被災者の皆さんは、昼間の後片付けや慣れない避難所での生活で非常に疲れておられるので何らかの対応策は無いものか」との相談があったそうで、関隆教会長は即座に当会への要請を決断され、連絡をいただきました。

関会長からの連絡をいただき一気に事が動き始め、当日（10月19日）の長野市災害保健医療調整会議への出席の要請を県健康福祉部、長野県医師会の双方から受け、西條賢治北信支部長、井出和光北信支部総務部長と3名で出席しました。

そこで、長野市災害保健医療調整会議の議長であります長野市保健所長の小林良清様に10月21日より（公社）長野県柔道整復師会会員がケアに入る旨の連絡を各避難所にさせていただくこととし、翌10月20日は、13箇所あった避難所のうち、9箇所の避難所に出向き活動の趣旨を伝え、活動効率の良い時間帯、活動の場所、派遣人数等の把握に努め活動に備え、10月21日から本格的に活動を開始しました。

そんな中、10月30日には、長野市災害保健医療調整会議より（公社）長野県柔道整復師会のボランティア活動チームの名称（ネーミング）の作成の要請を受け「柔整ボランティア長野」と命名させていただき以後活動はこの名称で統一されました。

今回の活動は、長野県健康福祉部（行政）からの要請を長野県医師会を通して受けたことで、長野市災害保健医療調整会議という保健・医療関係者で構成する組織内で活動できた意義は大変大きいと感じています。

関係者の皆様方のご理解とご協力、並びに活動にご協力いただきました会員の皆様に敬意を表すると共に厚く御礼申し上げます。ボランティア活動の参入に至った経過報告と致します。

被災者の皆様方の心身を含めた一日も早い復興を心よりご祈念申し上げます。



台風19号災害による活動について

北信支部総務部 井出 和光

台風19号による増水で長野市穂保地区の千曲川堤防が決壊し甚大な被害をもたらしました。(公社)長野県柔道整復師会としてボランティア活動を行った事を報告いたします。活動の流

れを以下の表にまとめました。このプロジェクトが無事に終了出来た事は参加していただいた方々の情熱かと思えます。関係各位に感謝いたします。

台風19号災害に対する北信支部活動の記録

10月13日(日)	台風19号による千曲川の増水に伴い北信支部各地で支流河川の内水氾濫、長野市豊野町穂保地区での堤防決壊が発生する。
10月14日(月)	西條賢治支部長より総務部長に「北信支部で何かできないか?」と連絡がある。西條賢治支部長は所属している長野みすずライオンズクラブで豊野西小学校にて避難者のためにテントを設営してボランティア活動を開始したとの事。
10月15日(火)	朝、西條賢治支部長の所で作戦会議を行う。 豊野西小学校に長野みすずライオンズクラブのテントが有り活動しているので、昼休みにそこで避難所の責任者とコンタクトを取り、柔道整復師としてボランティア活動が出来ないかを探ってくる事になる。 昼、豊野西小学校に行く、ライオンズ地区キャビネット幹事 飯田重光さんに挨拶して避難所の責任者を呼んでもらい、電話で西條賢治支部長と話をしてもらう。結果、体育館内に入れてもらい、名刺を渡し名簿に記名をして「体育館内を巡回して希望者があればマッサージをして下さい。」との指示を受けて活動を始める。避難所の責任者や中央病院の看護師と話したが、すでに地元のマッサージ院? 整体院?の方がボランティアでマッサージを行っているとの事でした。その日も1人マッサージボランティアと書いてゼッケンのように背中と胸にかけた方が、足裏マッサージをしていました。体育館内を回っていると1人の方から声がかかり、マッサージをして帰りました。ブルーシートの上に毛布を敷いているだけのようでしたので、ヨガマット、枕、バスタオル、ウエットティッシュ(手拭き)などが必要かと思えます。避難所の責任者も日替わりで、明日は誰になるかは不明という事でした。とりあえず本日マッサージした方が口コミで利用者が増えると良いかと思えます。
10月18日(金)	昼休みに避難所へ私と塚田達星会員と2人で行った。 避難所に着いたら本日は車が多数来ていた。体育館内に入ると日赤の方々が段ボールベッドを作っている最中だった。受付をして、日赤の方々に挨拶をして一回りしようとしたら、長野市の職員で避難所の主任の方からボランティアを行うなら長野市の方に登録してもらいたい。場所は市役所東のボランティアセンターで

	<p>行っているとの事。本日は現場が賑やかなので、塚田会員はいつもの人にマッサージを行ったが、ボランティア登録をしに現場を後にした。ボランティアセンターでは、所属・何が出来るか?・保険の加入の3点の登録が必要との事だった。また先ほど避難所から手話が出来る人を派遣してほしいとの要請があったので、これから名簿を検索して活動出来る人を派遣するとの事でした。システム的にはボランティアセンターの役割が確認できた。</p>
10月19日(土)	<p>お昼に避難所にボランティアに行ってきた。西條賢治支部長より電話があり、16:30分より長野市保健所にて会議があるので一緒に出て欲しい」と連絡があり、酒井正彦副会長・西條賢治支部長・井出和光北信総務部で会議に出席しました。会議は長野地域災害保健医療調整会議 第4回。16:30より現場で活動している方々の夜への引継ぎ、問題点などを各避難所に分かれてミーティング。17:00より別室で今後の予定、現状で困っている事などが話し合われていました。この席で長野県健康福祉部より柔道整復師会のボランティアとして団体登録をして欲しいと話があり、団体登録を酒井正彦副会長が行いました。柔道整復師会も体制が整い次第活動を開始するという事になる。千曲川を南北に分けて川南・川北として活動をする。日中は泥出しや家屋の片付けなどで避難所に人がいないため、活動時間は我々の仕事が終わった後夜に活動する事にした。</p>
10月20日(日)	<p>酒井正彦副会長が主要避難所を回る。私は初めて夜に豊野西小学校に入る。</p>
10月21日(月)	<p>北信支部の連絡網でボランティアの参加者を募り、シフトを作成して避難所に入ってもらおうようにする。ボランティア登録22名でスタートする。 避難所は下記、太字の避難所は重点箇所。 豊野西小学校・豊野東小学校・豊野北公民館・豊野区事務所・古里小学校・古里総合センター・昭和の森公園フィットネスセンター・長野運動公園・北部保健センター・南長野運動公園・篠ノ井総合センター・東条小学校・松代支所・旭丘ふれあいプラザ・北部体育館・飯田公会堂・老人福祉センター桃源荘・旧更埴庁舎保健センター・飯山市公民館・中野市西部文化センター</p>
10月23日(水)	<p>豊野西小学校の活動体制が効率化する。</p>
10月25日(金)	<p>日赤ボランティア保険に関しての情報を発信</p>
10月27日(日)	<p>ボランティア活動中の湿布・包帯・テーピングに関しての情報を発信</p>
10月28日(月)	<p>下腿の浮腫、痛みに関する情報を発信 長野運動公園避難所の活動で、NPO法人との関係を協議</p>
10月29日(火)	<p>長野地域災害保健医療調整会議の山崎さんから連絡があり、須坂市北部体育館の現状、調整会議への書類提出を依頼される。今後は16:30までに明日の活動予定、活動後翌日7:30までに活動報告を調整会議に提出することになる。書類提出にあたり活動班名を決める。「柔整ボランティア長野」に決定する。 ボランティアの人数が集まらなくなってきた。11月3・4の連休の活動に影響が出る前に何らかの手当てが必要である事から、旧事業部で一緒だった東信地区・中信地区の方々にメールで窮状を訴え助けてもらう事にした。お陰様ですぐに返</p>

	事が返ってきて、シフトに入ってもらえる事が出来た。
10月31日(木)	避難所内の医療活動に関する情報を発信
11月1日(金)	多くの団体が撤退していく中、シフトの調整も限界近くになり、柔道整復師会の活動も連休後からは一日おきの活動に縮小する。シフトの管理を事務局に移行する。
11月2日(土)	三連休に入る。
11月3日(日)	東信支部・中信支部の有志より応援を得てなんとか無事に活動が出来た。感謝!!
11月4日(月)	4日以降は隔日の活動(月・水・金)となる。
11月6日(水)	11月8日をもって本活動の終了を提案
11月8日(金)	豊野西小学校避難所のみ活動を11月29日まで継続、他避難所は活動終了を決定。
11月29日(金)	「柔整ボランティア長野」の活動終了

「柔整ボランティア長野」登録名簿(88名)

川 北 (47)		川 南 (20)	他地区 (21)
西條 賢治	勝山 一紀	酒井 正彦	高田 保
西條 義明	春原 邦章	酒井あゆみ	柏木 久明
西條 友教	田中 利幸	酒井奈津子	宮下 厚
西條 雅貴	赤沼 将充	渡邊 正哉	倉科 正
西條美由紀	北山 文明	久井 真	三澤 茂明
篠崎 裕一	小林 修	山内 明	降籬 秀徳
小島 弘光	大滝 弘子	高橋 秀樹	塩原 孝一
小林 廣幸	大滝 陽子	窪田 勝	中村 吉孝
大塚 甚造	鶴田 隆	塚田 剛	小澤 成幸
端山 千草	布施谷貴博	藤田 卓也	森本 健雅
塚田 達星	大塚 祥司	西澤 嶺	北沢 玄
山口 智弘	石田 拓未	大月 康彦	金児 充
水橋 拓也	小橋 義彦	倉石 雅之	小林 毅
宮崎 剛	小橋 学広	堀内健太郎	堀内 将之
原山 修	小橋 茂之	脇本 裕	廣川 喜博
市川 央	宮本 義豊	高原 義勝	坂口 卓
小林 尚生	淵田 高章	伊豫田幹幸	内山 貴之
湯本 駿人	福澤 亮	徳武 学	兼田 祐
古賀 賢史	春原 昌弘	三澤 勇斗	田中 敏浩
西澤 大介	小林 克徳	武士 和哉	原 真里奈
岡田 大河	田中 健一		國友 康晴
神田 郁実	小林 秀樹		
大谷 尚徳	井出 和光		
桜井優樹(研)			

シフトの調整方法		
	会 員	県
7 : 30		活動報告提出締め切り
8 : 00	昨日の報告書と本日のシフトの送付 ボランティア長野の登録者からシフトへの参加を募る	午前調整会議
9 : 00		朝の会議資料の送付
	常に新規のメンバーを募集しシフトに入れる	
12 : 00	北信連絡網にてシフトを会員に告知し新規加入者を募る	
13 : 00	県に活動予定提出	
16 : 00	本日のシフトを送付	
16 : 30		活動予定提出締め切り
17 : 00		午後調整会議
18 : 00	本日の最終シフトの送付	午後の会議の資料送付
20 : 00	実行	
22 : 00	活動人数の集計	
22 : 10	県に活動報告提出	
<p>調整の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず初めにボランティア登録をしてもらおう。(公社) 会員の中にも個人でボランティア活動をしている方もいますので、区別するためにまず登録をしてもらいました。 ・登録に際し報告書・ボランティア通信・11月末までのシフト表を送付して、いつでもどここの場所でも、希望によりシフトに入れる体制を作る。 ・毎日12:00に一般の連絡網を使ってシフト表を公表して、誰でも希望があれば参加できる状態を作り常にボランティア活動の状況がわかる環境を作る。 ・最後に調整を行うが、どうしてもダメな場合自分で行く事と、飛び込みで誰か行ってもらおう事を期待する。飛び込みの場合人数が予定より多くなる場合があり調整が難しい。 ・調整会議の資料は、会長・副会長・支部長・事務局には送付した。周知が必要な場合のみ、登録者にお知らせをした。 ・活動中の問題発生はその都度、ボランティア通信で登録者に報告した。 ・活動に当たり、行き帰りの交通事故や活動中の事故、他団体よりのクレームなどは無く、予定通りに活動出来た事は、皆様のご協力があればこそだと思う。 <p>感謝いたします。</p>		

柔整ボランティア長野 活動人数・利用者数

活動日	活動人数	利用者数	活動日	活動人数	利用者数
10・13 (日)	—	—	11・1 (金)	11	54
14 (月)	—	—	2 (土)	17	67
15 (火)	1	1	3 (日)	16	74
16 (水)	2	3	4 (月)	12	65
17 (木)	1	2	6 (水)	13	59
18 (金)	2	1	8 (金)	10	48
19 (土)	2	6	11 (月)	6	34
20 (日)	1	5	13 (水)	6	32
21 (月)	22	49	15 (金)	9	34
22 (火)	17	70	18 (月)	8	35
23 (水)	17	69	20 (水)	5	25
24 (木)	24	64	22 (金)	5	32
25 (金)	20	73	25 (月)	6	26
26 (土)	14	76	27 (木)	4	21
27 (日)	12	64	29 (金)	5	25
28 (月)	17	69	合 計	336	1.374
29 (火)	19	63	10/15～10/19 豊野西小にて情報収集		
30 (水)	17	71	11/4～11/8 隔日活動に移行する		
31 (木)	15	57	11/11～11/29 豊野西小学校のみ活動		



台風19号による 激甚災害現場復旧の手伝い

中信支部 宮澤 輝

台風19号による激甚災害に遭われた方々へ心からお見舞い申し上げます。

令和元年10月13日（日）未明、台風19号の豪雨により千曲川穂保地区の堤防が決壊し、長野市豊野町で暮らす友人の自宅も高さ約3mの濁流により浸水被害に遭いました。彼は家族6人で10月12日23時から翌13日5時頃まで避難所で過ごし、雨が止んだので高台から問題が無い事を確認して自宅へ向かいました。しかしその途中で濁流が一気に押し寄せ、車ごと流されそうになり、恐怖で足が震えるのを感じながら、車を急いでバックさせて危険を回避し避難所へ引き返すという「九死に一生を得る」体験をしたそうです。

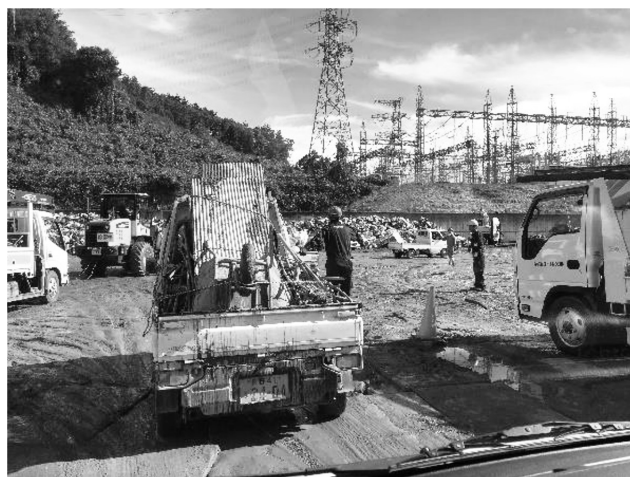
私が手伝いに行く前日にどんな状況なのか彼に連絡をしました。家電などは全て廃棄になってしまったこと、スーパーやコンビニは復旧中でどこもやっていないこと、軽トラックは路駐しても邪魔にならず、ダンプ付きが重い廃棄物を捨てるのに便利だと聞きました。カップラーメンや真空パックのお肉とカット野菜、冷蔵庫代わりに氷を入れた発砲スチロール、カセットガスボンベ、ガソリン、トイレトペーパーやティッシュなどを購入し、その日に自分が困らない様に防塵マスク、ゴーグル、胴長靴、ゴム手袋、スコップ、テミ（大きなちり取り）、昼食などを用意しました。

手伝いに行った10月20日は被災から最初の日以降で災害ボランティアが最も多く3000人を超えた日でした。被災地の穂保地区から赤沼地区は、一週間経っても車はひっくり返ったままで、泥が山のようになっていて「今日一日、自

分が出来ることを精一杯やろう」と思うだけでした。

彼の家は1階が全て浸水しており、取り外せる物は全て廃棄済みで、床と内壁がもう少しで剥がし終わる状態でした。ズッシリと重い断熱材を外へ引きずり出し、踏むと辺り一面に大量の水が広がり、それだけでも凄い水が押し寄せた事が分かりました。その後、解体した内壁や泥を入れた土嚢袋などを軽トラックで廃棄場へ運びました。沢山積んだ訳ではありませんが、泥がかなり重くタイヤのホイールが地面に当たる感覚がありました。山の中腹にある球場とグラウンドを廃棄場として使っていましたが、廃棄に並んだ車が約2時間待ちで坂道発進の連続でした。廃棄場は水を含んだ廃棄物でぬかるんでおり、動けなくなったトラックを除雪車が牽引している光景もありました。

災害ボランティアに登録なさっている方々に心から敬意を表し、また一日でも早く復旧されます事を祈り、筆を執らせて頂きました。





柔道整復師会ボランティア活動報告

中信支部 中村 吉孝

令和元年10月12日に上陸した台風19号により日本各地では甚大な被害を受けました。長野県内でも多くの被害が発生し被災者が避難所での生活することとなりました。

公益社団法人長野県柔道整復師会では長野県健康福祉部、長野県医師会からの要請を受け、10月21日からボランティア登録された北信支部の会員により避難所での活動が開始されました。

中信支部には10月30日に本会よりボランティアの募集があり、早速支部会員へ参加が呼びかけられました。

私は令和元年11月2日（土）長野市立豊野西小学校にて柔道整復師として被災者支援のボランティアに参加させて頂きましたので報告いたします。

当日は中信支部の会員5名で1台の車に乗リ合わせ夕方に避難所に向けて出発しました。この時期は日が暮れるのが早く高速道では夜景を眺めながら向かったのですが、被災地が近づくと途端に明かりが減り道路には泥が積り、乾いた泥を自動車が巻き上げるため霧の中を進んでいるように感じられました。

避難所の体育館が見えてくると周辺の明かりが少ないため窓からの明かりがとても暖かく感じられました。

発災からは3週間ほどが経過した時期ですが

避難所の豊野西小学校の体育館には200人ほどの被災者が避難生活をしていました。

私たち柔道整復師会の活動は「柔整ボランティア長野」という救護班名で、内容は希望する被災者へのマッサージの提供を行いました。負傷部位への施術ではなく疲労の回復を目的としたものです。

私が担当させていただいた方は、昼間は自宅へ戻り復旧のために働いて夜間は避難所へ戻るという生活を続けているということでした。

「力のいる仕事を続けているので身体が限界」という言葉に、それ以上の感情が含まれているように感じ被災するという現実を強く感じました。

今ある当たり前の毎日が突然無くなってしまふという怖さを避難所にいる皆さんは体験したのだと思います。

避難所で毎日のように活動されている北信支部を中心とした会員のおかげで元気ももらっている被災者がたくさんいると思います。私も一度の参加だけでなく何かお役に立てることはなにかと考えていきたいと思いました。

最後になりますが、この度の台風19号により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様の1日も早い復興を心より祈念いたします。



台風19号被災地支援 救護ボランティア

東信支部 廣川 喜博

今回、私は台風19号長野市被災者支援救護ボランティアに11月2日（古里小学校体育館避難所）から11月27日（豊野西小学校体育館避難所）まで参加させていただきました。私の住む東信地区も台風の被害がありました。母親が作ってくれた夕飯を食卓で囲んでいた家族、隣家、毎日背負っていたランドセルの昨日まで当たり前の日常が一晩で一変してしまった恐怖に連日の報道に目が離せない状況でした。

私は、11月2・3日佐久穂町しらかば体育館にて、中体連秋季新人戦女子バレーボールの医務係が決まっていた為、佐久穂町の避難所にてエコノミー症候群の予防活動を行う予定でした。リーフレットを作成し、10月25日に数名の東北信支部会員と連絡をとりエコノミー症候群の予防活動も含め準備をしていましたが、東信地区では、長期の避難所にて生活される方は少なく、避難所訪問することなく、気持ちばかりが焦る日々を過ごしていました。

東信支部の会員の中には、地元消防団に所属していて、避難勧告・土嚢袋作成など、台風上陸前から行動している会員もいましたが、私は何もできませんでした。1995年阪神淡路大震災、2007年中越地震、2011年東日本大震災、2011年中越長野県栄村地震、2016年熊本地震など、動きたい自分と動けない環境の狭間で今まで無力感を心の奥にしまい込んで過ごしてきました。初動の遅さ、足並み、遠方、技術・経験不足など色々理由をつけ、行動を起こさなかった自分がいました。また同じことを繰り返すのかと思っていたところ、10月30日に井出和光会員よりボランティア会員不足のため応援要請メールが私に届きました。参加させて下さいの即答でした。今回は、被災地が長野県、被災者が

困っている、（公社）長野県柔道整復師会の仲間が困っている、行動範囲規制はあるが参加しない理由が見つからなかったです。

11月2日（土）長野市古里小学校体育館午後20時に集合のため、午前の施術後、午後5時まで中体連女子バレー佐久大会医務係を終え、その後古里小学校体育館へ向かいました。体育館内は台風被災3週間後、泥出し作業、避難所生活での疲労と喪失感、県内外の市職員、社協職員、消防士の方々の話し声が微かに聞こえる静かで重苦しい雰囲気の中、体育館の一角に段ボールベットを利用し順番に施術を行いました。身体だけでなく、自身のベットに帰られる顔が、少しでも笑顔に変わる様に施術中は、被災者の方に話しかけ、少しでも胸の内を聞くように心がけました。

中体連医務係のまま向かったため、ジャージに支給のチョッキ着用姿でしたが、被災者の方に安心感を与えるイメージと、「民間ボランティア団体」と一目で区別できるよう二回目の11月6日（木）の豊野小学校体育館避難所から、スクラブ白衣にて参加しました。被災者の方々から、「全国からボランティアが来て、泥掃除や家具の運び出しを助けてもらっているのに、私たちがギックリ腰だとか脚が痛いからって、日中病院行けないよ。だから、接骨院の先生たちが来てくれて良かった。安心して明日も作業が出来る。」。「体のことで聞きたいことがあるけど、相談いいですか？」と声をかけてもらえました。

豊野西小学校体育館避難所内は、多くの被災者が生活し体育館の廊下、階段には飲料水の保管箱、古着の棚などが壁際に並んでいるため、児童館、階段踊り場にベッドを設置。階段の上

り下りが困難な方や荷物から離れたくない方のために、体育館内の自身用ベッドにてケアを行いました。脚に浮腫を起こしている被災者でもエコノミー症候群の検査を受けていない方も多く、疑いがある方には、検査を受けるよう促しました。参加する度に私の顔も覚えて頂き、「先生、深夜に帰ると危ないから、段ボールだけどベッドも風呂も有るから泊っていきな」、「私も親だから、少しずつ子供の為にも、元の生活に戻していかなきゃ、先生ありがとね。」など笑顔になってきた被災者の方との会話や自院に通院中の患者さんからも「私たちは寄付することしか出来ないから、先生は私たちの分まで頑張ってきて」などの応援で私まで元気づけられました。

被災者の方へのコミュニケーションスキルや

手技、聴覚障害者に対しての手話など、一緒に参加した仲間からも私自身が多くを学び今後の課題も見つけることが出来ました。今回の参加で、17歳の時に憧れた「正義の味方」のように憧れた柔道整復師に少し近づけたような気持ちになりました。

今回、貴重な経験をさせて下さった当会井出和光会員、高田保会長はじめ日頃より我々（公社）長野県柔道整復師会を理解していただき、信頼して被災地支援救護ボランティアを任せて下さった関隆教長野県医師会会長に深謝いたします。

この場をお借りしまして台風19号でお亡くなりなされた方の御冥福と被災者の方々が早く安心・安全な日常生活を取り戻せることを願います。



「フレイル予防シンポジウム」 参加報告

保険部 介護班長 原 隆

令和元年7月29日（月）午後1時より長野県健康福祉部介護支援課主催の「フレイル予防シンポジウム」が 長野県松本合同庁舎講堂にて以下の次第で開催されました。

＜基調講演＞

「高齢者の身体機能の変化～フレイルを中心に考える～」

講師 国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
理事長 荒井 秀典 氏

＜取組報告＞

(1) 「飯島町におけるフレイル予防の取組報告」

飯島町健康福祉課
保健師 麦島 奈緒子 氏

(2) 「フレイル予防～長野県理学療法士会の取組報告～」

一般社団法人長野県理学療法士会
副会長 山本 良彦 氏

このシンポジウム目的は、75歳以上の後期高齢者における要介護の原因の1位がフレイルのため、高齢者の特性を踏まえフレイル予防等に関する知識や技術を習得し、効果的な介護予防事業等の展開を図ることです。参加対象は市町村、地域包括支援センター、保健福祉事務所の担当職員等で、当会はフレイル予防に取り組む専門職等ということで参加させて頂きました。

基調講演では、今後2040年から2050年で前期高齢者よりも75歳以上の後期高齢者が増加し2050年には、国民の25%が75歳以上になることが予想されています。長野県は、日本一の長寿県であることから、それよりも早く2030年には

達してしまうという話を伺い、急速な高齢化をあらためて感じました。

フレイルを中心とした講義では、フレイルの定義から始まりフレイルの起因となる「社会的要因」「精神心理的要因」「身体的要因」について多角的な視点から分析されたデータや、フレイルと栄養またオーラルフレイル、フレイルと薬剤等々について、さらにはフレイルの評価法や介護予防教室の効果も挙げながらフレイル予防の多種多様な取り組みについても専門家の立場から教えて頂きました。

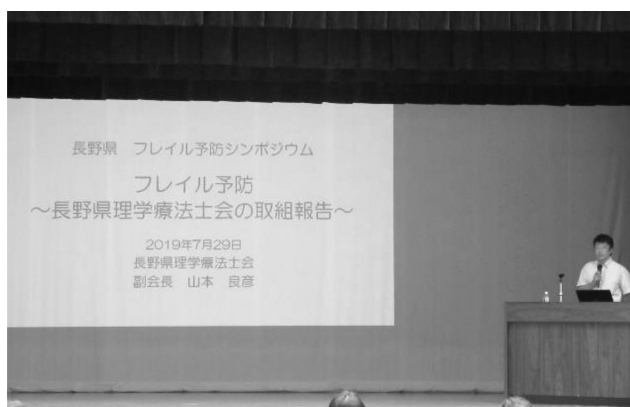
またサルコペニアだけでなく、筋肉の量が減って体の機能が低下した状態に肥満が加わったものを「サルコペニア肥満」と呼ばれていますが、早ければ40代でもサルコペニア予備群になることから、より早期からの包括的フレイル予防の重要性を示唆され、著書の紹介も含め短時間ではありましたが大変充実した内容で勉強になりました。参考URL：介護予防ガイド https://www.ncgg.go.jp/cgss/news/documents/yobo_guide.pdf

取組報告では、飯島町として初めてフレイル予防事業に取り組み、保健師、看護師、管理栄養士が中心となり対象者抽出にも明確な基準を決め、計画的に実施した結果から反省と課題を活かし次年度も取り組むという報告がありました。続いて理学療法士会としてフレイル予防の活動について、シルバーリハビリ体操の推進や信州ずくなし体操フェスタの開催、啓蒙活動として理学療法フェスタ、リハビリテーション研修会の開催や健康安全運転講座等、様々な活動の報告がありました。

今回参加させて頂き、全国的にも急速な高齢化が進むなか長野県も健康寿命を延伸させるた

め、フレイル予防に積極的に取り組まれていることが良く理解できました。本会としても飯伊の先生方が全国に先駆け、平成18年より介護予防教室の道を開かれ、今では県下30ヶ所以上で転倒予防教室が実施されています。今後は、さ

らに我々の活躍の場が広がるよう行政に働きかけるとともに、会員の先生方のご理解ご協力を頂戴しながらフレイル予防を通じて、地域社会に貢献して参りたいと思いますので何卒宜しくお願いいたします。



『長野びんずる』 臨時救護活動の報告

事業部 山内 明

令和1年8月3日（土）日本赤十字社長野県支部と（公社）長野県柔道整復師会日本赤十字奉仕団が合同で、『長野びんずる』臨時救護活動を行いました。今年で4回目の救護活動となりました。

『長野びんずる』は昭和46年に「市民総和楽・総参加」の理念のもと、長野青年会議所が中心となり企画され、今年で49回を迎えまし

た。今年の『長野びんずる』のスローガンは笑おう～笑顔はみんなのために～です。参加連数は218連、参加人数およそ1万人が中心市街地に集まり長野の街を盛り上げました。

救護活動は日本赤十字社長野支部に15：30に集合し打ち合わせを行い、各救護所まで移動し16：30から22：00まで（夜の部担当）行いました。割り振りは以下の通りです。

救護所番号	救護所名等	看護師	救護隊	柔道整復師会
①	本部(上千歳公園広場)救護所	中村 佑佳	○伊藤 浩一 赤塩 利和 堀 千春	宮下 厚 勝山 一紀
②	セントラルスクエア救護所	青木 瑞恵	○小林 慎一郎 岩井 計夫 大澤 亘	塚田 剛
③	長野駅前救護所	中村 直子	○平賀 望美 小口 邦雄	山内 明 三澤 勇斗
④	もんぜんプラザ救護所	森浦 仁武	○金児 璋 臼田 映三郎	松本 毅
⑤	アニヴェルセル前救護所	森田 佳代子	○遠山 充 中村 ちはる	松田 和也 廣川 さつき
⑥	イトーヨカドー前救護所	若林 健一	○手塚 和枝 松澤 啓	淵田 高章 柳澤 英翔
日本赤十字社長野県支部 ◎山崎 慎哉 関 文博 内堀 渉				

救護活動内容

	件数	症状	手当内容
①	1	頭痛	頸部、腋窩クーリング、額冷えピタ
	2	左下腿切り傷	水洗浄、消毒、絆創膏
	3	右手背皮下出血	テープ、冷湿布、ガーゼ、コールドスプレー
	4	頭部外傷、頸部痛	救急搬送
	5	両前腕膨隆疹	水洗浄、クーリング
②	1	発熱、咽頭痛	冷却、安静
	2	熱中症	冷えピタ
③	1	虫刺され	病院へ
	2	飲み物のカートに足をひかれる	冷えピタ、冷パック
	3	動悸	様子を見て落ち着かれたので帰宅
	4	靴擦れ	絆創膏
④	1	吐き気	安静、アイスノン
	2	切創	絆創膏
	3	擦過創	洗浄、絆創膏、水分摂取
	4	アルコールによる意識消失	救急搬送
⑤	1	靴擦れ	絆創膏
	2	靴擦れ	絆創膏
⑥	1	擦り傷	絆創膏
	2	擦り傷	絆創膏
	3	擦り傷	絆創膏
	4	頭痛、めまい	アイスパック、水分摂取
	5	下肢しびれ	アイスパック、水分摂取

今年も日本赤十字社の看護師・救護隊の皆様と協力して充実した救護活動が行われたと思います。

救護所の利用者は6救護所で計22名でした。

重度の症状は熱中症、頭部外傷、アルコールによる意識消失で救急車搬送は3名でした。

皆様、夜遅くまで大変お疲れ様でした。



令和元年度 安曇野市総合防災訓練

中信支部 郷津 純

令和元年9月1日（日）、安曇野市に於いて「安曇野市総合防災訓練」が行われました。

安曇野市では「震度6弱以上」の地震が起こった場合、安曇野市三師会等の協力を得て医師・歯科医師・薬剤師・看護師・市職員・柔道整復師が自動的に市内5カ所の医療救護所へ参集して活動する「安曇野市災害時医療救護活動マニュアル」が作成されています。

今年度は安曇野市の意向により、本部（安曇

野市本庁舎）と穂高医療救護所（穂高保健センター）の2カ所での開催となりました。

本部には降籬秀徳・三間慎一郎両副支部長が、穂高医療救護所には保尊伸昭会員・下里泰伸会員・郷津純が参加しました。

午前8時20分に、安曇野市で震度6強の地震が起きたと想定して参加者全員でシェイクアウト訓練を行い、スタッフの自己紹介や訓練の説明があつてから訓練開始になりました。



本部では、穂高医療救護所と無線で交信をしてトリアージ傷病者を三師会の先生方に伝達する情報処理班として活動を行いました。無線で傷病者の状態を聞き取りスピーディーに安曇野市医師会と安曇野赤十字病院の医師に伝達する



ことと、救命救急のできる医療機関と搬送方法を医師が決定し、その情報を穂高医療救護所へ無線でキックバックする担当を安曇野市保健師4名とともに行いました。

医療救護所 トリアージ傷病者一覧表

No.	氏名	年齢	性別	傷	病	トリアージ区分	搬送先	備考
1	小林 ジョウ	30	男	不明	なし	①	穂高医療センター	火傷
2	中村 シロ	73	男	頭部打撲	なし	②	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
3	中村 ユウ	67	男	三脚	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
4	中村 ユウ	8	男	三脚	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
5	中村 ユウ	80	男	不明	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
6	中村 ユウ	68	男	不明	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
7	中村 ユウ	70	男	不明	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
8	中村 ユウ	37	男	不明	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
9	中村 ユウ	28	男	不明	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
10	中村 ユウ	70	男	不明	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
11	中村 ユウ	38	男	不明	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
12	中村 ユウ	99	男	不明	なし	③	安曇野市立穂高病院	搬送先不明
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								



穂高医療救護所では、市民の方が傷病者役になり、1次トリアージを歯科医師と薬剤師が、2次トリアージを医師が対応しました。その中



で緑タグに振り分けられた方を医師のご指導の下、私達柔道整復師が応急処置を行いました。



応急処置の時に医師が参加者に説明をしながら実践され、雑誌を用いた前腕部の固定法や段ボールを用いた下肢の固定法、とげやガラス片

が刺さった時の抜き方などを教わり、大変勉強になりました。



救護訓練終了後、歯科医師会より、黒タグ患者（死者）のデンタルチャートのデモンストレーションが行われました。これは、歯の治療痕を見て身元の特定をする事で、災害が一段落してから行うそうです。

歴やお薬の服用歴がわかるので、何かあったときのためにも常に持ち歩いていることが望ましいとお話しされました。

次に薬剤師会からは、お薬手帳についての説明がありました。お薬手帳があれば病気の治療

そして柔道整復師会は保尊会員が講師となり、参加者に向けて三角巾を使った上肢の固定法や、足関節・膝関節の固定法のデモンストレーションを行いました。



その後は、スタッフ反省会があって防災訓練終了となりました。

日常の診療とは違った、災害時ならではの処置法はとても勉強になりました。また、訓練に

参加することにより、他の医療関係者と顔の見える関係ができて良かったと思います。

参加された先生方、大変お疲れ様でした。



令和元年度 松本市医療救護訓練

中信支部 廉澤 大輔

令和元年9月1日(日)(午前8:30~11:00)に松本市医療救護訓練が行われ、今年度は市内13救護所に19名の柔道整復師が参加をした。

私の参加した旭町中学校では、医師6名、歯科医師3名、薬剤師4名、建築士1名、松本市職員4名、学校職員2名、柔道整復師2名の合計22名で訓練を行った。

【訓練内容】

- ・ 集合、役割分担の確認
- ・ 施設の安全、利用確認
- ・ 医療救護所開設訓練
- ・ 情報伝達訓練
- ・ トリアージ訓練
- ・ 搬送訓練
- ・ 応急処置訓練
- ・ 防災倉庫、備蓄品の確認
- ・ 反省会、片付け

【参加会員からの感想、反省点、要望など】

- ・ 今回初めて参加して訓練の内容や雰囲気あまり理解できていなかったせい積極性に欠けた部分が多かった。次回は準備をしっかり行って参加したい。
- ・ 話し合いの中で意見を言えなかった。
- ・ 今井小学校の医療救護所では、「外傷お願いします。」くらいの良好な関係が築けた。
- ・ 資料(計画書)が柔道整復師会だけ無かったので大変困ったので次回は配布してほしい。
- ・ 屋内で行うので上履きが必要。
- ・ 他団体は帽子も救護用のものを揃えていた。

ヘルメットか帽子が欲しい。

- ・ 緊急時にはマイク等を使用して皆さんに理解できるようにしないと救護場所が混雑し方針が理解できない。救護所の場所がどこにあるかもわからないので市の役員とテレビ松本社長に連絡した結果、市がテレビで対応することになった。
- ・ 柔道整復師が応急処置として上肢の固定の実技を行いました、それを行う必要性はあるのでしょうか。
- ・ 訓練に参加することは勉強にもなるが毎年同じ者が行うのではなく開業して施術している以上、年齢や経歴に関係なく半強制的に全員に参加して頂いた方が良くはないか。
- ・ 担当地区のくくりも広い範囲にしたほうが良いのではないか。

【まとめ】

私も初めて参加させていただいて、災害時に迅速に対応できるように定期的に訓練を行い、他団体と信頼できる関係を築いておくことの重要性、また日ごろから防災への意識を高めておくことが大切だと強く感じた。

事業部として対応がしっかりと出来ていなかった部分、参加会員の意見・要望などは次年度の参考にさせていただき改善していけるように努めて参ります。

参加された会員におかれましては大変お疲れさまでした。

今後の医療救護訓練にも参加、協力の程宜しくお願いします。



出口クリスタ選手 世界柔道選手権大会 優勝祝賀会

中信支部 小島 武鎮

元号が令和に変わった8月27日、日本武道館で開催された「2019世界柔道選手権東京大会」において、女子57kg級で見事ゴールドメダルに輝いた出口クリスタ選手（日本生命）の優勝祝賀会が、来賓として高田保本会会長、西條春雄本会顧問をはじめ本会会員を含む200名を超える出席をいただき、去る9月18日に松本市ホテルブエナビスタ グランデにて盛大に開催されました。

祝賀会は、長野誠心館道場館旗に先導され出口選手が入場してきましたが、試合で観る勇ましい顔つきとは違い少々はにかみながらも、いつもの素に近い表情がとても印象的でした。長野誠心館道場師範である村山良治会員の挨拶からはじまり、来賓の挨拶、阿部守一長野県知事からのお祝いビデオレターが披露されるなどし、丸山大輔県議（長野誠心館道場顧問）の乾杯で祝宴に入りました。

祝賀ムードに包まれ和やかな中で時間は流れて行きます。祝宴の趣向のひとつとして、タレントで2019世界柔道選手権東京大会のインタビュアーの松山三四六氏が、世界選手権の撮影の裏話や出口選手とのトークを織り交ぜ、笑いあいの解説付きで試合映像を上映し、会場を大いに盛り上げていただきました。

出口選手は塩尻市出身の現在23歳、祖母が経営する理容室の常連であった村山良治会員の誘いもあり、3歳から長野誠心館道場に通うようになりました。小学6年生の時に全国小学生学年別柔道大会45kg級出場を皮切りとして、丘中学校に進み全国中学校柔道大会に出場し3年間を通して上位入賞と活躍し、松商学園高校に進学すると全日本カデ柔道体重別選手権大会2位、1年生でインターハイを制しました。2年

では高校選手権57kg級で優勝、3年で全日本出場、インターハイ決勝で吉田司選手に内股で敗れ2位に終わるも、全日本ジュニアでは決勝で吉田選手に大内刈で雪辱を果たし優勝しており、この頃から出口選手と吉田選手のライバル関係は続き現在に至っています。

昨年2018年世界選手権アゼルバイジャンのバクー大会決勝で吉田選手に敗れて雪辱に燃えて臨んだ今回の2019世界柔道選手権東京大会決勝、世界女王吉田選手に対して一步も引かず一進一退の攻防を繰り広げるも時間内では決着付かず、遂に勝敗はGS（ゴールデンスコア）に持ち越されました。緊迫した時間が流れる中で、一瞬の隙をつき出口選手が谷落で技ありを取り試合終了。この決勝戦を観た多くの長野県民がTVの前で両手を上げて喜んだことでしょう。

世界選手権初優勝を飾ると共に世界選手権での初の金メダルをカナダにもたらししました。長野県出身者の世界選手権優勝は、初の快挙で、今後続く後輩たちの良い目標となり、大きなエールとなったことと思います。最後に、お礼の挨拶として壇上に立った出口選手は、来年開催の2020東京オリンピックに出場できるように頑張ると力強く宣言してくれました。「オリンピックで活躍した暁には、今回よりも大きな祝賀会をお願いします」といったリップサービスもあり、会場の笑いを誘いつつ大いに盛り上がった中で祝宴の幕を閉じました。

今回の祝賀会にあたり、本会役員をはじめ出席いただいた会員におきましては、発起人会のひとりとしたしまして心より感謝申し上げます。



第3回松本マラソン トレーナー活動

中信支部 三澤 茂明

令和元年10月6日（日）に第3回松本マラソンが行われました。前年は台風で中止となったので空模様が心配されましたがマラソン日和となり8時30分に無事にスタートを切ることができました。申込数は8311人、出走者は7134人、完走者は6455人、完走率は90.48%というデータが出ています。

松本マラソンのコースには9つの収容関門・救護所が設けられフィニッシュ会場にはランナーズケアと称したエリアを体育館内に設置してあります。私達（公社）長野県柔道整復師会会員はこの大会に9名がトレーナーとして参加し、2名が第7救護所へ残りの7名はランナーズケアのエリアで待機しました。

各収容関門・救護所には医師（1～2名）看護師（1～2名）保健師（1～2名）消防（1名）ボランティア（2～6名）がスタンバイし、第7救護所ではそれに2名の柔道整復師が加わり救護活動にあたりました。

ランナーズケアのエリアでは（公社）長野県柔道整復師会、長野県鍼灸師会、松筑鍼灸マッサージ師会というそれぞれの会でブースを作りランナーのケアを行いました。

8時30分にスタートし11時前に1位のランナーが到着。その頃はまだまだケアに訪れるラン

ナーはいません。しかし12時を過ぎるとランナーが続々とエリアにやってきます。

活動内容といたしましては腰から下肢にかけての筋肉の張りや攣りを訴える方が圧倒的に多くマッサージやストレッチなどを行いました。また股関節、膝関節、足関節などの痛みに対してテーピングやアイシングをしました。今年は気温があまり上昇しなかったせいか熱中症の方が少ない印象を受けました。

マッサージなどを行いながらランナーの皆さんと話をするのも楽しみの一つです。長野県以外から参加される方も多く、私たちのブースでは59名ケアした中で62%が県外者でした。中には北海道や福岡から参加されている方もいました。観光も兼ねて松本へいらっしゃったそうです。

スポーツの現場におけるトレーナー活動は的確な判断と手当が求められます。そして参加することによりスキルが磨かれることは間違いありません。一緒に参加した会員からのアドバイスも受けられますし経験したことにより自信が付きます。来年も（公社）長野県柔道整復師会は松本マラソントレーナー活動に参加予定ですので多くの会員の皆様の応募をお待ちしています。





工藤鉄男会長 旭日小綬章叙勲受章記念祝賀会

総務部長 酒井 正彦

令和元年9月26日（木）東京ドームホテル「天空」において日本柔道整復師会工藤鉄男会長の旭日小綬章叙勲受章記念祝賀会が開催され各界の来賓の皆様にご参集頂き、日本柔道整復師会（以後、日整）会員等の総勢322名で盛大に行われました。

まず、日整の萩原副会長の開会の辞に始まり、発起人代表の元衆議院議長で日整顧問団世話人代表の伊吹文明先生の挨拶、来賓の祝辞として日本医師会副会長の今村聡様が横倉義武会長の挨拶を代読されました。続いて、自由民主党総務会長の鈴木俊一様、経済産業大臣の菅原一秀様、厚生労働大臣加藤勝信様、文部科学大臣の萩生田光一様、一億総活躍担当大臣の衛藤

晟一様から祝辞を頂きました。続いてモンゴル国の大使参事官より10年以上に亘り柔道整復術の普及活動に対し感謝状が授与され錦上に花が添えられました。そして柔道整復師界と関係の深い講道館館長の上村春樹様の乾杯のご発声で開宴を致しました。

開宴後も、多くの国会議員の皆様より祝辞を頂戴し、3人のお孫さんからの花束贈呈などがあり和やかな時が流れました。

終宴が近づき、日整役員全員が登壇し、（公社）東京都柔道整復師会伊藤述史会長の音頭で声高らかに万歳三唱を行い、日整の松岡保副会長の閉会の辞で閉幕となりました。



第4回日本赤十字社長野県支部・救護隊・ (公社)長野県柔道整復師会赤十字特殊奉仕団との懇談会 令和元年9月28日 犀北館ホテル

南信事業部長 上原 哲

●進行

(公社)長野県柔道整復師会

東信事業部長 小林 毅

1. 開会の辞

(公社)長野県柔道整復師会

北信支部長 山内 明

2. 会長挨拶

(公社)長野県柔道整復師会

会 長 高田 保

3. 日本赤十字社長野県支部 事業推進課長挨拶

山崎 慎哉 様

4. 長野県赤十字救護隊 副隊長挨拶

米村 久義 様

5. 寄付金贈呈式

昨年、木曾上松町で開催された四地区親睦交流会(中信支部主管)で会員より募った98,430円が、高田会長から山崎様へ手渡された。

6. 出席者自己紹介(出席者名簿 記載順)

7. 議事内容

(1) 日本赤十字社長野県支部からの事業報告・要望等

1. 令和元年度8月豪雨災害について

2. 令和元年台風15号千葉県災害について
長野県内における救護活動

1. 長野びんずる臨時救護について

看護師：10名、救護隊：21名、柔整：

10名

傷病者：34名(転倒・転落・接触によるもの12名、熱中症10名、びんずる男選によるもの5名、靴擦れ3名、虫刺され3名、泥酔1名)

2. 今後の訓練計画

・長野県総合防災訓練

令和元年10月20日(日)長野市

・特殊赤十字奉仕団合同研修会

令和元年11月下旬(予定)

日本赤十字社長野県支部

・令和2年度日本赤十字社第3ブロック
支部合同災害救護訓練

令和2年11月7日(土)諏訪市

(2) 日本赤十字社長野県支部救護隊からの要望等

・無線機の取り扱いを覚えて欲しい

(3) (公社)長野県柔道整復師会赤十字特殊
奉仕団からの要望等

・長野びんずるに於いて 応急キットが足りない

・長野県柔道整復師会に向けて救急講習会
を開いて欲しい

8. 閉会の辞

(公社)長野県柔道整復師会

南信事業部長 上原 哲

日本赤十字長野県支部・救護隊・(公社)長野県柔道整復師会
赤十字特殊奉仕団との懇談会出席者名簿

○日本赤十字社長野県支部

事業推進課長	山崎 慎哉
救護業務調整担当監	須藤 晴彦
事業推進課 主事	内堀 渉

○日本赤十字社長野県支部 救護隊

長野県赤十字救護隊 副隊長	米村 久義
長野県赤十字救護隊 北信方面隊 副隊長	清水 啓二
長野県赤十字救護隊 北信方面隊 副隊長	手塚 和枝
長野県赤十字救護隊	平賀 望美
長野県赤十字救護隊	岸田 知丈

(公社)長野県柔道整復師会

会 長	高田 保	上松町	高田整骨院
副会長 (総務部長)	酒井 正彦	長野市	酒井整骨院
副会長 (保険部長)	柏木 久明	佐久市	かしわぎ整骨院
県事業部長	宮下 厚	駒ヶ根市	宮下整骨院
東信支部事業部長	小林 毅	上田市	こばやし整骨院
北信支部事業部長	山内 明	長野市	山内整骨院
中信支部事業部長	権藤 俊和	塩尻市	ごんどう整骨院
南信支部事業部長	上原 哲	富士見町	上原接骨院
長野DJAT隊長	渡邊 尋	伊那市	みすず接骨院



日赤長野県支部 事業推進課長 山崎慎哉様



事業推進課主事 内堀涉様



日赤長野県支部・救護隊との懇談会



長野県赤十字救護隊北信方面隊 清水啓二様



日赤県支部・救護隊との懇談会



日赤長野県支部救護業務調整担当監 須藤晴彦様



長野県赤十字救護隊副隊長 米村久義様

介護予防事業関連の報告

保険部 介護班長 原 隆

＜新たな事業となる「通いの場」について＞

会員の皆様には、日頃より介護予防事業にご協力いただき感謝申し上げます。大月長野県健康福祉部長の依頼で、安曇野市と飯田市の教室の測定データを提出したところ、大変評価を頂き、9月25日に長野県健康福祉部 介護支援課長と同介護支援課 計画係 主任のお二人が打ち合わせのため本会に来館されました。そこで、高田会長と私も同席しましたので、概略を報告します。

全国で認知症予防も含めた介護予防事業が行われていますが、長野県では「通いの場」という名称で、70歳以上を対象に事業を行っています（県内23の市町村は未開催）。「通いの場」とは各市町村が企画し、介護予防教室より気軽に地域の高齢者が度集い1時間ほど体を動かしたり、お茶や会話で親睦を深めることにより介護予防につなげる場の事です。それにPT、OTと

ともに専門職である柔道整復師にも体操等の指導をお願いしたいとの事でした。高田会長から、当会としても活動の場を広げられる良い機会となるので協力したい旨を伝えました。報酬等も含め詳細についてはPT、OTの協会とも協議しながら進めることになりました。

行政側からこのような依頼を受けたことは今回が初めてだと思います。これも、ひとえに介護予防教室の先駆けとなった飯田市を始め、長年地道に地域貢献に取り組んでこられた諸先輩や会員の皆様方のおかげです。この事業の参入については11月の本会理事会で全理事の賛同により承認されました。後日、県介護支援課長にその旨を報告したところ、今後については令和2年3月頃までに連絡を頂けることになっています。

＜機能訓練指導員フォローアップ講習会について＞

令和2年2月9日（日）開催予定の機能訓練指導員フォローアップ講習会では、上記の「通いの場」で機能訓練の指導ができるようになる内容を計画しています。講師には信州大学教授で理学療法士の百瀬公人先生を迎え、理学療法

学を始め実践面に関してもご講演を頂きます。近日中に開催案内を配信しますので、すでに介護予防教室を担当している会員を始め未経験の会員の皆様にもご参加頂きたく宜しくお願い申し上げます。

＜長野県教育委員会事務局との懇談について＞

県介護支援課長と「通いの場」についての懇談の席で、フレイル予防は高齢者だけでなく、脊柱側弯症を始め運動器疾患があれば青少年の時期からの予防が必要となることを説明したところ、直接の担当者である長野県教育委員会事務局 保健厚生課 保健・安全係 指導主事を紹介されました。後日、県庁に出向き、フレイ

ル予防のために運動器疾患は早期発見が重要であること、私たちは運動器に関わる業務をしていることを説明し、できることがあれば協力したいと話したところ、予防策として運動器検診（学校検診）があるが、これは文科省の指針に基づき整形外科の先生と相談しながら進めているため、県としては柔整師に依頼することは難

しいとの回答でした。その代わりに、県内各地域の養護教諭代表20名で構成される会議で、地域ごとに開催している養護教諭の講習会等での講師を貴会に依頼することを提案することはできません。という理解ある話を頂きました。講師の

件に関しては、すでに担当されている会員もおられますが、新たな依頼がありましたら、宜しくお願いいたします。運動器検診の参入については、11月の理事会で協議した結果、県医師会へ協力を求めていくことになりました。

＜長野県議会 県民文化健康福祉委員長からの打診について＞

清水純子県民文化健康福祉委員長（上田市選出県会議員 県民クラブ・公明）に電話で、当会の介護予防事業について説明したところ、議員としても専門職の皆様から直接話を伺うことは勉強になるので、党や会派でなく県民文化健康福祉委員会（自民党4名、改革・創造みらい2名、共産党1名、無所属1名）と貴会との懇談会の開催はいかがでしょうか。という提案を

頂きました。これにつきましても11月の理事会で協議した結果、開催することが承認されました。

以上が介護予防事業に関連する報告となりますが、今後も介護予防事業を推進して参りますので、会員の皆様には、ご理解ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



南信支部学術大会・学術講演会 (市民公開講座)

南信支部 学術部 佐藤 光洋

令和元年12月8日(日)諏訪市「RAKO華乃井ホテル」にて南信支部学術大会・学術講演会(市民公開講座)が開催された。

先行して午前9時開会した学術大会の会員発表では清水仁美座長進行の下3名の会員が発表を行った。

第1題「仙腸関節性の腰痛に対する手技療法」では岡谷市の増澤孝信会員が仙腸関節由来の腰痛治療法を報告。腰臀部痛を訴えた患者のうちPSIS周囲の痛みを訴えた患者に対しNewton test変法を使用し陽性であった場合の手技療法を紹介した。実技では検査法から治療法まで実演いただき、仙腸関節痛治療の視点を変えた治療法を提案していただいたいい研究であった。

第2題「超音波装置を用いた野球選手の肘内側障害における前腕屈筋群の筋評価」では伊那市、櫻井良輔会員が高性能超音波観察装置を用い肘の内側部障害がある選手の筋形態特徴統計を発表。再現性の困難な超音波観察装置での患部評価で最重要なのはランドマークを決めることである。今回特筆すべきは前腕長20%の位置を観察点と決め評価したこと。この部位にて疼痛群・健常群と分けて客観評価を行い筋膨隆の減少により内側支持機構筋損傷の有無を見たことは大変興味深い。統計にRコマンドを使用し信頼度を上げたことも評価が高い。臨床基礎研究でありながら今後のケア・予防方針策定のエビデンス構築に一石を投じる研究であると感じた。

第3題「中学校剣道部員の損傷調査」では、松川町の後藤安成会員がご自身の競技経験とサポート経験から剣道部員がどのような障害を持ち対応しているのかの調査を報告。統計論文は

総数に対しどうフィルタをかけるかが重要であるが、切り取り方が面白く特に障害の多かった下肢にフォーカスをあて柔軟性・筋力テストで評価した事が興味深い。このような統計をキッチリと行うことがエビデンスの構築の一助になることは間違いなく、研究論文として面白かった。発表者は若手の会員であるが、3題ともよく研究され切り取る視点も様々。各発表者への質問も多く活気のある学術大会であり大変いい刺激を頂いたように感じた。発表者に敬意を表します。

時間の遅延なく学会は終了し10時50分より一般聴講者15名、他支部会員1名、南信支部会員68名、業者6名 計 90名が参加した学術講演会が開かれ、阿部光典会員の工夫を凝らした講師紹介の後、鍼灸師・理学療法士の資格を持ちプロスポーツ現場で活躍されてきた金野治郎先生による「成長期におけるスポーツ障害とパフォーマンス向上」と題した講演を行っていただいた。パフォーマンスを向上するにはトレーニングだけでなく、日常生活動作を見直し、日ごろの姿勢を正していく事の大切さ、人の動きを見て正しく模倣出来るという視覚からの情報処理と自分の体をコントロールすることが出来る能力の必要性、そしてそれらを行っていく過程で選手自身に考えさせるという思考力が大事であると伝えて頂き、我々の意識改革とともに新たな気付きとなった。体幹トレーニングを行うことで体を固くしてしまい逆にパフォーマンスの低下を招く症例やプロ選手の柔軟性の高さ、パフォーマンスの高い選手の特長等、我々が意外と知らない現在の選手評価の方法を写真だけでなく動画をふんだんに用い一般聴講者にもわかりやすくご講演頂いた。スポーツ指導者の質

問にもわかりやすくお答え頂き、質問・回答からも再び勉強することができた。

講演会終了後、同ホテルで来賓として講師金野治郎先生にもご参加いただき南信支部忘年会が盛大に開かれた。諏訪湖を一望する素晴らしいロケーションから彩ある食事を囲み会員と歓談しつつ頂く一杯は至福の時間。金野先生を囲んでの宴席は終始和やかに進み参加者は親交を深めた。

今回、実行委員責任者として講演会を立ち上げたのですが、講師招聘・講師との打ち合わせ・会場手配・準備を笑顔で快く引き受けてく

ださいました阿部光典会員、秋山友彦会員、抄録審査・学会誌作成等ご尽力いただいた南信学術副部長・木下甲太郎会員・学術部・石田国博会員・山本陽介会員、講師の交通手配、広報手配を頂いた広報部長・野口邦治会員、忘年会の管理運営を頂いた小松孝史会員、悩んでいる私を陰でサポートしてくださった原隆県理事、全ての項目に適切に指示を出した無理を快くお聞き入れ頂いた宮下厚県理事・南信支部長、当日サポートしていただいた実行委員の皆さまに尊敬の念と深い感謝を申し上げ報告とします。



講師・役員・演者・実行委員 集合写真



増澤孝信会員



櫻井良輔会員



後藤安成会員



学会演者表彰



講師 金野治郎先生



忘年会



令和元年度 第35回中信支部学術大会

中信支部 杉原 直樹

令和元年12月15日（日）、松本市駅前会館（歯科医師会館）にて第35回中信支部学術大会、市民公開講座が開催されました。当日は年末のご多忙の中50名の会員が出席しました。

三澤茂明中信支部長の挨拶の後、会員研究発表が行われました。

演題1 安曇野大北地区 三間慎一郎

『参加から見てきた排尿障害への取り組み』
一尾骨還元後、改善した症例経験からの考察
(part, 1)

腰椎の前彎を獲得し尾骨の整復をすることで改善された事例の報告がありました。

演題2 塩筑木曽地区 荻上敦志

『高校バスケットボール部トレーナー活動報告』

腰部、下肢の捻挫、挫傷が多い事、トレーナーとしてのやりがいや難しさの報告がありました。

演題3 松本北部地区 廉澤大輔

『肩関節周囲炎のテーピングに対する検証と考察』

肩回りの筋へ複合的に組み合わせて貼付すると可動域改善と疼痛緩和がみられた事例の報告がありました。

演題4 松本南部地区 百瀬弘樹

『腰痛・骨盤痛患者における超音波療法の症例報告』

中殿筋から大転子周辺への照射で改善された事例の報告がありました。

会員研究発表後に総評を独立行政法人 国立病院機構まつもと医療センター整形外科 磯部研一先生と松本歯科大学病院整形外科 小林博一先生より貴重なご意見を頂きました。Dr.視点からのご意見や疑問点、アドバイスなど発表

者のみならず各会員大変勉強になった事と思います。

その後、市民公開講座が行われ演題『「冷やす」という選択肢』講師は株式会社クリエイターセス SESCRYO店長 吉本宗司先生よりご講演がありました。

この治療法はクライオセラピーというもので全身性低温療法(Whole Body Cryotherapy)ともいわれ世界のトップアスリートやハリウッドスターたちの間で活用されはじめたりカバリーの手法で、最高でも3分間、液体窒素を利用して-120℃~-196℃の超低温になったキャビン内に入り、全身を冷やすことで身体反応を引き起こし回復力を高めるそうです。

効果として疲労回復、リカバリー、アンチエイジング、美肌効果、ダイエット、ストレス軽減と幅広く期待が持てるようです。

元々この施術法は1970年後半に日本でリウマチ治療を目的に開発導入された経緯があり、アメリカでさらなる発展をとげ逆輸入という形で日本に入ってきたようです。当初は国立のスポーツ支援施設で使用されていたものが、3年前より民間でも使用できるようになり現在5台程が全国各地に設置されているようです。セスクライオさんは2019年3月に甲信越初となる店舗を松本市に開業され現在地元のサッカーチームのサプライヤーとしてもご活躍されています。

今回は会場に制限がある為、ピンポイントに使用される「クライオ フェイス」と、メドマーのような足を入れる器具「ノーマテック」をお持ち頂き、実際に体験させて頂きました。

このうち「クライオ フェイス」は掃除機のような形でホースの先端から液体窒素を気化さ

せた冷気が出ており、施術してもらいたい部位にそれを当てて使用します。一人5分程の施術でしたが首、肩、腰、腕、頭皮等、各会員気になる部位へ施術して頂きました。流石に劇的に改善とはいきませんが、当てられた部位はかなり冷感がありました。

日頃、私たちの施術でも急性期以外で冷やすという行為は少ないかもしれませんがこういった方法も何かのヒントになるかもしれないと感

じました。

この後、吉本先生への謝辞、表彰・撮影と続き無事プログラム終了となり閉会となりました。

年々、出席される会員の先生方が減ってきている現状ですが、今後も会員に有益な情報を共有しあえる場を提供していきたいと思っておりますのでご協力の程宜しくお願い致します。



第2回諏訪地区中体連救護講習会

南信スポーツ支援部 伊藤 篤

令和1年9月7日（土）13：30～15：00まで茅野市立東部中学校ラーニング室にて諏訪地区中体連各競技専門部教諭及び養護教諭に対しての救護講習会を昨年に続き開催いたしました。

今回の開催に至るまでの経緯として「秋の新人戦には養護教諭が不在なので、各競技部での対応だと不安なため、応急手当の講習会を開いてほしい」と中体連側からの要望で行うことになりました。

当日は中体連側から15名の先生方が出席され、柔整師会側からも7名の会員が参加しました。参加会員の紹介後に、まずは座学を20分間行いました。

今回初参加の先生方が多かったので「外傷の応急手当について」「栄養学からみたケガの予防について」などの基本的なことのみを、私が代表して講義を行い、その後の質疑応答では、「野球にはいまだに米をたくさん食べなさいといった米至上主義が残っているが栄養学的にはどうなのか」「どのくらい蛋白質を取ったらいいのか」などの質問が出ました。



続いて行われた実技では、中体連側に持参して頂いた救護バックの中身チェックから行い、普段あまり中身を確認していないため、足りないものや使えないものがないか見る良い機会となりました。



その後にテーピングを使用して実技を行い、足関節捻挫は中体連競技の中で最も多いケガでもあり、中体連の先生同志ペアになり練習しました。慣れていない先生方が多かったため、応急としての役割が果たせれば十分であることを伝え、その他に突き指の応急手当としての固定法や、ラップを使った止血法も参考までに行いました。



最後にご挨拶頂いた諏訪地区中体連大会委員長・岡谷東部中学校校長の池田秀司先生からは、柔道整復師会に対し感謝の御言葉を頂き「今回教わった技術を大会や部活動はもちろん、学校行事の登山や体育祭などでも生かせるようにしたい」と述べられておりました。中体連との関係がより深まり、来年以降も継続していいのではないかと感じる講習会となりました。

令和元年度 スポーツ医科学サポート会議

主催：公益財団法人 長野県体育協会

スポーツ支援部 北信支部 高原 義勝

令和元年9月17日（火）長野県スポーツ会館2F大会議室において「令和元年度スポーツ医科学サポート会議」が開催されました。

本年度の会議のテーマは「第74回 国民体育大会 いきいき茨城ゆめ国体に向けて！」今回は長野県栄養士会、管理栄養士の堀内真由美先生に「試合期の食事」の演題でご講演をいただいた。

堀内先生は、長野県青少年野球協議会の医科学委員も務めており、アスリートの栄養管理についてのエキスパートである。

講演の内容としては、ターゲットとする大会

（国体）に向けて、体を作る時期・調整期・大会本番に分けて、スライドを使って具体的なメニューの提案をわかりやすく講義していただいた。今月末から国体は始まるので、大会前の調整期や大会期間中の食事管理については、各競技団体とも真剣なまなざしで講義を拝聴した。

我々が、日々接しているアスリートは、今後、長野県を代表して国体に出る可能性のある子供たちが多く、練習以上に、成長期はしっかりした体づくりのための食事管理の重要性を学ばせていただいたと思います。

在宅医療シンポジウム in 信州

南信支部 飯塚 康弘

去る11月10日（日）13：30～15：30 伊那市信州INAセミナーハウスに於いて、長野県医師会主催の在宅医療シンポジウムが開催されました。

さあ、終活を考えよう～縁起でもないことを当たり前のことに～と題して、三浦久幸先生（国立開発法人、国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部長、もの忘れセンター老年内科医長）が基調講演され、医療関係者や一般の方約300人が集まりました。

講演の中で「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」に焦点を当て①過去の医療・ケアに関する経験について②現在の健康状態の気になり、不安や大切にしていること③今後の人生の目標について④判断できなくなったときに備えて～療養場所や治療への希望～⑤いのちに関する考え方⑥代弁者について、などを家族や医師、介護専門職を交えて話し合うことが大切だとお話をされた。そのあと行われたパネルディスカッションでは、実際に業務に携わるパネ

リストにより、「人生会議で話し合うべき大事なこと」が話し合われました。



(公社) 長野県柔道整復師会 令和元年度保険講習会 報告書

東信支部保険部 西村 公紀

令和元年11月17日（日）午後1時～午後2時50分の時間で、佐久市市民創錬センターにおいて令和元年度保険講習会が開催されました。

今年度は北信支部・東信支部会員及び社団会員外の柔道整復師を対象に実施されました。

西條北信支部長の開会の辞に続き、柏木副会長の挨拶をいただきました。

挨拶の中で、保険者からの執拗且つ横暴とも思われる患者調査に対し「柔道整復師に対する、ある種の営業妨害ではないか」と講師の前で発言されたことに、柔道整復師として勇気と希望を頂きました。また、今回の台風19号による被災者に対しての会員によるボランティア活動に触れられ、会員の公共性に対する意識・資質の高さを強調しアピールされたことも、柔道整復師の評価向上の一助となり得たものと思います。

引き続き、宮本北信支部保険部長の講師紹介の後講義に移り、関東信越厚生局長野事務所医療事務官 清水浩一様から「柔道整復師の受領委任にかかる取り扱いについて」説明がありました。関東信越厚生局長野事務所 医療指導監視監査官 小林幸弥様から「柔道整復師の施術にかかる療養費の算定基準」「協定書・受領

委任の取扱規定」「柔道整復施術担当者の指導監査」の3点について説明いただきました。講義終了後、酒井副会長から講師の方々に謝辞を申し上げ、石坂東信支部長の閉会の辞にて無事終了しました。

講習会終了後事務連絡として、酒井副会長より講義の中で取り上げられた「外傷性」と「慢性」の語句に対する本会としての解釈の説明があり、出席者皆納得されたものと思います。更に補足の説明もあったようですが、一部の出席者より時間による打ち切りの発言があり終了となったことは大変残念でした。

当日の出席状況は以下の通りです。

東信支部	81名中	出席67名	欠席14名
北信支部	150名中	出席124名	欠席26名
中信支部	3名中	出席1名	欠席2名
南信支部	8名中	出席4名	欠席4名
社団外柔道整復師		出席22名	

第24回醍醐敏郎杯 全国少年柔道錬成大会を終えて

長野県柔道整復師会中信支部 矢口 修
醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会事務局

第24回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会を、令和元年11月23日・24日無事に終了する事ができました。

(公社)長野県柔道整復師会におきましては、共催団体として中信支部共々、大会の開催に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。

また、県内四地区の支部会員の皆様には、大会の運営・審判員・補助員・大会パンフレットの広告や、出場団体の監督・コーチ・大会の引率と大変なマンパワーを発揮していただきました。大会事務局長としてお礼申し上げます。

さて、醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会は、1997年2月2日、現在講道館最高顧問でおられます、醍醐敏郎先生のお名前をお借りした冠大会、「第1回醍醐敏郎杯争奪信州少年柔道錬成大会」として、信州松本でスタートいたしました。その後、大会名を「醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会」と変更して現在に至ります。

醍醐敏郎先生を簡単にご紹介いたします。戦後の柔道界を牽引した1人であり、講道館研修員や警察大学校師範として後進の指導にも当たり、モントリオール五輪やロサンゼルス五輪では男子柔道競技の監督を務め、2006年には講道館より事実上の最高段位である10段に列せられています。醍醐敏郎先生は現在93歳とご高齢ですが、1998年頃より開始した、醍醐敏郎先生の個人研修会「口伝会」にて、同志らと共に毎週講道館の大道場にて、柔道形（古式の形）の研究と研鑽に勤んでいます。また、講道館評議委員・講道館最高顧問として、嘉納治五郎先生の「柔道の父」「日本の体育の父」と呼ばれた

思想を受け継いでいます。

第24回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会には、北は北海道・南は和歌山県より、2000名の選手のエントリーの元、盛況に開催されました。

トーナメントは、5つのカテゴリーに分かれての団体戦となります。カテゴリーは、小学生低学年の部（小学生1・2年生3人制）・小学生中学年の部（小学生3・4年生3人制）・小学生高学年の部（小学生5・6年生5人制）・中学生男子の部（5人制）・中学生女子の部（3人制）です。

大会の会場となる松本市総合体育館メインアリーナには、11月23日（土曜日）午前7時より、600畳の畳を敷き、14試合場の準備をして午後1時の開会式を迎えました。

参加団体・チームは、醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会のトーナメントで、上位成績を残す事が参加チームの一番の目的です。そのトーナメントが行われる試合会場を、開会式終了後2時間開放する事により、約1000名の選手が、そこで練習試合をします。

長野県内のチームに関しては、もう一つの目玉、県内に居ながら全国の上位チームの胸を借りて練習する事が出来るのも、錬成大会ならではの醍醐味ではないでしょうか。

そして、翌日11月24日（日曜日）午前9時よりトーナメントの開始となり、全国より約2000名の選手の熱戦が行われました。松本市総合体育館には、開催スタッフ400名・選手2000名・監督・コーチ・保護者の皆様と関係者を合わせて総勢約4000名で埋め尽くされました。

試合結果は次の通りです。

	優勝	準優勝	三位	三位
小学生低学年の部 一年生・二年生	小川道場 神奈川県	松坂市武道館柔道 教室 三重県	大石道場 愛知県	誠心館道場 A 長野県
小学生中学年の部 三年生・四年生	東海少年柔道教室 A 愛知県	春日柔道クラブ A 東京都	県武道場 愛知県	高石市柔道 スポーツ少年団 大阪府
小学生高学年の部 五年生・六年生	常総市体育協会 茨城県	平柔スポーツ少年 団 神奈川県	小川道場 神奈川県	まるや接骨 院柔道部 山梨県
中学生男子の部 全学年	東海大学付属浦安 高等学校中等部 千葉県	東海大学付属浦安 静岡翔洋高等学校 中等部 静岡県	明心館 関本道 場 A 千葉県	誠錬館 茨城県
中学生女子の部 全学年	淑徳中学校 東京都	誠心館道場 A 長野県	東松山北中学校 埼玉県	新井道場 A 埼玉県

長野県からは、塩尻市の誠心館道場が小学生低学年の部三位入賞と中学生女子の部準優勝。全国の強豪チームと肩を並べた試合でした。

(公社)長野県柔道整復師会の関係者の皆さまお疲れ様でした。



第28回日本柔道整復接骨医学会 学術大会に参加して

東信支部 國友 康晴

小雨降る初冬、11月23日の東京有明大学は、朝から学会参加者で溢れかえっていました。今回の開催場所が大学という地の利もあり、若い参加者が目立っているのはここ最近のいい傾向だと思います。ラットなどを使ったミクロな研究も増えてきた論文発表には、高田会長や西條学術部長らが学生たちを応援するかのような温かい質問をし、活発な質疑応答がみられました。

一日目の実践スポーツ医科学セミナーでは、数々の学会賞を受賞され、スポーツ医学の先駆者のひとりである福林徹東京有明大学特任教授が「スポーツ医学における外傷・障害のスポーツ復帰までの治療」と題し、柔整・現場よりのセミナーを行っていただきました。また、そこに白木筑波大学教授と、急遽駆けつけて頂いた工藤公康SB監督がパネラーとなり、スポーツ障害などに関する様々なディスカッションが繰り広げられました。工藤監督の「選手がどれだけ現役を続けられるか」という、選手個人に目を向けた指導や監督業が今日の常勝SBに繋がっているのだと感じたと同時に、我々も現場で選手を直にみることの大切さを考えさせていただきました。

長野県内の会員から何題も発表があり、長野県柔整師会の学術への意識の高さが伺えました。私も「下腿三頭筋への振動刺激が柔軟性に与える影響」を発表し、会場や座長から質問を

頂きました。また、座長も仰せつかり、拙い進行ながら4題の発表者に質問も行えました。座長終了後には、発表者が意見交換に来てくださり、有意義な時間が過ごすことができました。

全ては「患者様のために勉強し研究し発表する」という我々柔整師の基本となる志をもとにできる意見交換は、何にも代えがたい至福の時間です。

二日間にわたるこの学会は、様々な研究発表を聞き勉強することの有意義さは当たり前ですが、同門の人間と久しぶりに顔をあわせたり、学術への意識の高い人達同士で症例についてディスカッションしたりすることも楽しみの一つです。例えば同志と酒を酌み交わしつつ。これはやはり、学会会場へ足を運び発表を聞くこともそうですが、発表者へ質問をしたり、更には我々柔整師が行う日頃の施術をきちんと研究しDATA化し多くの人に発表することが自己研鑽につながり、結局は患者様のためになると考えています。

来年は帝京平成大学が主幹となりますので、また更なるレベルの高い発表がたくさん拝聴でき勉強できるはずです。今からワクワクします。そんな素晴らしい環境に皆様が飛び込んできてくれることが、詰まるところ、業界の発展につながると信じていますので、お近くの学術部員へお問い合わせください！ To infinity and beyond！



— 第一回フレイル予防推進検討会 —

保険部 介護班長 原 隆

令和元年11月26日（月）午後1時30分より、長野県庁議会棟会議室にて長野県健康福祉部・健康増進課主催で昨年度立ち上げられた「フレイル予防推進検討会」が開催されました。

この会の目的は、適切な介入と支援により生活機能の維持・向上が可能となるため、高齢者の健康支援に関わる専門職等が、それぞれの特性に応じた推進方策を検討・共有し、地域におけるフレイル予防対策を推進することです。

この会は、有識者・保健医療福祉関係者・高齢者支援関係者・市町村担当者等で医師会、歯科医師会、薬剤師会の三師会を始め、当会のような専門職を含め24団体で構成されています。

今回の内容は、（1）長野県の取組と高齢者の状況について（2）高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施について（3）関係機関等におけるフレイル予防の取組等について（4）地域における健康ボランティアの活動について等でした。

最初に、原啓明長野県健康福祉部健康増進課長より、日頃から県民の健康づくり及び介護予防に関して大変ご尽力頂いていることに御礼がありました。この会が昨年度より発足した経緯や概要を説明され、この会で検討作成されたリーフレット等を通じて関係各所でフレイル予防の周知を図っているとのことでした。また今後のフレイル予防の取組については、今年10月に厚生労働省が策定した高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドラインの第2版に基づいて、長野県としては健康長寿世界一を目指し第3次長野県健康増進計画を含んだ第2期信州保健医療総合計画や第7期の長野県高齢者プラン等を推進するとのことでした。フレイル予防については、健康福祉部の保健・疾病対策課・介護支援

課、健康増進課の三課が一体となって取り組んでいます。国が来年度から補助事業として行う高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施についての概要説明と関係団体のフレイル予防の取組等も紹介されました。情報を共有することで関係機関との連携を深め、フレイル予防の一層の取組を促進していきたいという挨拶でした。

概要については **資料1-1**（別紙）をベースにフレイル予防総合推進事業についての詳細やKDB（国保データベース）から生活習慣病の分析、高齢者の状況についてと後期高齢者医療連合から*高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（*国保と後期高齢者の保健事業を接続する必要がある、フレイルに着目した疾病予防の取組には、市町村において後期高齢者の保健事業を介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施していくこと）で、令和6年度までに全市町村で実施するよう国が推進しているとのことでした。具体的には1. 健診・医療・介護のデータを分析して健康課題を明確にし、事業の企画・調整を行うこと。2. ①高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）②通いの場への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）です。ここで県から要請されている「通いの場」での体操指導等の関わりが理解できました。

関係団体ごとのフレイル予防の取組については、事前に提出した資料に基づき事業内容や実施状況、事業効果、今後の展望などが報告されました。県医師会から順に発言し長野県柔道整復師会としては、平成18年より実施している介護予防教室を中心に説明しました。

引き続き、金井春子長野県食生活改善推進協

議長より「食改が行うフレイル予防活動について」、小林秀子佐久保健福祉事務所健康づくり支援課長より「佐久地域における運動支援ボランティア養成の取組」についてスライドを使用しながら報告がありました。

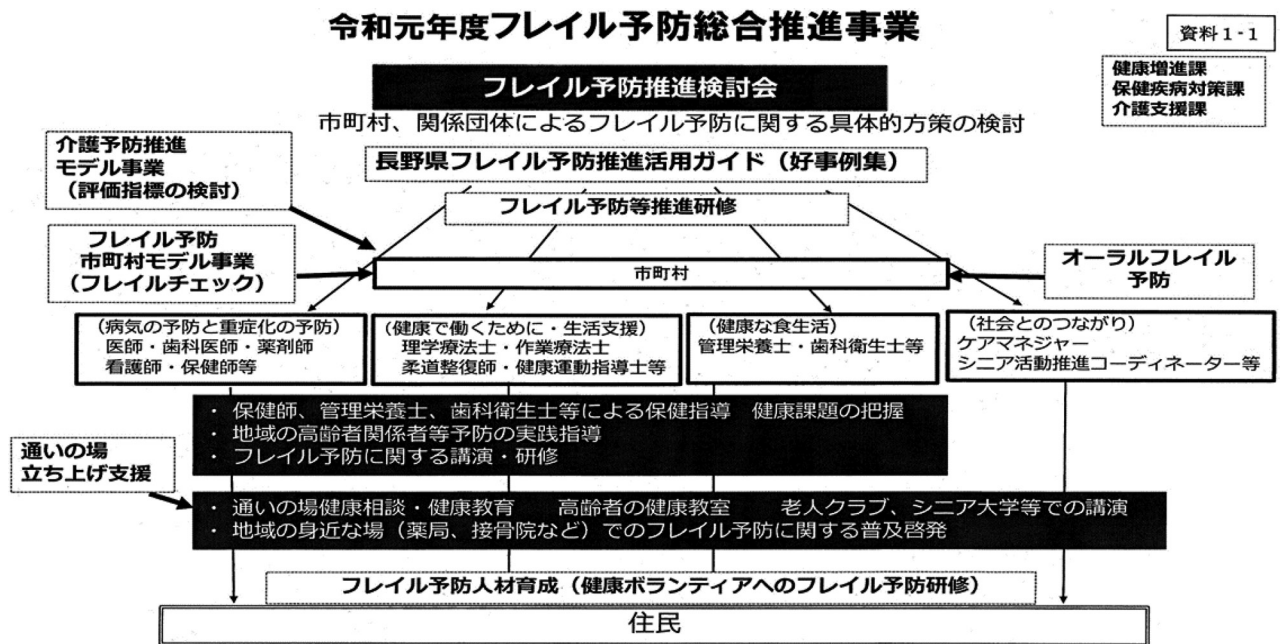
今回報告された関係団体のフレイル予防の取組については、各団体で活用できるよう冊子とする予定があることと、第2回の会議は2月に開催されることを確認して閉会しました。

今回初めて参加させて頂いて、今後のフレイル予防について県としての考え方や多職種の皆様の取組を伺うことで大変勉強になったとともに、私たちは運動器疾患を業務としていることから機能訓練等のフレイル予防に関わる事業は適職であることを、あらためて実感する機会となりました。どうか一人でも多くの会員の皆様に関心を寄せて頂き、介護予防教室とともに県

からの要請で来年度から始まる「通いの場」で体操等の指導にも参入頂けますようお願いしたいと思います。

今年度予定している令和2年2月9日（日）の機能訓練指導員フォローアップ講習会の講師に、今回のフレイル予防推進検討会で有識者としてご出席された信州大学教授の百瀬公人（きみと）先生をお招きしてあります。すでに介護予防教室を担当している会員を始め、未経験の会員の皆様にも「通いの場」で体操等の指導ができるような内容を計画していますので、多くのご参加をお願いいたします。

今後も皆様のご理解ご協力を頂きながら介護予防事業を推進し、柔道整復師会の発展と地域貢献とともに私たちの業務や活動を広められることを希望し報告といたします。





長野県庁外観



正面玄関



長野県議会 議会棟入り口



会議風景

令和元年度 生涯学習講演会

事業部 山内 明

9月29日（日）本会事業部主催で生涯学習講演会が（公社）長野県柔道整復師会館3階で開催されました。

出席者は、北信支部33名、東信支部14名、中信支部8名、南信支部6名の計61名でありました。

＜生涯学習講演会の開催報告＞

午前10時～12時まで講師に長野市篠ノ井で飯塚医院院長をされている飯塚康彦先生をお招きして『ちょっと役立つ医学の知識』をテーマに生涯学習講演会が開催されました。飯塚先生は、長野県医師会常務理事、長野県地域産業保健センター産業保健指導員、長野県地域産業総合支援センター特別相談員・運営主幹をされている先生です。

以下講演内容

●季節性インフルエンザに罹りました。

- ・パロキサビル（ゾフルーザ®）を希望しますか？

インフルエンザに対して日本が一番いい薬を持っていると世界でも有名だそうです。

- ・予防接種をしても50%は罹患する。
- ・2018-19シーズン、パロキサビルは注目を集め、500万人以上の患者に使用されたが、A型インフルエンザ患者のうち数十万人から耐性ウイルスが発見された。なので、処方されるときには、タミフル、リレンザ、イナブルなど違うものを処方してもらおうといい。

●新型ノロウイルスの流行にどうそなえるか？

- ・感染が成立するウイルスの量は100個以下。
- ・ノロウイルスは、アルコール消毒に耐性がある。
- ・次亜塩素酸ナトリウム消毒は、800ppm（0.08%）以上の実効塩素濃度、加熱消毒（85度以上3分加熱）で消毒可。

- ・ノロウイルス対策として手指衛生は極めて重要。

●尿酸は高くないですか？

- ・霊長類と鳥類は、どういうわけか尿酸を代謝するウリカーゼを欠失していて、それによって尿酸を尿と便に出している。
- ・ヒトは体内でビタミンCをつくる能力をなくして尿酸がスカベンジャー（抗酸化物質）の働きを担うようになったのではないかとされる。
- ・尿酸値が低ければ低いほどいいわけではなく、低尿酸血症の人が運動後に急性腎不全・横紋筋融解を起こしやすい。
- ・ちょうどいいターゲットレンジがどこにあるか現在の課題。
- ・アルコールによる尿酸の産生亢進は、そこに含まれるプリン体の量ではなく、エタノールの代謝過程でATPを過剰に消費するメカニズムが考えられる。
- ・過度の運動は、細胞崩壊からのプリン体負荷と乳酸産生増加が高尿酸血症の原因となる。
- ・食事由来の果糖による高尿酸血症発症にも注意が必要。

●血圧の単位mmHgは今後どうなるのか？

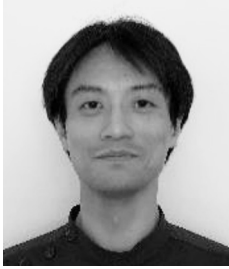
- ・水銀は医療現場からなくなりつつある。
- ・水俣病の原因である。（メチル水銀）
- ・気圧はmbar、mb（ミリバール）からhPa

(ヘクトパスカル) に1992年から使用されている。

- ・将来、血圧の単位mmHgからhPaに変わる日が来るかもしれません。

飯塚康彦先生には、大変お忙しい中、ご講演頂き感謝申し上げます。また、聴講者の皆様には早朝より長時間の講演会にご参加頂きありがとうございました。





令和元年度 生活習慣病予防健診 (松本会場)

中信支部 郷津 純

令和元年11月17日（日）、生活習慣病予防健診（松本会場）が松本市公設地方卸売市場管理棟2F会議室にて行われました。

当日、松本会場には例年の2倍くらいの55名の方が受診されました。

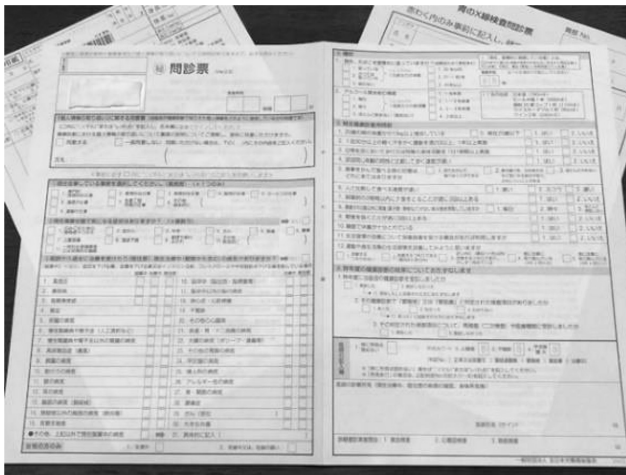
この健診は、（一財）全日本労働福祉協会のご協力を得て毎年秋頃に行われています。

受診コースには、病院などより有用な判定ができドック健診と同様の検査の他、「超音波（エコー）検査」「腫瘍マーカー検査」を採り入れたAコースと、通常必要とされる検査項目を内容とする若年者層にお勧めのBコースの2つ

があります。その他、アミノインデックス（ALCS）検査という新しい癌検査などのオプションも9つあり、充実した内容で様々な病気のリスクを知り生活習慣を見直す良い機会だと思いました。

もし何か異常が見つかったとしても、早い段階であれば治療することもできるでしょうし、また改善できることがあれば改善して、毎日の健康を維持して行きたいものです。

できるだけ多くの方に受診されることをおすすめします。



ホームページリニューアルについての 打ち合わせ

広報部長 三澤 茂明

令和元年9月12日（木）にホームページリニューアルについての打ち合わせを（公社）長野県柔道整復師会会館で行いました。

本会からは三澤茂明と宮沢康信IT委員長が出席し株式会社HSKの大城慶秀様と協議いたしました。

現在のホームページでもその機能は十分発揮しているのですが令和という新しい時代に即した新しい情報発信を行っていかうという本会の意向に沿ってリニューアルをいたします。

旧ホームページから記事を移行する作業を行っている最中ですが思ったよりもその情報量が多く、また新しい情報も加えて刷新するため非常に時間がかかっております。

2020年の3月下旬に公開する予定ですが国民の皆様や会員にホームページを見れば本会の活動や内容が良く分かるようなものとしていきたいと考えております。

ご意見やご助言等ありましたら各支部の広報部長または三澤までお願いします。

令和元年度 健康保険組合連合会長野連合会と (公社) 長野県柔道整復師会との懇談会

保険部 介護班長 原 隆

令和元年12月13日（金）午後4時より、ホテルメトロポリタン長野にて今年度の健康保険組合連合会長野連合会との懇談会が開催されました。

出席者

【健康保険組合連合会長野連合会】

会 長	小野 哲也 様 (エプソン健保組合)
副会長	小川 憲一 様 (長野県自動車販売店健保組合)
保険医療分科会会長	中島 一志 様 (長野銀行健保組合)
保険医療分科会副会長	長谷川 裕 様 (キッセイ健保組合)
柔整師施術療養費審査委員	富沢 幸正 様 (北野建設健保組合)
柔整師施術療養費審査委員	小坂 征史 様 (長野県自動車販売店健保組合)
事務局長	奥村 誠二 様 (長野連合会)

【(公社) 長野県柔道整復師会】

会 長	高田 保
副会長	酒井 正彦
副会長	柏木 久明
専務理事・南信支部長	宮下 厚
東信支部長	石坂 秀司
北信支部長	西條 賢治
中信支部長	三澤 茂明
理 事	西條 義明
理 事	原 隆
常 務	霜村 巖

懇談会は連合会の奥村事務局長の司会進行で、中島一志保険医療分科会会長の開会の辞から始まり、新たに就任された小野哲也連合会会長はご挨拶で、先ず台風19号により被災した当会会員へのお見舞を述べられました。柔道整復術公認100周年のことや日整広報での松岡副会長の言葉も引用されるなど、柔整師会のことを相当勉強されていることに敬服しました。請求側と支払側が一丸となり今後も良い関係を築いていくことが大切で、今年の流行語大賞に選ばれた「ONE TEAM」で行きましょうと建設的な考えを押し出されました。また、ご自身が学生時代に柔道で怪我をされたとき、顧問の先生に処置して頂いたという親近感の持てるエピソードも紹介されました。次いで高田保会長は、台風19号で被災された方へのボランティア活動の報告をし、お互いの立場は違うが目的は患者さんのためということで双方一致していると挨拶しました。

自己紹介の後、協議事項に入り連合会からの質問・要望事項に対して、柏木久明保険部長を中心に一題ずつ回答しました。具体的には、フレイル予防に特化し柔整師会として予定している事業について、監査の状況、療養費支給基準の徹底について、問い合わせ窓口の確認等です。要望事項についてはレセプトの電子化や明細書付きの領収書発行等についてでした。フレイル予防に関する事業については、私から今までの介護予防事業の概略と県からの要請で、「通いの場」での体操指導等について説明しました。その後は直面する課題等もあり活発な意見交換が行われました。当会からは、患者照会や整骨院・接骨院へのかかり方のリーフレットについては、誤解を生じるケースも多々あり長

年築いてきた患者や地域との信頼関係が一気に崩壊してしまうことを危惧していると訴えました。会議は、真摯に質疑応答がなされ、終了予定時間を超えてしまいました。

引き続き行われた懇親会の席では、垣根を超え飾らぬ対話ができ、お人柄も知ることができ、お互いの理解を深める有意義な時間となりました。ある方から社団の皆様の申請は

信頼して審査できるという嬉しい話を伺うことができました。その言葉に甘んじることなく今後も適正な請求を行うことが、より良い関係を継続していくことになると思います。短時間でしたが、実のある会議でした。今後もお互いに努力することが円滑で円満な保険診療に繋がると思います。



会議風景



健康保険組合長野連合会会長 小野哲也様



柔道師会役員



健保組合役員

介護予防事業報告 (平成31年1月～令和元年6月)

保険部 介護班長 原 隆

日頃より介護予防事業に、ご理解ご協力を頂き心より感謝申し上げます。平成31年1月～令和元年6月までの活動状況は以下のとおりです。公私ともにご多忙のなか、活動にご協力頂きました関係者の皆様、誠にありがとうございました。

	教室数	担当会員数	教室開催数	利用者延人数	担当市町村数
全 県	23教室	57名	328回	4,390名	12
東信支部	1教室	1名	23回	138名	1
北信支部	6教室	19名	105回	1,437名	3
中信支部	6教室	5名	44回	568名	3
南信支部	10教室	32名	156回	2,247名	5

次年度は、介護予防教室とは別に県介護支援課の事業として地域の高齢者を対象にした「通いの場」が始まります。この事業で介護予防のアクティビティを高めるためPT、OTとともに専門職である私たちにも体操等の機能訓練指導依頼がありました。具体的には今後となりますが、地域貢献とともに地域社会に柔道整復師への理解を広められる貴重な機会であるため、2月9日に開催する機能訓練指導員フォローアップ講習会には、より多くの会員の皆様に参加頂き、自らの健康維持とともに介護予防事業へ一人でも多く参入頂ける契機になればと思います。今後ご理解・ご協力のほど宜しくお願いいたします。

●東信支部 担当者 金児 充

氏 名	月日	会 場	人数	地区(市町村)
金児 充	1/11	かねこ接骨院	6	東御市
金児 充	1/18	〃	6	〃
金児 充	1/25	〃	6	〃
金児 充	2/1	〃	6	〃
金児 充	2/8	〃	6	〃
金児 充	2/15	〃	6	〃
金児 充	2/22	〃	6	〃
金児 充	3/1	〃	6	〃
金児 充	3/8	〃	6	〃
金児 充	3/15	〃	6	〃
金児 充	3/22	〃	6	〃
金児 充	4/5	〃	6	〃
金児 充	4/12	〃	6	〃
金児 充	4/19	〃	6	〃

金見 充	4/26	〃	6	〃
金見 充	5/10	〃	6	〃
金見 充	5/17	〃	6	〃
金見 充	5/24	〃	6	〃
金見 充	5/31	〃	6	〃
金見 充	6/7	〃	6	〃
金見 充	6/14	〃	6	〃
金見 充	6/21	〃	6	〃
金見 充	6/28	〃	6	〃

●北信支部 担当者 松本 毅

氏名	月日	会場	人数	地区(市町村)
代表者記載 大塚、小橋 他10名	1/4	中野市ひざ腰らくらく教室 (中野市豊田文化センター) 高橋(文)・松本・大塚・鶴田・小橋・小林・樋口 布施谷・丸山・松田・高橋(和)・中島	15	中野市
大塚、中島他	1/11	〃	15	〃
中島、松本他	1/18	〃	15	〃
松本、丸山他	1/25	〃	15	〃
丸山、小林他	2/ 1	〃	15	〃
小林、高橋(和)他	2/ 8	〃	15	〃
高橋(和)、鶴田他	2/15	〃	15	〃
鶴田、松田他	2/22	〃	15	〃
松田、樋口他	3/ 1	〃	15	〃
樋口、高橋(文)他	3/ 8	〃	15	〃
高橋(文)、布施谷他	3/15	〃	15	〃
布施谷・小橋他	3/22	〃	15	〃
松田和也	2/27	中野市ずくだせ応援隊(高齢者センター)	10	中野市
丸山 桂	3/8	〃 (しんしゅうなかの敬老園)	10	〃
小林 修	3/19	〃 (北部公民館)	8	〃
代表者記載 大塚 他11名	6/26	中野市ひざ腰らくらく教室 (中野市保健センター) 大塚・高橋(文)・小橋・丸山(桂)・松田・鶴田・松本 小林(修)・布施谷・樋口・中島・高橋(和)	12	中野市
松本 毅	1/21	飯山市はつらつ健康教室月曜日コース (飯山市保健センター)	11	飯山市
〃	1/28	〃	15	〃
〃	2/18	〃	12	〃
〃	2/25	〃	12	〃
〃	3/4	〃	13	〃
松本 毅	4/15	飯山市はつらつ健康教室月曜日コース (飯山市保健センター)	13	飯山市
松本 毅	4/22	〃	12	〃
〃	5/13	〃	15	〃
〃	5/20	〃	13	〃
〃	5/27	〃	10	〃
〃	6/17	〃	11	〃

〃	6/24	〃	11	〃
松本 毅	1/10	飯山市はつらつ健康教室木曜コース (飯山市保健センター)	12	飯山市
〃	1/17	〃	12	〃
〃	1/24	〃	15	〃
〃	1/31	〃	13	〃
〃	2/7	〃	15	〃
〃	2/14	〃	14	〃
〃	2/21	〃	14	〃
〃	2/28	〃	12	〃
〃	3/7	〃	13	〃
〃	3/14	〃	14	〃
松本 毅	4/11	飯山市はつらつ健康教室木曜コース (飯山市保健センター)	15	飯山市
〃	4/18	〃	16	〃
〃	4/25	〃	14	〃
〃	5/9	〃	18	〃
〃	5/16	〃	16	〃
〃	5/23	〃	17	〃
〃	5/30	〃	19	〃
〃	6/6	〃	18	〃
〃	6/13	〃	17	〃
〃	6/27	〃	16	〃
松本 毅	1/16	飯山市社協「転倒予防教室」I班 (飯山老健センター湯の入)	12	飯山市
〃	1/30	〃	9	〃
〃	2/13	〃	9	〃
〃	2/27	〃	10	〃
〃	3/13	〃	9	〃
〃	3/27	〃	12	〃
松本 毅	4/3	飯山市社協「転倒予防教室」I班 (飯山老健センター湯の入)	13	飯山市
廣川さつき	4/17	〃	14	〃
藤巻雄太	5/8	〃	10	〃
沼田鉄平	5/22	〃	14	〃
山崎 裕	6/5	〃	15	〃
松本 毅	6/19	〃	14	〃
沼田鉄平	1/4	飯山市社協「転倒予防教室」II班 (飯山老健センター湯の入)	11	飯山市
〃	1/18	〃	10	〃
〃	2/1	〃	9	〃
〃	2/15	〃	10	〃
〃	3/1	〃	11	〃
〃	3/15	〃	10	〃
〃	3/29	〃	10	〃
山崎 裕	4/5	飯山市社協「転倒予防教室」II班 (飯山老健センター湯の入)	19	飯山市
松本 毅	4/19	〃	18	〃

介護予防事業報告

沼田鉄平	5/10	〃	17	〃
廣川さつき	5/24	〃	19	〃
沼田鉄平	6/7	〃	19	〃
山崎 裕	6/21	〃	17	〃
藤巻雄太	1/9	飯山市社協「転倒予防教室」Ⅱ班 (飯山老健センター湯の入)	13	飯山市
〃	1/23	〃	11	〃
〃	2/6	〃	13	〃
〃	2/20	〃	12	〃
〃	3/6	〃	13	〃
〃	3/20	〃	11	〃
藤巻雄太	4/10	飯山市社協「転倒予防教室」Ⅱ班 (飯山老健センター湯の入)	17	飯山市
山崎 裕	4/24	〃	14	〃
松本 毅	5/15	〃	16	〃
藤巻雄太	5/29	〃	17	〃
藤巻雄太	6/12	〃	17	〃
沼田鉄平	6/26	〃	18	〃
山崎 裕	1/11	飯山市社協「転倒予防教室」Ⅳ班 (飯山市老健センター湯の入)	12	飯山市
〃	1/25	〃	10	〃
〃	2/8	〃	12	〃
〃	2/22	〃	11	〃
〃	3/8	〃	10	〃
〃	3/22	〃	12	〃
沼田鉄平	4/12	飯山市社協「転倒予防教室」Ⅳ班 (飯山市老健センター湯の入)	17	飯山市
廣川さつき	4/26	〃	16	〃
山崎 裕	5/17	〃	17	〃
松本 毅	5/31	〃	18	〃
廣川さつき	6/14	〃	15	〃
廣川さつき	6/28	〃	18	〃
廣川さつき	1/24	飯山市すこやか健口教室 (飯山介護ケアセンター湯の入)	10	飯山市
〃	1/31	〃	15	〃
〃	2/21	〃	15	〃
〃	2/28	〃	15	〃
〃	3/28	〃	14	〃
山崎 裕	5/27	木島平村「筋力アップ教室」	13	木島平村
〃	6/10	〃	13	〃
〃	6/24	〃	13	〃

●中信支部 担当者 森本 健

氏名	月日	会場	人数	地区(市町村)
降旗秀徳・中嶋紫穂	1/9	足腰らくらく体操教室 (三郷公民館、三郷保健センター)	19	安曇野市三郷
〃	1/16	〃	24	〃

〃	1/23	〃	25	〃
降旗秀徳・森本健雅	1/30	〃	24	〃
〃	2/6	〃	22	〃
〃	2/20	〃	24	〃
〃	2/27	〃	24	〃
降旗秀徳	1/28	地域自主グループ(堀金田多井区公民館)	14	安曇野市堀金
〃	2/25	〃	16	〃
森本健雅	3/11	〃	16	〃
降旗秀徳	3/25	〃	14	〃
森本健雅	4/8	〃	17	〃
降旗秀徳	4/22	〃	17	〃
森本健雅	5/13	〃	15	〃
降旗秀徳	5/27	〃	16	〃
森本健雅	6/10	〃	15	〃
降旗秀徳	6/24	〃	16	〃
〃	1/8	エンジョイシニア!実践お達者塾 (堀金社会福祉協会)	14	〃
〃	1/15	〃	16	〃
〃	1/22	〃	12	〃
降旗秀徳・森本健雅	2/5	〃	17	〃
〃	2/12	〃	14	〃
〃	2/19	〃	14	〃
下里泰伸	6/4	生坂村元気塾(やまなみ荘)	14	東筑摩郡生坂村
〃	6/6	〃	15	〃
〃	6/14	〃	13	〃
〃	6/18	〃	11	〃
〃	6/21	〃	12	〃
〃	6/25	〃	13	〃
〃	6/28	〃	10	〃
高田 保	1/8	上松町運動機能向上事業(高田整骨院)	3	木曾郡上松町
〃	1/16	〃	3	〃
〃	1/22	〃	2	〃
〃	1/29	〃	3	〃
〃	2/5	〃	2	〃
〃	2/12	〃	1	〃
〃	2/21	〃	1	〃
〃	2/26	〃	2	〃
〃	3/5	〃	2	〃
〃	3/13	〃	3	〃
〃	3/19	〃	3	〃
高田 保	4/22	上松町健康教室事業 (いきいき広場こまくさ)	16	〃
〃	5/29	〃	18	〃
〃	6/27	〃	16	〃

●南信支部 担当者 松村 秀樹

氏名	月日	会場	人数	地区(市町村)
野口邦治・原 隆	1/7	「健康柔ら体操教室」市内各施設	13	諏訪市
秋山友彦・木村浩士	1/15	〃	8	〃
野口邦治・濱ひろみ	1/21	〃	8	〃
木村浩士・阿部光典	1/22	〃	14	〃
秋山友彦・野口邦治	1/28	〃	11	〃
濱ひろみ・阿部光典	2/4	〃	18	〃
原 隆・野口邦治	2/12	〃	22	〃
阿部光典・秋山友彦	2/18	〃	20	〃
原 隆・木村浩士	2/25	〃	18	〃
秋山友彦・原 隆	2/26	〃	3	〃
木村浩士・阿部光典	3/4	〃	14	〃
濱ひろみ・秋山友彦	3/11	〃	26	〃
阿部光典・木村浩士	4/23	〃	26	〃
濱ひろみ・野口邦治	4/26	〃	14	〃
秋山友彦・原 隆	5/7	〃	18	〃
木村浩士・濱ひろみ	5/14	〃	10	〃
原 隆・秋山友彦	5/21	〃	14	〃
野口邦治・阿部光典	5/24	〃	15	〃
秋山友彦・濱ひろみ	5/28	〃	24	〃
原 隆・野口邦治	6/4	〃	22	〃
木村浩士・阿部光典	6/7	〃	19	〃
野口邦治・秋山友彦	6/11	〃	16	〃
濱ひろみ・原 隆	6/18	〃	10	〃
濱ひろみ・木村浩士	6/25	〃	20	〃
原 隆・野口邦治	6/28	〃	18	〃
原翔一郎	1/5	ほいほい呼ぼういいだデイ(通所型A)	10	飯田市
村松文次	1/12	〃	11	〃
馬場修平	1/19	〃	13	〃
木下芳郎	1/26	〃	10	〃
木下甲太郎	2/2	〃	10	〃
小島 誠	2/9	〃	12	〃
小嶋静人	2/16	〃	12	〃
原翔一郎	2/23	〃	11	〃
村松文次	3/2	〃	10	〃
馬場修平	3/9	〃	9	〃
木下芳郎	3/16	〃	12	〃
木下甲太郎	3/23	〃	11	〃
小島 誠	3/30	〃	11	〃
小嶋静人	4/6	〃	12	飯田市
原翔一郎	4/13	〃	10	〃
村松文次	4/20	〃	9	〃
馬場修平	5/11	〃	9	〃
木下芳郎	5/18	〃	9	〃

小嶋静人	5/25	〃	13	〃
小島 誠	6/1	〃	13	〃
木下甲太郎	6/8	〃	13	〃
原翔一郎	6/15	〃	11	〃
東垣外竜	1/5	ほいほい呼ぼう北部デイ（通所型A）	8	飯田市
井坪克人	1/12	〃	10	〃
高木観志	1/19	〃	8	〃
伊藤浩兼	1/26	〃	8	〃
伊藤 陸	2/2	〃	8	〃
矢澤克浩	2/9	〃	9	〃
東垣外竜	2/16	〃	9	〃
竹内敏弘	2/23	〃	10	〃
高木観志	3/2	〃	10	〃
井坪克人	3/9	〃	8	〃
伊藤浩兼	3/16	〃	6	〃
伊藤 陸	3/23	〃	6	〃
矢澤克浩	4/6	〃	8	〃
竹内敏弘	4/13	〃	8	〃
東垣外竜	4/20	〃	8	〃
高木観志	5/11	〃	6	〃
井坪克人	5/18	〃	8	〃
伊藤浩兼	5/25	〃	7	〃
矢澤克浩	6/1	〃	7	〃
伊藤 陸	6/8	〃	5	〃
竹内敏弘	6/15	〃	8	〃
関島康道	1/4	ほいほい呼ぼう竜東デイ（通所型A）	11	飯田市
肥後和樹	1/12	〃	15	〃
松村秀樹	1/19	〃	13	〃
丸山申介	1/26	〃	11	〃
木下陽子	2/2	〃	16	〃
石原尚幸	2/9	〃	14	〃
関島康道	2/16	〃	13	〃
肥後和樹	2/23	〃	14	〃
丸山申介	3/2	〃	15	〃
松村秀樹	3/9	〃	16	〃
木下陽子	3/16	〃	14	〃
石原尚幸	3/23	〃	1	〃
松村秀樹	4/6	〃	15	〃
肥後和樹	4/13	〃	16	〃
関島康道	5/11	〃	15	〃
丸山申介	5/18	〃	16	〃
木下陽子	5/25	〃	15	〃
石原尚幸	6/1	〃	16	〃
関島康道	6/8	〃	18	〃
肥後和樹	6/15	〃	16	〃
木下甲太郎	4/10	JA南信州あくりかなえ（通所型A）	11	飯田市

介護予防事業報告

木下芳郎	4/17	〃	10	〃
小嶋静人	4/18	〃	9	〃
奥村幸志	4/25	〃	10	〃
木下甲太郎	6/12	〃	9	〃
木下芳郎	6/19	〃	12	〃
小嶋静人	6/20	〃	9	〃
奥村幸志	6/27	〃	9	〃
小池輝宗	1/9	松川町水曜くらぶ	8	松川町
北林・後藤・小池	1/16	〃	8	〃
後藤安成	1/26	〃	8	〃
北林武文	1/30	〃	8	〃
小池輝宗	2/6	〃	8	〃
後藤安成	2/13	〃	8	〃
北林・後藤・小池	2/20	〃	8	〃
〃	2/27	〃	8	〃
〃	6/5	〃	8	〃
北林武文	6/12	〃	8	〃
小池輝宗	6/19	〃	8	〃
後藤安成	6/26	〃	8	〃
古賀修平・田中兼次	1/10	1次予防事業こけん塾 午前班・午後班	29	下條村
田中兼次	1/17	〃 午後班	17	〃
古賀修平・田中兼次	1/24	〃午前班・午後班	25	〃
〃	1/30	〃	31	〃
〃	2/7	〃	24	〃
〃	2/14	〃	28	〃
〃	2/21	〃	30	〃
〃	2/28	〃	30	〃
〃	3/7	〃	28	〃
〃	3/14	〃	27	〃
〃	3/28	〃	27	〃
古賀修平・田中兼次	5/9	1次予防事業こけん塾 午前班・午後班	35	下條村
〃	5/16	〃	31	〃
〃	5/28	〃	28	〃
〃	5/30	〃	35	〃
〃	6/6	〃	28	〃
〃	6/13	〃	29	〃
〃	6/20	〃	31	〃
〃	6/27	〃	29	〃
東垣外竜	1/28	豊丘村地域ミニデイ教室（村内各施設）	12	豊丘村
伊藤 睦	2/20	〃	18	〃
〃	3/4	〃	11	〃
東垣外竜	6/10	〃	10	〃
伊藤 睦	1/4	豊丘村はつらつクラブころばん塾(通所型A)	15	豊丘村
東垣外竜	1/11	〃	18	〃
伊藤 睦	1/18	〃	18	〃
東垣外竜	1/25	〃	16	〃

伊藤 睦	2/1	〃	13	〃
東垣外竜	2/14	〃	14	〃
伊藤 睦	2/15	〃	15	〃
東垣外竜	2/22	〃	13	〃
伊藤 睦	3/1	〃	14	〃
東垣外竜	3/8	〃	17	〃
伊藤 睦	3/15	〃	13	〃
東垣外竜	3/22	〃	19	〃
伊藤 睦	3/29	〃	20	〃
〃	4/5	〃	12	〃
東垣外竜	4/12	〃	14	〃
伊藤 睦	4/19	〃	13	〃
東垣外竜	4/26	〃	12	〃
伊藤 睦	5/10	〃	20	〃
東垣外竜	5/17	〃	18	〃
伊藤 睦	5/24	〃	18	〃
東垣外竜	5/31	〃	19	〃
伊藤 睦	6/7	〃	15	〃
東垣外竜	6/14	〃	16	〃
伊藤 睦	6/21	〃	15	〃
東垣外竜	6/28	〃	15	〃

救護・トレーナー派遣状況報告

スポーツ支援部

令和元年7月～12月活動分

東信支部（担当部員 横関 康寿）

氏名	活動日	競技名	会場
浅川 健一	10月26日	中体連新人戦佐久男子バスケット	御代田中学校
石谷 寿則	10月20日	中体連新人戦東信サッカー	中込中学校
市川 敦	9月23日	佐久柔道大会記念大会	佐久穂しらかば体育館
井出 陽人	11月2日	中体連新人戦佐久女子バレーボール	佐久穂中学校
出田 吉徳	7月14日	中体連総合県バレーボール	塩田中学校
内山 貴之	8月4日	信州爆水RUN依田川	丸子総合グラウンド
	10月12日	東信高校柔道	小諸市武道館
荻原 誠	7月14日、15日	中体連総合県剣道	安曇野市穂高体育館
	8月24日、25日	北信越国体剣道	石川県金沢市
	10月12日	中体連新人戦上小剣道	上田第一中学校
	10月20日	中体連新人戦東信サッカー	浅科中学校
	10月26日	中体連新人戦東信剣道	浅間中学校
	10月27日	中体連新人戦上小女子バスケット	東御東部中学校
小田中 翼	11月16日	中体連新人戦東信女子バレーボール	真田体育館
柏木 亮輔	10月5日	中体連新人戦佐久ソフトテニス女子	乙女湖公園
兼田 佑	7月14日	中体連総合県バレーボール	上田市自然運動公園
	8月4日	信州爆水RUN依田川	丸子総合グラウンド
	10月20日	中体連新人戦東信サッカー	御代田中学校
菊池 和哉	9月1日	中体連新人戦東信水泳	佐久長聖中学校
	10月20日	中体連新人戦東信サッカー	浅間中学校
國友 康晴	8月4日	信州爆水RUN依田川	丸子総合グラウンド
	10月5日	中体連新人戦上小柔道	上田城跡公園
	10月6日	上田市総合体育大会柔道	上田市城跡公園
棚澤 秀樹	10月20日	中体連新人戦東信サッカー	軽井沢中学校
	12月1日	依田窪柔剣道大会	長和町長門町民体育館
小池 和良	11月23日	南佐久郡柔道大会	南牧村社会体育館
小池 祐貴	10月26日、27日	中体連新人戦上小男子バスケット	塩田中学校
小平 一人	11月3日	佐久市柔道選手権大会	佐久市武道館
桜井 秀信	11月2日	中体連新人戦上小女子バレーボール	北御牧中学校
関 大士郎	10月26日	中体連新人戦上小女子バスケット	東御東部中学校
田口 信宏	10月27日	中体連新人戦東信サッカー	浅間中学校
田中 敏浩	11月3日	中体連新人戦佐久男子バレーボール	小諸東中学校
	11月16日、17日	中体連新人戦東信男子バレーボール	東御東部中学校
土屋 進	10月27日	中体連新人戦軟式野球	御代田雪窓公園
寺嶋 久程	7月14日	中体連総合県ソフトボール	東御市北御牧グラウンド
	7月15日	東信高校剣道	上田市自然運動公園

	9月13日	東信高校剣道	上田市自然運動公園
	10月12日	中体連新人戦佐久剣道	浅間中学校
	10月26日、27日	中体連新人戦佐久女子バスケット	佐久穂中学校
	11月9日	中体連新人戦東信女子バスケット	佐久穂中学校
	11月17日	佐久市小学生駅伝大会	佐久総合運動公園
	11月23日	佐久市空手道選手権大会	佐久市宮武道館
内藤 守春	11月3日	佐久市柔道選手権大会	佐久市武道館
中曽根道子	11月3日	中体連新人戦上小男子バレーボール	塩田中学校
長谷川寛樹	10月27日	中体連新人戦軟式野球	佐久市営球場
原 真里奈	11月3日	中体連新人戦上小女子バレーボール	東御東部中学校
	11月16日、17日	中体連新人戦東信女子バレーボール	真田中学校
廣川 喜博	10月26日	中体連新人戦佐久女子バスケット	海瀬体育館
	11月2日、3日	中体連新人戦佐久女子バレーボール	佐久穂しらかば体育館
福田 晋也	11月2日	中体連新人戦上小男子バレーボール	塩田中学校
	11月16日	中体連新人戦東信男子バレーボール	上田第一中学校
堀内 将之	8月4日	信州爆水RUN依田川	丸子総合グラウンド
松澤 真	10月20日	中体連新人戦上小卓球	上田市自然運動公園
	11月3日	中体連新人戦東信卓球	小諸市総合体育館
柳原 靖	10月5日	中体連新人戦佐久ソフトテニス男子	臼田運動公園
横関 康寿	8月17日、18日	北信越国体ソフトテニス	石川県金沢市
	9月29日	国民体育大会ソフトテニス	茨城県北茨城市
	10月5日	中体連新人戦上小ソフトテニス	東御市テニスコート
	10月26日	中体連新人戦東信ソフトテニス	東御中央公園
依田 篤志	10月26日、27日	中体連新人戦佐久男子バスケット	軽井沢中学校
	11月9日、10日	中体連新人戦東信男子バスケット	軽井沢中学校

北信地区（担当部員 高原 義勝）

氏名	活動日	競技名	会場
原 和正	7月19日～21日	ボウリング	第40回 北信越国民体育大会
倉石 雅之	7月7日	水泳	アクアウイング
石田 拓未	7月14日	ハンドボール	ことぶきアリーナ千曲
西條美由紀	7月14日	ソフトテニス	南長野運動公園庭球場
西條 雅貴	7月14日	柔道	長野運動公園総合体育館
岡田 大河	9月15日	サッカー	千曲川リバーフロント
西澤 大介	9月15日	サッカー	千曲川リバーフロント
神田 郁実	9月15日	サッカー	千曲川リバーフロント
久井 真	9月15日	サッカー	信大附属長野中学校
堀内健太郎	10月6日	ソフトテニス	長野運動公園庭球場
小島 弘光	9月1日	水泳	須高広域総合プール
久井 真	10月6日	ソフトボール	若穂中央公園運動場
伊豫田幹幸	10月27日	体操	ホワイトリング
藤田 卓也	9月15日	サッカー	千曲市サッカー場
久井 真	10月20日	ハンドボール	埴生中体育館
久井 真	11月3日	バレーボール女子	戸倉上山田中学校本体育館
佐藤 晃次	9月15日	サッカー	中野市多目的サッカー場

スポーツ支援部の活動報告

田中 利幸	11月3日	バレーボール女子	須坂市立墨坂中学校
丸山 桂	10月20日	卓球	中野市民体育館
廣川さつき	10月20日	バスケットボール	飯山市トピアホール
松田 和也	11月3日	バレーボール女子	南宮中学校体育館
松本 毅	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
高原 義勝	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
宮本 義豊	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
篠崎 裕一	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
堀内健太郎	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
小橋 義彦	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
小橋 茂之	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
小橋 学広	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
松田 和也	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
石坂 智毅	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
廣川さつき	9月22日	北信州ハーフマラソン	飯山市
窪田 勝	10月2日～8日	第73回国民体育大会 茨城（陸上）	茨城県
窪田 勝	11月8日～11日	東日本女子駅伝 長野県チーム帯同	福島市信夫ヶ丘競技場
窪田 勝	11月23日	北信越中学校駅伝大会	松本スカイパーク
野竹 康之	11月8日～11日	東日本女子駅伝 長野県チーム帯同	福島市信夫ヶ丘競技場
野竹 康之	11月23日	北信越中学校駅伝大会	松本スカイパーク
林 佑樹	11月23日	北信越中学校駅伝大会	松本スカイパーク

中信地区（担当部員 関崎 直樹）

氏名	活動日	競技名	会場
磯部 栄二	7月15日	長野県中学校大会サッカー	松本平広域公園芝生グラウンド
	10月9日	松本マラソン	信州スカイパーク陸上競技場
今村 勇治	7月7日	長野県中学校大会相撲	木曾町民相撲場
	9月23日	中信地区新人大会相撲	木曾町民相撲場
太田 遵	7月14日	長野県中学校大会サッカー	松本平広域公園陸上補助競技場
	9月15日	安曇野市新人大会サッカー	豊科南中学校グラウンド
	11月23日	醍醐敏郎杯	松本市総合体育館
	11月24日	醍醐敏郎杯	松本市総合体育館
荻上 良尚	9月22日	塩筑新人大会サッカー	中央スポーツ公園サッカー場
小澤 成幸	7月14日	長野県中学校大会バドミントン	松本平広域公園体育館
	10月9日	松本マラソン	信州スカイパーク陸上競技場
	10月13日	中信地区新人大会軟式野球	筑北村坂北球場
	10月20日	松本市新人大会バスケットボール	筑摩野中学校
	10月27日	松本市新人大会卓球	松本市総合体育館
	11月3日	松本市新人大会バレーボール	清水中学校
	11月10日	中信地区新人大会バドミントン	松本市総合体育館
	11月17日	中信地区新人大会バレーボール	三郷中学校講堂
忍田 行憲	10月20日	松本市新人大会バスケットボール	波田中学校
折口 裕史	7月14日	長野県中学校大会サッカー	旭町中学校グラウンド
	10月20日	中信地区新人大会サッカー	豊科南中学校グラウンド
笠原 康捻	9月23日	塩筑新人大会サッカー	中央スポーツ公園サッカー場
唐澤 遙南	9月29日	塩尻ぶどうの郷ロードレース	松本歯科大学陸上競技場

川窪 武志	10月20日	塩筑新人大会バスケットボール	塩尻中学校体育館
木船 崇	10月20日	松本市市民体育大会 秋季大会(柔道)	松本市柔剣道場
倉科 正	10月9日	松本マラソン	信州スカイパーク陸上競技場
幸山 奈央	9月29日	塩尻ぶどうの郷ロードレース	松本歯科大学陸上競技場
柴田 弘海	7月15日	長野県中学校大会サッカー	松本平広域公園陸上補助競技場
	10月9日	松本マラソン	信州スカイパーク陸上競技場
嶋崎 健一	9月29日	塩尻ぶどうの郷ロードレース	松本歯科大学陸上競技場
	10月20日	塩筑大会新人大会バスケットボール	広陵中学校体育館
曾根 直紀	11月3日	安曇野市新人大会バレーボール	三郷文化公園施設アリーナ
関崎 直樹	10月20日	松本市新人大会バスケット	梓川体育館
竹内 泰二	10月9日	松本マラソン	信州スカイパーク陸上競技場
	10月14日	松本市新人大会卓球	スカイパーク体育館
高原 祐樹	11月3日	中信地区新人大会柔道	三郷文化公園柔剣道場
	11月23日	醍醐敏郎杯	松本市総合体育館
	11月24日	醍醐敏郎杯	松本市総合体育館
中條 昌信	11月3日	松本市新人大会バレーボール(兼)	梓川中学校
	11月3日	松本市新人大会バレーボール(兼)	梓川体育館
	11月17日	中信地区新人大会バレーボール	鉢盛中学校体育館
根橋 隼人	10月9日	松本マラソン	信州スカイパーク陸上競技場
原田菜美翔	10月6日	安曇野市新人大会ソフトテニス	豊科南部公園テニスコート
春原 潤也	10月20日	安曇野市新人大会バスケットボール	穂高東中学校体育館
降旗 秀徳	10月20日	安曇野市新人大会バスケットボール	穂高西中学校体育館
	11月3日	中信地区新人大会バスケットボール	穂高西中学校体育館
保尊 伸昭	10月9日	松本マラソン	信州スカイパーク陸上競技場
松尾 雄太	9月29日	塩尻ぶどうの郷ロードレース	松本歯科大学陸上競技場
	10月13日	中信地区新人大会軟式野球	塩尻市営野球場
	11月3日	塩筑新人大会女子バレーボール	塩尻西部中学校体育館
三澤 茂明	10月9日	松本マラソン	信州スカイパーク陸上競技場
峯村 桃子	11月3日	松本市新人大会バレーボール	松島中学校
百瀬 弘樹	10月20日	中信地区新人大会サッカー	旭町中学校グラウンド
矢口 一至	11月23日	醍醐敏郎杯	松本市総合体育館
	11月24日	醍醐敏郎杯	松本市総合体育館

南信地区 (担当部員 高木 観志)

氏名	活動日	競技名	会場
諏訪ブロック			
大森 省吾	7月14日	中学校総合体育大会卓球	茅野市運動公園総合体育館
濱 ひろみ	7月30日	諏訪地区中体連役員との懇談会	茅野市海鮮厨房
太田 栄造	7月30日	〃	〃
伊藤 篤	7月30日	〃	〃
伊藤 篤	9月1日	中体連新人大会水泳(南信)	すわっこランド
原 隆	9月7日	中体連救護講習会	茅野東部中学校視聴覚室
上原 哲	9月7日	〃	〃
林 則之	9月7日	〃	〃
藤田 良輔	9月7日	〃	〃
矢嶋 大輔	9月7日	〃	〃

スポーツ支援部の活動報告

丸山 敬士	9月7日	〃	〃
伊藤 篤	9月7日	〃	〃
野口 邦治	10月6日	中体連新人大会サッカー	長峰中学校グラウンド
三澤 駿	10月9日	松本マラソン	信州スカイパーク陸上競技場
大森 省吾	10月13日	中体連新人大会軟式野球	下諏訪スタジアム
阿部 光典	10月13日	中体連新人大会軟式野球	茅野市営野球場
増澤 孝信	10月13日	中体連新人大会卓球（個人）	岡谷市民総合体育
丸山 敬士	10月20日	中体連新人大会バレーボール男子	岡谷南部中学校体育館
赤羽 翔	10月20日	中体連新人大会バレーボール女子	岡谷北部中学校体育館
大森 省吾	10月20日	中体連新人大会バスケットボール男子	茅野北部中体育館
伊藤 篤	10月20日	中体連新人大会バスケットボール女子	富士見中学校体育館
大森 省吾	10月27日	中体連新人大会サッカー（南信）	茅野市運動公園陸上競技場
藤田 良輔	11月10日	中体連新人大会ハンドボール（南信）	茅野市運動公園総合体育
伊藤 篤	11月17日	中体連新人大会バレーボール男子（南信）	岡谷南部中学校体育館
赤羽 翔	11月17日	中体連新人大会バレーボール女子（南信）	富士見中学校体育館
上伊那ブロック			
福沢 茂典	7月13日	駒ヶ根市小学生相撲大会	駒ヶ根市武道館
北村 豊	7月14日	中学校総合体育大会バスケットボール	伊那市民体育館
牛丸 定孝	7月21日	南信柔道大会	辰野町民体育館 荒神山
飯塚 康弘	7月21日	〃	〃
長岡 聡	7月21日	〃	〃
宮沢 一夫	9月29日	中川陣馬形山ヒルクライム	中川村サンアリーナ
平沢 俊秀	10月6日	中体連新人大会サッカー	宮田中学校校庭
石田 国博	10月6日	〃	赤穂中学校校庭
渡邊 尋	10月6日	中体連新人大会ソフトテニス男子	荒神山テニスコート
片桐 宣洋	10月13日	中体連新人大会軟式野球	村営大芝野球場
飯塚 康弘	10月13日	中体連新人大会軟式野球	伊那市営球場
福沢 茂典	10月13日	中体連新人大会軟式野球	駒ヶ根アルプス球場
牛丸 定孝	10月20日	中体連新人大会バスケットボール男子	南箕輪村民体育館
清水 仁美	10月20日	中体連新人大会バスケットボール女子	伊那中学校体育館
小口 幸一	10月20日	中体連新人大会バレーボール男子	中川村社会体育館
北村 豊	10月20日	中体連新人大会バレーボール女子	飯島中学校体育館
尾曾 共春	10月27日	中体連新人大会野球（南信） 決勝	伊那スタジアム
伊東 功一	10月27日	中体連新人大会野球（南信） 決勝	伊那市営球場
福沢 茂典	10月27日	知事杯争奪第38回長野県実業団柔道大会	駒ヶ根市武道館
		同 第26回女子柔道大会	〃
佐藤 光洋	11月10日	中体連新人大会バスケ男女子（南信） 決勝	伊那中学校体育館
飯伊ブロック			
伊藤 浩兼	7月20日	飯田教育事務所・下伊那中学体育連盟と事業相談会	第5宝船丸
下平 寛志	7月20日	〃	〃
高木 観志	7月20日	〃	〃
伊藤 睦	7月20日	〃	〃
竹内 敏弘	7月20日	〃	〃
丸山 申介	7月20日	〃	〃
石原 尚幸	7月20日	〃	〃
原 翔一郎	7月20日	〃	〃

後藤 安成	7月20日	〃	〃
小池 輝宗	7月20日	〃	〃
肥後 和樹	7月20日	〃	〃
古賀 修平	7月20日	〃	〃
後藤 安成	8月4日	飯田市中央道沿線親善剣道大会	飯田市武道館
北林 武文	9月8日	南信州まつかわハーフマラソン大会	松川町中央公民館
小澤 雄司	9月8日	〃	〃
奥村 幸志	9月8日	〃	〃
竹内 敏弘	9月8日	〃	〃
関島 康道	9月8日	〃	〃
後藤 安成	9月8日	〃	〃
小池 輝宗	9月8日	〃	〃
肥後 和樹	9月8日	〃	〃
伊藤 浩兼	10月13日	中体連新人大会サッカー	飯田総合競技場
木下甲太郎	10月13日	〃	〃
伊藤 睦	10月13日	〃	喬木中学校グラウンド
丸山 申介	10月13日	〃	〃
北林 武文	10月13日	中体連新人大会軟式野球	高森町民グラウンド
木下 陽子	10月13日	〃	綿半県営飯田球場
竹内 敏弘	10月13日	〃	市営今宮球場
小池 輝宗	10月13日	〃	喬木村民グラウンド
伊藤 浩兼	10月13日	中体連サッカー懇親会	いろはにほへと 飯田駅前店
伊藤 睦	10月13日	〃	〃
木下甲太郎	10月13日	〃	〃
高木 観志	10月27日	中体連新人大会バスケットボール男子	豊丘中学校体育館
石原 尚幸	10月27日	〃	〃
松村 秀樹	10月27日	中体連新人大会バスケットボール女子	豊丘村民体育館
原 翔一郎	10月27日	〃	〃
矢澤 克浩	10月27日	中体連新人大会バレーボール女子	緑ヶ丘中学校体育館
肥後 和樹	10月27日	〃	〃
古賀 修平	10月27日	中体連新人大会卓球	高森町民体育館
松村 秀樹	10月27日	中体連バスケットボール懇親会	村さ来 知久町
原 翔一郎	10月27日	〃	〃
後藤 安成	11月3日	第108回飯伊地区秋季剣道大会	飯田市武道館
羽生 優	11月10日	中体連新人大会柔道（南信）	飯田市武道館
関島 康道	11月10日	〃	〃
土屋 隆恆	11月10日	中体連新人大会卓球（南信）	高森町民体育館
矢澤 克浩	12月15日	下伊那ボールパーク	綿半県営飯田球場
小池 輝宗	12月15日	〃	〃
竹内 敏弘	12月15日	飯伊ミニバスケットボール選手権大会	飯田市鼎体育館（男子）
原 翔一郎	12月15日	〃	飯田市上郷体育館（女子）

北信越ブロック会長会報告

令和元年8月6日（火） 福井市

会 長 高田 保

- 1 「匠の技伝承プロジェクト」のポスターが多くの施術所で貼られていないようなので、柔整師のPRのため、施術所で貼っていただきたい。
- 2 柔道整復術公認100周年記念碑を日整会館の庭に建て9月27日に除幕式を行う。碑は120万円「鉄心石腸」と現役員の名前を刻む。
- 3 工藤会長の旭日小綬章受章祝賀会を9月26日午後4時より東京ドームホテルで挙げる。正副会長に出席案内あり。
- 4 全国共済組合と新協定書を交わしたが、要点としては金品を供与して患者誘導することを規制する内容と思われる。他の項目については、ほぼ従来通り。
- 5 木村義雄前参議員にお願いして労災保険については、加療中に事業所を離職し施術が継続される場合、2回目以降の申請書に事業主の証明が不要となったが、富山県では必要になった。石川県は今のところ省略してもよいことになっている。
- 6 富山県では年間350万円以下の診療報酬の会員が退会して勤務柔整師になる傾向がある。
- 7 2020オリパラの協力スタッフとして20名が採用される。大分県ラグビー救護の報告あり。
- 8 石川県では世界選手権に合わせて9月に来県するポルトガルの柔道選手の練習時の救護に協力。今後も日整ではスポーツ支援の申請を受け付ける。
- 9 令和2年6月28日（日）日整総会後に日整協同組合設立30周年式典を挙げる。

北信越ブロック会長会報告

令和元年10月3日（木） 金沢市

会 長 高 田 保

- 1 2020年度「匠の技」開催について
令和2年度は4月5日を始めに年6回程開催する予定。
- 2 2021年度以降の全国11ブロック学術大会で「匠の技」と「超音波観察」の講演プログラムを組む予定あり。基調講演は日整会長が行う案あり。今後、学術大会を毎年開催するかは確定していない。
- 3 エコー導入に日整は力を入れている。SSBのデータによると長野県の導入率は全国都道府県で20パーセントとトップ。
- 4 日整グループ保険の加入について
多くの会員に加入してもらいたいとの要望あり。
- 5 救護トレーナー活動に係る助成金の申請について
全国規模の大会や国際大会の救護トレーナー
一派遣に対する助成金申請を日整に行うこと。新規も受け付けているので対象となり
そうな競技会があったら追加申請する。
- 6 機能訓練指導員協会設立準備委員会立ち上げについて
日整声掛けの委員会立ち上げには日本鍼灸師会のみ賛同。日本按摩マッサージ指圧師会・全日本鍼灸マッサージ師会は離脱を表明。看護師会は参加せず。
- 7 電子請求について
全国社団の請求方法が会長委任に統一されてからになる見込み。
- 8 アトラ対策について
メディアを通してアトラ系列加盟店のデメリット情報を発信して抑制を図っている。
※アトラ株式会社一接骨院・整骨院・鍼灸院の開業支援や営業サポート

北信越ブロック会長会報告

令和元年12月5日（木） 富山市

会 長 高田 保

- 1 長野県からの提案により、柔整師が大病院に患者を紹介した場合は選定療養費がかからないようにする要望書を再度ブロックから日整に挙げることにした。
- 2 長野県へのブロックからの台風19号の災害見舞金は10万円に決定。
- 3 令和2年2月23日（日）富山県で開催される日接医学会認定講習会に多くの会員に受講していただくよう要望した。
- 4 日整幹旋の賠償・生命保険の加入状況等について。
- 5 台風に関わる日整災害見舞金の支給申請状況について。
- 6 日本スポーツ振興センターとの新協定締結について。
学校安全会の取り扱いについて、令和元年11月30日以前の入会会員は現状通り。
- 7 令和2年度の日整生涯学習講習会は11月21日（土）日整全国柔道大会は11月22日（日）に決定。なお、台風等の災害発生が予想される場合は開催決定を3日前までに行う。来年度の少年柔道形披露は春日道場が行う。
- 8 日整DJATは災害時に各県連絡員への情報発信がなされず、十分機能していない。
- 9 令和2年度から「匠の技」講習会で指導者の教育を行う。40歳～50歳代の若手会員を各県で1名推薦し、受講後に各県で技術指導をする。
- 10 違法広告に関するガイドライン案を日整で作成中。
- 11 整復三大古典書をできるだけ購入してもらいたい。
- 12 ジャイカ草の根パートナー海外支援先はベトナムに決定。令和2年10月頃派遣。
- 13 次回の北信越ブロック会長会は令和2年2月8日（土）長野県担当。

令和元年度 日本柔道整復師会 北信越ブロック理事会（秋）報告

副会長 酒井 正彦

令和元年10月26・27日、令和元年度日本柔道整復師会秋の北信越ブロック理事会が富山市において北信越ブロック5県の正副会長（一名欠）、ブロック監事2名、相談役3名に開催地富山県の参与3名、理事2名、事務局長1名を加えた27名で開催された。

嶋谷清会長は、挨拶の中で10月12日の台風19号による長野県の災害に触れられ、心温まるお言葉と激励をいただいた。それに対し、高田会長よりお礼を申し上げた後、以下の議事について活発な意見交換が行われた。

《議 事》

1. 北信越ブロック会 会則について
2. 日整代議員変更について
3. 災害見舞金の今後の対応について
4. 各県からの提出議題
 - 1) <福井県>

厚生労働省から問い合わせのあった、審査会の「判断に迷って合議が必要となった事例」についてご教示願いたい。

2) <新潟県>

協定書に関係することで、各県の申請書の締め切り日、審査員の構成、事務職員の数をご教示願いたい。

3) <富山県>

柔整審査会で重点審査面接確認委員会を実施している県の内容をご教示願いたい。

4) <長野県>

健保組合HP及び併診問題に関しての各県の対応策をご教示願いたい。

5) <石川県>

会費免除等の各県の規程等をご教示ください。

※定例理事会終了後、日整より伊藤宣人保険部長と藤川和秀保険部員をお招きして「日整保険部関係説明会」が開催され、要望を含めた活発な意見交換が行われた。

ねざめ学園より御礼

中信柔道整復師互助会会長 三澤 茂明



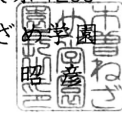
令和元年12月3日

中信柔道整復師会
会長 三澤 茂明 先生

長野県木曾郡上松町大字萩原1255

児童養護施設 木曾ねざめ学園

園長 宮木



謹啓

師走の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より児童福祉をはじめとする社会福祉事業に深いご理解・ご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、本年も貴会のご厚情により多額のご寄付を賜り心より感謝申し上げます。昨日2日に公益社団法人 長野県柔道整復師会長 高田保先生より、ありがたく頂戴いたしました。ご寄付の領収証を同封いたしますので、ご査収ください。

こども達の願いが叶うような、夢のあるクリスマスプレゼントの購入費用として今年も大切にに使わせていただきます。

子供たちが心身共に健やかに育つことができますよう、今後もお支援とご協力をお願い致しますと共に、公益社団法人 長野県柔道整復師会 中信柔道整復師会員の皆様の益々のご発展、ご健勝をお祈り申し上げます。甚だ簡単ではありますが御礼とさせていただきます。

謹白

この寄付は公益社団法人長野県柔道整復師会 中信支部会員の有志で構成する中信柔道整復師互助会の活動です。子供たちの笑顔を想像し長

年続けてきました。これからも可能な限り行っていきたくと考えています。

県保険部主催・保険講習会（車座集会）

保険部

北信支部車座集会 報告

- 【日 時】令和元年8月24日（土）
午後7時～8時30分
- 【場 所】長野県柔道整復師会館3階
- 【講 師】高田 保 県会長
柏木 久明 県保険部長
- 【出席者】北信支部会員 合計49名
- 【概 要】県主催による初の試みである車座集会。今までの保険講習会とは様式を変え、文字通り膝を交え、意見を交換しあう講習会。一方向に聴講する会ではなく、意見をぶつけ合う会である。軽食（お握り、お茶）を用意し楽座で行う。
- 【内 容】会長挨拶の後、北信支部長、県副会長挨拶を終えてから本題に入る。

報告者：北信支部保険部長 宮本 義豊
柏木保険部長が事前に提出された質問事項に答える形で進められる。

それぞれ、私心を交え詳しく説明して頂いた。この場にはないと聞けないような貴重な講義でしたが、出席者が少なかったのは少し残念でした。講義は午後7時から始まり、およそ1時間30分強の講義でした。

主な講義内容

- ① QR決済について
- ② 多部位にわたる場合のレセプトへの記載方法
- ③ 長期理由の記載法
- ④ 自賠責の指導管理の書き方
- ⑤ 自賠責書類提出の際、鑑をつけるように
- ⑥ 患者調査で不提出の場合、不支給になるのか
- ⑦ 児童福祉医療の現物支給について

東信支部車座集会 報告

- 【日 時】令和元年9月7日
午後6時～午後8時30分
- 【場 所】東御市中央公民館
- 【講 師】高田 保 県会長
柏木 久明 県保険部長
- 【出席者】東信支部会員 合計34名

報告者：東信支部保険部長 西村 公紀
東信支部の「車座集会」を上記の通り、東御市中央公民館にて34名の参加者の元、開催いたしました。

冒頭、高田会長より「車座集会」開催の趣旨の説明や、本会会員の保険収入状況の解説と収入減少の要因などの説明があり、保険業務や問題について知識豊富な酒井副会長や柏木副会長の知恵を大いに活用してほしい旨発言がありました。

柏木保険部長からは、子供における福祉医療と学校安全会の適応について説明があり、福祉医療については医科と同等の対応ができるよう働きかけをしていることと、安全会の文書については簡素化できるような働きかけをしている旨お話しされた。また、北信支部での質問項目をもとに、長期多部位施術における長期理由の書き方やカルテ整備の重要性の説明があった。

交通事故における自賠責保険の適用と人身傷害保険の適用に関して説明された。これに関係して、自賠責保険で施術中に一か月以上通院期間隔があいたケースなどの質問についても説明があった。

問題のある患者照会については、保険部に報告を上げて頂くよう重ねて要請があり、二時間半では足りないほど活発な意見交換の中、終了

した。

中信支部車座集会 報告

【日 時】 令和元年9月14日（土）

午後6時～8時

【場 所】 安曇野市三郷公民館

【講 師】 高田 保 県会長

柏木 久明 県保険部長

【出席者】 中信支部会員 合計50名

報告者：中信支部保険部長 笠原 康稔

高田会長挨拶（概要）

- ・開催の趣旨説明。保険収入状況解説。
- ・しっかり正確に保険提出するようにお話しあり。

柏木保険部長挨拶

- ・保険診療で診たものは正確に提出する。
- ・柔整師は国民福祉を担っている自覚が必要である。
- ・この苦境を跳ね返そう。審査会の雰囲気は良い。好意的である。
- ・共済も外部委託調査始めた。料金改正説明 →降旗総務部長。質問書への回答

南信支部車座集会 報告

【日 時】 令和元年10月5日（土）

午後5時～7時

【場 所】 岡谷イルフプラザ3階 第7研修室

【講 師】 高田 保 県会長

柏木 久明 県保険部長

【出席者】 南信支部会員 合計34名

報告者：南信支部保険部長 丸山 申介

始めに高田会長より「車座集会」開催の趣旨

の説明等の挨拶の後、柏木保険部長の挨拶を終えてから本題に入る。

- ・柏木保険部長が事前に提出された質問事項に答える形で進められる。
- ・それぞれ、私心を交え詳しく説明して頂いた。
- ・この場にはないと聞けないような貴重な講義を聴講することができ、多くの質問・意見が飛び交い有意義な車座集会となった。
- ・日常業務で気になる質問・意見等があれば保険部へ問い合わせるように述べられた。
- ・最後に南信支部長よりお礼の言葉と諸連絡があり、終了した。

【主な講義内容】

- ・患者照会の回答の仕方について（不支給等）
- ・初検時相談支援料の記入方法について
- ・診断書の請求について
- ・「重複診療」の定義について
- ・キャッシュレス決済について
- ・ホームページやSNS（フェイスブック、インスタグラム等）の広告について
- ・無傷の取り扱いについて
- ・学校安全会と福祉医療費について
- ・自賠責保険の人身傷害について

【反省点】

- ・事前に当日の次第を高田会長、柏木保険部長及び南信支部役員に確認し、流れを把握してもらえばよかった。
- ・会員よりの質問事項を参加人数分、印刷して配布すればよかった。





浅間山ハザードマップ

東信支部 内堀 泰明

令和元年台風19号により被災された皆様にお見舞い申し上げます。
被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

令和元年9月に上陸した大型台風、当初の進路では関東地方をかすめる予報でした。実際の進路は北にずれ込み東信地区の群馬県境を中心に大雨になり、軽井沢では避難勧告、御代田町一部ではご高齢者を先に避難させる避難勧告が発令しました（避難者は少な目）。野沢では土手が削り取られ家が流され、上田市・東御市では橋が崩落、長野市では千曲川の決壊により浸水が発生。浸水した地域は、ほぼハザードマップと一致したと聞いています。

私の住所地にある浅間山も上からの指示で作成されたハザードマップがあります。

浅間山の歴史の大きなものは、

1783年（天明三年）噴火、鎌原熱雲・土石なだれ、吾妻火砕流、鬼押し出し溶岩流を作り出した比較的大きめの噴火です。

1108年噴火、追分火砕流—山頂から追分地区、御代田の一部を覆った火砕流。

1万5800年前噴火、平原火砕流—小諸市懐古園から佐久市新幹線駅、軽井沢町離れ山を結ぶ範囲を襲った最大の火砕流。

2万5000年前、塚原土石なだれ（黒斑山山体崩壊）—南麓では小諸市懐古園から佐久市五郎兵衛新田、佐久市市役所、軽井沢町の範囲。北麓では吾妻川までが黒斑山の崩壊物で埋まりました。また千曲川を下って上田城の土台を形成、吾妻川を下って前橋市・高崎市に10m堆

積。成層火山では避けて通れない山体崩壊が起こり、堆積物が多いためこれ以前の歴史はわかりません。

他にも、軽石を降らせる噴火、火山灰を降らせる噴火が起こっています。

上記一番から三番を加味し、大規模噴火のハザードマップ、小～中規模噴火のハザードマップ（積雪時・無雪時）、避難施設、噴火警報レベル、以上五つをメインにした折り畳み式の大きなマップとして全戸配布済みです。

ただし、千曲川の決壊浸水地域の人に聞いてもマップの事は知らなかった（TV番組）、と同じように、患者さんに聞いても知っていますという人はほとんどいない状況です。災害が起こってからでは遅く、命を守るため学習をしてください。

このマップは過去のデータが書き出されているのではなく、過去の出来事から未来を予測する大事なマップです。何らかの不安要素がある地域ではハザードマップがありますから今一度確認をお願いします。手元になくともインターネットからダウンロードが出来るようになっていきます。

参考資料

浅間山の噴火地図—早川由紀夫群馬大学教授
絵本、火山はめざめる—はぎわらふぐ



北信州ハーフマラソン大会

北信支部 廣川 さつき

9月22日に北信州ハーフマラソン大会が開催されました。コースは3km、10km、ハーフとあり、3kmは飯山市から、10kmは木島平村から、ハーフは野沢温泉村からスタートしゴールの飯山市街地を目指します。

今年の参加ランナーは約3000人。たくさんのランナーが北信州の街並みを見ながら疾走しました。ゴールでは北信州の特産物などを集めた「うまいもの市」が開催され、りんごやおにぎりの振る舞い、マッサージなどがありました。私たちはランナーのケアボランティアとして参加させていただきました。

私は10kmコースに出場してからケアボランティアとして参加させていただきました。曇りの予報でしたが、スタートが近づくにつれて晴れて太陽が出てきたため、思ったより暑く、練習せずに参加した私は途中歩いていました。すると、あるランナーさんが「あと少しだよ。頑張れ」と声をかけて下さったので、その一言で救われ、頑張ろうと思えました。他にも沿道で地元の方たちが声援を送って下さったり、子供とハイタッチしたりしたこと、スポーツを通して人の温かさというものを感じることができました。ゴールすると声をかけられ、ふと見上げると高校時代の部活動でお世話になった副

顧問の先生がおられ、高校以来の再会でしたが、変わらず元気そうでした。近況報告をし、私はボランティアに参加する為、ケアブースへ向い、到着した時には既にゴールした方々の順番の列ができていました。ボランティアの会員は皆慣れた様子でマッサージを行いながら、時にはランニングのフォーム指導、ケアの仕方や雑談をしていました。私も出場したことをふまえて会話していると、ある方が「女性もいて安心」と言って下さいました。その方に「まだまだ男性が多い柔道整復師ですが、女性も増えてきています」と伝えたら嬉しそうにしていました。

今回、ケアを利用した方が約180名、参加したボランティア会員は11名。その中で、ハーフマラソンを走ってからボランティアに参加した宮本義豊会員、10km走ってから参加の松田和也会員は疲れを一切見せず、笑顔でマッサージをしている姿を見て凄いと感じました。

今回、他の会員の技術を見て勉強させて頂き、ランナーからは練習方法を教えて頂くこともでき、ボランティア活動を通して、色々なことを学ぶことが出来ました。参加された会員の皆さん、ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。



中信支部・降旗秀徳会員による松本大学講義

中信支部 宮澤 輝

令和元年12月9日（月）松本大学人間健康学部スポーツ健康学科の田邊愛子准教授から降旗秀徳会員に講義依頼があり、松本大学の学生70名に「整骨院を中心とした転倒予防教室（長野県柔道整復師会の取り組み）」というテーマで90分間の講義を行いました。

「公益社団法人について」「柔道整復師の業務」「様々なボランティア活動報告」「成長期の骨と筋肉の話」「スポーツ傷害の処置と予防ストレッチング」「テーピング」などをタイトル別にパワーポイントを用いて丁寧に講義を行いました。その後、「高齢者の介護予防」「ロコモティブシンドローム」「フレイル（健康と要介護の間）」など介護に関わる講義を行い、最後に日頃から降旗会員が安曇野市介護予防事業「足腰らくらく体操教室」で行っている二つの異なる動きを同時に行う体操を多数紹介し、生徒たちはとても楽しそうに実技を行っていました。

田邊愛子准教授から「実際行われているボラ

ンティア活動や介護予防の活動を生徒たちが知るきっかけになって良かった」と謝辞を頂戴し、また生徒の皆さんには「将来このような講義ができる人間になって欲しい」とお言葉を掛けていました。

降旗会員に於かれましては準備から講義まで大変お疲れ様でした。これから社会人になる学生さんには大切な情報になったのではないかと思います。



第5回 南信州まつかわハーフマラソン大会 救護活動報告

南信支部 小池 輝宗

9月8日（日）南アルプスと中央アルプスに挟まれた扇状地と段丘の果物の町松川で南信州まつかわハーフマラソンが行われた。標高700mのリンゴ畑から、稲穂が揺れる標高450mの天竜川まで、標高差250mを駆け抜けるアップダウンコース。種目はハーフ・5km・3km・3kmファミリーで、過去最多の2,310人が参加された。

松川町中央公民館えみりあ1階会議室に「ランナーケアコーナー」が設置され、北林武文会員・小澤雄司会員・奥村幸志会員・肥後和樹会員・竹内敏弘会員・関島康道会員・後藤安成会員・小池輝宗（計8名）で救護活動に参加した。

午前7時活動開始。天気快晴。ケア・処置を行ったのは、延べ106名（男性60名・女性46名）処置件数は140件（利用者が処置を希望された件数）主な部位は足部20件／大腿部9件／下腿部50件／腰部24件／膝関節13件／肩関節9件／頸部1件／臀部4件／股関節4件／肘関節1件／足底部5件であった。その他救急隊への引き渡し1件であった。午後1時活動終了。

当日は最高気温が34.5°、10時を過ぎた時点で30°を超える厳しい暑さの中でのマラソンと

なった。スタート前は体幹部を中心としたケアや下肢のテーピングが多く、ゴール後は圧倒的に下肢を中心としたケアが多かった。暑さのためか脱水に加え給水所にて水をかぶり全身が濡れたまま来所される方が非常に多く、体表温度が下がり筋肉の痙攣がなかなか改善されない方が相次いだ。急遽、お湯を用意してもらい痙攣部分を温める処置を行った。また、今年は大会側より経口補水液をあらかじめ用意していただき、そのようなランナーには給水を挟みながらケアを行った。

今回感じた事として、まずランナー側には走破した後はしっかりと着替えを行い体を冷やさないことを徹底していただきたい。中には、トップで走り抜けそのまま汗が滴るままでステーションに来られた方もいた。この辺りは救護と大会運営側で連携をとりランナーに充分注意喚起をしていきたい。救急搬送まで行かずとも、看護師の方が来てバイタルチェックを行ったり控え室で動けず横になっている方やトイレで吐いてしまったりと運動器の問題ではない方も多数見られ、救護はもう少し包括的な医療として提供できると良いのではないかと感じた。



柔道救護担当者講習会に参加して

南信支部 はにゅう接骨院 羽生 優

私自身、幼少期から始めた柔道がきっかけとなり柔道整復師の道に進み現在に至っています。柔道大会の救護に参加して救護担当者は柔道ルールを理解した上で様々な病態に対して適切に対応しなければならないことを実感しました。そこで令和1年7月28日、講道館にて柔道救護担当者講習会が行われたので参加してきました。

内容は

- ① 柔道大会運営の救護について。(審判規定と医療スタッフの役割)
- ② 試合で起きる重大事故の病態と症状。
- ③ 柔道における外傷初期対応について。

救護担当者に求められることはスポーツ大会における最前線の初期対応として、救命を含めたファーストエイド(心肺蘇生を含んだBasic life support)交通事故や重傷事故に匹敵するような外傷初期治療(プレホスピタルケア)から、絞技や頭部外傷などによって起こる意識障害、体幹・四肢外傷への対応などが求められる。よって外傷治療の経験、頸椎・脊椎外傷の認識、意識障害の症状をよく知っている、脳振盪を発見できることなどが大切となる。

柔道試合中での救護では試合を続けるのに必要な処置と判断(止血、重大な外傷)が必要となり、試合終了後では負傷に対する緊急の処置、救護室での初期治療(プレホスピタルケアと救急搬送)が必要となる。

【柔道の試合における重大事故】

頭部外傷(脳振盪・急性硬膜下血腫)、頸部外傷(頸髄損傷・頸椎脱臼骨折)、四肢外傷、熱中症、脱水による失神、絞技による失神、30歳以上の心筋梗塞。

脳振盪とは頭部打撲直後から出現する神経機

能障害であり、かつそれが一過性で完全に受傷前の状態に回復するものと定義されており、症状としては神経機能障害であり意識消失はその一項目に過ぎない。

- ① 認知機能障害としての健忘や興奮、意識消失。
- ② 自覚症状としての頭痛、めまい、吐き気、視力、視野障害、耳鳴り等。
- ③ 他覚症状としての意識内容の変化、ふらつき、多弁、集中力低下、感情変化など多種多様である。

また、頭部や顔面打撲によって頭部が激しく揺さぶられることにより、頭蓋骨と脳とに大きなズレを生じることが原因となる加速損傷はズレが強くなると、頭蓋骨と脳をつなぐ架橋静脈が破綻し、出血を起こし急性硬膜下血腫となる。

【止血の際の手袋着用について】

試合中の救護対応は出血処置が多いが、職種によって手袋着用率が異なり、医師や看護師は63%が着用するのに対して柔道整復師は25%しか着用していないと報告がある。大会救護中、救護担当者は手袋を着用し感染予防・創汚染予防をしなければならない。

【大会救護時にできてほしいこと】

- ・止血(短時間でカバーできる、顔面への対処ができる、手袋を着用したままできる)。
- ・外傷初期治療(頸椎固定、スパインボードを用いて安全に移動させることができる)。
- ・脳振盪を疑い試合続行の可否をすることができる。
- ・絞技での意識障害(試合を止めることができる、救命処置の手順ののっとり、呼吸、循環を見極め対処できる)、活法については統一

- した見解が出ていない。
- ・心停止に対するCRP（心肺蘇生とAEDの使用）
 - ・四肢外傷に関して適切な初期治療ができる。
- ※医療行為は、基本的に行わない。やっではだめだという事ではないが、不適切なことを行った場合は問題視されることが今後出てくるだろう。

最後に柔道の大会において救護担当者が外傷発生時に2次災害や重症化を起こすことなく対応できるように、またルール上（審判規定や大会規定）において救護担当者に決められている注意点を認識し、今後の活動に役立てていきたいと思います。

(第3種郵便物認可)

花束を贈られ、記念撮影する出口選手



制限時間内に生ける県ケ丘チーム

巨 松本市ロマンの信
毎メディアガーデンで
開かれた。出場した5
校のうち、中信勢で唯
一参加した松本県ケ丘
は2位に終わり、全国
大会出場を逃した。
県ケ丘からは華道同
好会2年生の田中菜々



御嶽山 絶景の星空



御嶽山(長野・岐阜県境)の山
上立って星空を仰ぎ見ると、吸
い込まれそうな感覚に襲われ、思
い込めきれぬほどの満天の星々
に包まれる。よく晴れた26日夜、
二ノ池近くの山小屋「二の池ヒュ
ッテ」から剣ヶ峰(ツテ)から
目を向けると、天が頂上から立ち上
がっていた。写真。
山小屋を切り盛り
さん(47)は「御嶽
空は他の山に負けな
を押す。この夜、山
ていた登山客も「星
て星座が分からない
しきりだった。

柔道・出口選手世界V祝う

松本での催しに200人

東京五輪へ意欲

世界柔道選手権東京大会の女子57kg級で優勝した、塩尻市出身でカナダ代表の出口クリスタ選手(23)。「日本生命」の優勝祝賀会が28日、松本市本庄1のホテルブエナビスタで開催された。柔道関係者ら約200人が参加し、世界一に輝いた功績をたたえ、来年の東京五輪での金メダルに期待を寄せた。出口選手は大きな拍手に迎えられて入場

し、記念品や花束を贈られると笑顔をのぞかせた。大会を振り返り「何が何でも優勝したいという気持ちで臨んだので優勝できてうれしかった」と語り、来年に迫った東京五輪に向けては「五輪でも優勝し、今回よりもっと大きな祝賀会をしてもいい」と抱負を述べた。祝賀会は出口選手が3歳から柔道を学んだ塩尻市の誠心館道場、

柔道部の3団体が主催した。県柔道連盟の木内義雄会長は「勇気と感動を与えてくれる素質を募集している。松本市は11月5日午後6時半〜7時半、梓川ふるさと公園で、環境学習講座エコスコー「星空観察会・上弦の月を見てみよう!」を開く。市内の小学3年生以上を対象に参加者を募集している。希望者は10月22日までに市ホームページの応募フォームまたははがきに▽講座名▽郵便番号▽住所▽参加者全員の氏名と年齢▽電話番号▽バス利用の有無を記入し、市環境政策課エコスコー担当

女子柔道・父の母国カナダ代表 世界選手権で得た赤さらに輝かせる

塩尻出身 クリスター



東京五輪金メダルを手にしたクリスター(撮影・光山 貴大)



母国カナダ代表のユニフォームを着たクリスター(取材・構成 川東 信人)

塩尻出身の出口クリスター(24)は日本生命が東京五輪の柔道女子57kg級で金メダルに挑む。父の母国であるカナダ代表としての道を



松商OG(でんくち・くりすた)は1995年(平7)10月28日生まれ、3歳から地元の誠心館道場で柔道を始め、松商学園高では1年時に全国総体52kg級で優勝。3年時にGS東京大会57kg級で3位に入った。山梨学院大3年時の2017年1月にカナダ代表の道を選択。18年世界選手権57kg級で3位に入り、19年に初優勝。甲府市在住で日本生命甲府支社勤務。山梨学院大では指導を手伝う。家族はカナダ人の父、日本人の母と妹。1人6人。

東京五輪でゴールドゼッケン!!

大学3年時悩みに悩んで選択の道を選んだ。母国カナダ代表として、父の母国であるカナダ代表としての道を

「柔道は毎年のように国際大会でついでに世界中の選手と切磋琢磨する機会があり、五輪で金メダルを獲得するとタイトル同様に黄金の輝きを

「柔道は毎年のように国際大会でついでに世界中の選手と切磋琢磨する機会があり、五輪で金メダルを獲得するとタイトル同様に黄金の輝きを

「柔道は毎年のように国際大会でついでに世界中の選手と切磋琢磨する機会があり、五輪で金メダルを獲得するとタイトル同様に黄金の輝きを

「柔道は毎年のように国際大会でついでに世界中の選手と切磋琢磨する機会があり、五輪で金メダルを獲得するとタイトル同様に黄金の輝きを

「柔道は毎年のように国際大会でついでに世界中の選手と切磋琢磨する機会があり、五輪で金メダルを獲得するとタイトル同様に黄金の輝きを

「柔道は毎年のように国際大会でついでに世界中の選手と切磋琢磨する機会があり、五輪で金メダルを獲得するとタイトル同様に黄金の輝きを

「柔道は毎年のように国際大会でついでに世界中の選手と切磋琢磨する機会があり、五輪で金メダルを獲得するとタイトル同様に黄金の輝きを

「柔道は毎年のように国際大会でついでに世界中の選手と切磋琢磨する機会があり、五輪で金メダルを獲得するとタイトル同様に黄金の輝きを

「柔道は毎年のように国際大会でついでに世界中の選手と切磋琢磨する機会があり、五輪で金メダルを獲得するとタイトル同様に黄金の輝きを

Map of Batacho Gyomu locations with QR codes and contact information for various branches like Batacho Gyomu Chuo-ku and Batacho Gyomu Maebashi.

あけましておめでどうございます 全店大型駐車場完備!! カーナビで

南信支部

市)は9日、製造業のライ
小型・軽量の分光カメラを
来利用されている光の三原
と同等サイズながら約5倍
で計測するため大幅な時間
は来年度中の市場投入を目
(浜安司)

新開発の分光カメラは、面
を撮影して16色の識別分類が
可能。レンズを除く本体サイ
ズは縦7センチ、横4センチ、幅3センチ。
重量は175グラムで軽量化を図
り、産業用ロボットのアーム
に付けても支障がない大き
さ。分光機能のほか画像処理
機能も利用可
能という。
より高度な
産業用ロボッ
トの利用に活
用でき、同社
では▽自動化
による検査の
定量化▽製造
ラインに組み

庁舎の3階を改修した。執務
室の面積は1.4倍に広が
り、個別相談室も3カ所に増
えた。県内9カ所ある労基署
のうち、ハローワークと同一
庁舎になるのは上田に続き2

込みやすい大きさ▽合成の手
間無く画像の出力が可能の一
三つの価値の提供を挙げ、従
来よりも手軽に製造工程の色
味の管理に寄与できるとして
いる。
商品化の詳細な時期、価格
に参考出品する予定。

子どものスポーツ けがの予防法紹介

県柔道整復師会南信支部
学術大会市民公開講座

県柔道整復師会南信支部
(宮下厚支部長)は8日、同
支部学術大会市民公開講座を
諏訪市のRAKO華乃井ホテ
ルで開いた。鍼灸師で理学
療法師の金野治郎さん(仙台
市)が「成長期におけるスポ



スポーツによるけが
の予防法などについて話す
金野治郎さん
指導者は足の
遅いことを踏
まえてどう補
うかを教え、
保護者は自主
トレーニング
のサポートを

は未定だが、同社製のロボッ
トと組み合わせたシステムと
しての提案を進めたいとして
いる。同製品は今年18日から
東京ビッグサイトで開かれる
「2019国際ロボット展」
に参考出品する予定。

ーツ障害とパフォーマンス向
上」と題し、子どものスポー
ツによるけがの予防法などに
ついて語った。約70人が聴講
した。

金野さんはプロ野球やサッ
カーJリーグのチームでトレ
ーニング指導の経験がある。
スポーツをする子どものレベ
ル向上には指導者やトレーナ
ー、保護者らの役割分担が必
要と強調。例えば足の遅い子
どもに対して

更年期障害の 知識や対策学ぶ

県栄養士会諏訪
支部より「薄黄会

民約40人が参加した。更年期
は閉経前後の45〜55歳ごろに
迎え、女性ホルモンのエスト
ロゲンの分泌が低下すること
で心臓や血管、自律神経、代

金プラチナ

9日の相場(税込)
9:30 AM相場
キロバー建1g 価格(単位:円)

金	プラチナ
小売価格	小売価格
¥5,652	¥3,523
買取価格	買取価格
¥5,565	¥3,392
小売前日9:30AM比 (土日・祝日を除く)	
▲¥55	▲¥16

(田中貴金属工業株調べ)

当日相場テレフォンサービス
0120-17-4143

安心の現物取引
田中貴金属工業株特約店

したらどうか、と勧めた。
最近の子どもは遊具や公園
で遊ぶことが減り「体幹機能
が落ちている」と指摘。スマ
ートフォンの普及などで姿勢
が悪い子どもが目立つとし、
しっかりとトレーニングを積み
る前提として「日常生活が大
切」と話した。男女別の特徴

では女子は膝関節のけがが多
く予防が必要とした。
県柔道整復師会はスポーツ
選手のけがの施術や復帰する
際のトレーニング指導などを
行っている。南信支部の市民
公開講座は諏訪、上伊那、下
伊那の3地域持ち回りで年1
回開いている。(小尾口有二)

13日茅野で海外 ビジネスセミナー

ジェトロ諏訪など

日本貿易振興機構(ジェト
ロ)諏訪支所、茅野商工会議
所、茅野産業振興プラザは13
日、茅野商工会議所で海外ビ
ジネスセミナー「米国の精密
加工産業とビジネスチャン

ス」を開く。参加者を募集し
ている。
米国の機械加工業の中心シ
カゴから機械分野の専門家を
招いて、最新動向やビジネス

入込み、問い
諏訪支所(電
2・3・4・4

心身に不調が表れるという。
大野代表は症状について「個
人差がある」とし、動悸や便
秘、集中力の低下や疲労感な
どを紹介。「自分の閉経の時

、中山たかしさん、小林ルイさんが出
演。入場料は3000円。時間は開場が
13分、開演が午前10時。問い合わせは
電話0266・22・1420へ。

JA虹のホールたまがわ

15日にリニューアル内覧会

玉川のJA虹のホールたまがわ=写真
人との最後の別れをゆっくり過ごして
5ように、
内の家族
夜室、霊

南信支部

子どもの特性見極めて

柔道整復師会 運動能力向上へ講演

諏訪、上・下伊那地域の接骨院などで構成する公益社団法人県柔道整復師会南信支部(宮下厚支部長)は8日、学術講演会・市民



公開講座を諏訪市のR A K O 華乃井ホテルで開いた。鍼灸師で理学療法士の金野治郎さん(右)が「成長期におけるスポーツ障害

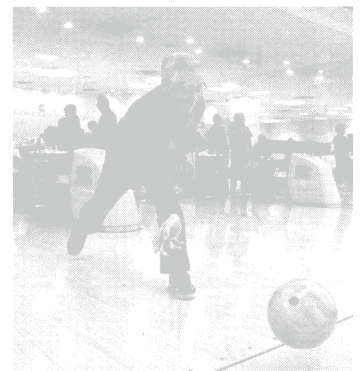
とパフォーマンス向上に体幹を鍛えることを呼び掛けた

金野さんはプロ野球やJリーグの専属トレーナーとしてチームに帯同し、日本体育協会公認アスレチックトレーナーも務める児童生徒もサポートする。指導者、トレーナー、家庭の役割を「指導者は強制せず、気付きを与える。トレーナーは家庭との架け橋となり、家庭は食事や不安を取り除く環境を整える。それぞれ役割分担を持つと同じ目標に向かって

現役生と体動かし交流

シニア賛助会

県シニア大学諏訪支部の同窓生有志らでつくる諏訪シニア賛助会は、このほど、現役シニア大生との交流会を岡谷市のスポーツ岡谷で



ボウリングを楽しむ参加者

開いた。会員、学生合わせて55人がボウリングに汗を流しながら、親睦を深めた。ボウリングをはじめハイキング、マレットゴルフを共に楽しむ年3回の交流の機会を設けるほか、日頃から互いの行事に参加し合う相互理解を深めている。各地が賛助会員減少の課題を抱える中、こうした日頃からの取り組みが卒業後の入会につながるため、諏訪は減少のペースが緩やかという。

強盗事件を想定 通報と対応確認

諏訪信金

諏訪信用金庫(本店・岡谷市郷田)はこのほど、強盗対応訓練を岡谷市長地源の長地支店で行った。拳銃を持った男が、営業中の店内に押し入ったことを想定。岡谷署員の指導で市内6店舗の約30人が、通報や犯人への対応を確認した。

個性認め合う職場に

人事担当者ら人権研修会

諏訪地域振興局はこのほど、諏訪地区人権研修会を諏訪市文化センターで開いた。県人



職場での円滑なコミュニケーション方法を説明した

め「コミュ

研修会は人権週間(12月4日～10日)に

一年未警戒運動期間に合わせ、諏訪6地

銃を突き出しながら「FBIにしろ。FBIに



安全課生活青木明弘さん



ご挨拶

北信支部 太田整骨院 太田 和信

初めまして。今年9月父より長野市の太田整骨院を引き継ぐことになりました。

急なことで身の引き締まる思いであります。

諸先輩、事務局の方々にご指導を受けながら施術管理者として研修中です。

私事ですが1月に腰椎椎間板ヘルニアを発症し、今までに経験した事のない痛み、痺れ、不眠が続きました。まさに解説書通りで左脚の強烈な痺れには参りました。

幸いにも手術には至らずブロック注射後、痛み止めと院での施術により三月になんとか復帰できました。足もつけず思うように動けない不

安な日々は患者さんの痛みを知るいい体験となりました。その間すぐ駆けつけてくれた先生、休日に施術して下さった先生の高度な技術と深い知識、真摯な施術には感服し、一步でも先生方に近付きたいと思いました。

また根気よく向き合ってくれた父には、最後まで心配をかけてしまいました。

まずは自身の体調管理からと心し、祖父・父と続いた志を忘れず誠心誠意仕事に邁進していきたいと思えます。

まだまだ未熟者ですが今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。





ご挨拶

北信支部 勝山整骨院 **勝山 一紀**

令和元年9月末に須坂市で開業しました勝山一紀と申します。

長野市の信州スポーツ医療福祉専門学校を卒業し、赤沼整骨院にて研修をさせて頂きました。

私が柔道整復師を目指したきっかけは学生時代の自身のケガにあります。

小学生のころから野球一筋で過ごしており、長い競技人生の中で何度もケガに見舞われましたが、その際整骨院の先生にはとてもお世話になり競技に精一杯取り組むことができました。

そんな経験から私もケガや痛みにお悩みの方のお力になりたいと思い柔道整復師を志し、今回開業を致しました。

臨床で常に感じることは、誰一人同じ人はいない。ということです。しかも患者様の症状は1人1人異なりますので、研修時代に学んだことを軸に、患者様ひとりひとりに寄り添いコミュニケーションをとりながらその方の症状、お悩みが一つ一つ改善されるよう私ができることを誠心誠意おこなってまいります。

一人でも多くの方に「勝山整骨院があってよかった」と思ってもらえるように地域と患者様のために日々精進していく所存です。

まだまだ未熟者で至らぬ点多いかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。





自己紹介

南信支部 佐藤整骨院 櫻井 良輔

はじめまして、平成31年4月に入会しました櫻井良輔と申します。

私は米田柔整専門学校を卒業後、長野市にある整形外科で5年間働き、現在地元である伊那市の佐藤整骨院で研修させて頂いております。整形外科では主に医師の診察補助やリハビリやトレーナー業務に携わせて頂き、特に超音波と肩関節を専門に学んで参りました。現在は歩行や姿勢分析を主に勉強し、整骨院での業務に携わせて頂いております。また自分の趣味としてバドミントンをしていることから学生に対してバドミントンを教えさせて頂く機会があり、現場でのコーチングやトレーナー活動を行わせて頂いております。

地元である伊那で働ける機会を頂いたことに感謝し、患者さん1人1人と向き合いながら人として成長できるように精進して参ります。ま

だまだ至らない点が多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後ともご指導・ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。



事業部

令和元年 第2回事業部会 会議録

中信支部事業部長 権藤 俊和

日 時：令和元年11月30日（土） 午後4時～
場 所：会館

出席者：宮下厚・小林毅・山内明・上原哲・ 権藤俊和（5名）

【議 題】

(1) 令和2年度事業計画（日程については変更も有り）

- 6月6日（土） 第1回事業部会
- 7月4日（土） 日本赤十字社長野県支部・救護隊との懇談会
- 8月1日（土） 長野びんずる
- 8月30日（日） 四地区親睦交流会
- 9月6日（日） 安曇野市・松本市総合防災訓練
生活習慣病予防健診（長野）
- 9月13日（日） 生活習慣病予防健診（松本）
- 10月～11月 生涯学習講演会（東信支部主幹）
- 11月7日（土） 東海ブロック合同災害救護訓練（諏訪）

(2) 令和2年度予算案

- ・赤十字奉仕団ユニフォーム、防災訓練用安全靴は使用していない会員から回収し非所持の会員へ
 - ・ボランティア保険加入者の検討
 - ・トレーナーバッグ購入費は不計上
 - ・長野マラソンは日赤から救護としての依頼が未定なため不計上
- その他は基本的に前年度に準じる

(3) 四地区親睦交流会

令和2年8月30日（日）開催

【実施内容】 レクリエーション

【実施項目】 ボーリング・麻雀・戸隠神社奥社

【懇親会会場】 メトロポリタン

(4) その他

- ・四地区親睦交流会と名刺交換会等を交互に隔年開催の提案
- ・生涯学習単位取得取りまとめを事務局に依頼要望

今後の予定：令和2年2月16日（日）中信支部 救急法講習会（松南地区公民館）

令和2年3月14日（土）第3回 事業部会（松本市）

令和2年3月 東信支部 救急法講習会

広 報 部

令和元年度 第3回広報部会 会議録

南信支部広報部長 野口 邦治

日 時：令和元年11月16日（土） 15時30分～18時20分

場 所：（公社）長野県柔道整復師会 会館（会議室）

出席者：（広報部） 三澤茂明 内堀泰明 小島弘光 宮澤輝 野口邦治
（IT委員会） 宮沢康信 竹岡聖師

議題

- (1) ほねつぎ109号について
 - ・ 昨年同時期の会議録を基に、掲載する内容の確認及び手配を行った

- (2) ホームページ リニューアルについて
 - ・ HPに掲載するコンテンツの詳細を決定
 - ・ 会員専用ページに掲載する内容の確認と更新について
 - ・ 協同組合レンタルサーバー及びドメインについて決定

- (3) マメールについて
 - ・ 各支部の最新のマメール登録状況の確認
 - ・ マメール未登録者への呼びかけ方法の検討

- (4) その他
 - ・ 事務局の休日（土・日曜日）、緊急時のマメール発信について
 - ・ 令和2年1月（日付は未定・事務局戸田様と協議の結果）に第4回広報部会開催予定
 - ・ 内報及び広報誌に掲載する被災地ボランティア画像について協議

スポーツ支援部

令和元年第2回スポーツ支援部会

令和元年9月28日（土） 午後3時～
本会会館

出席者 石坂秀司 横関康寿 高原義勝 関崎直樹 高木観志
市川 敦 三澤勇斗 高原祐樹 伊藤 篤

1. 開会の辞
2. 部長挨拶
3. 自己紹介
4. 議事 議事録作成 [担当：南信]

◎ 総括

- ・ 事業報告
- ・ 活動計画
- ・ 予算
- ・ 部員名簿
- ・ 機関誌担当者

A スポーツボランティア

(1) スポボラ活動

① 派遣依頼

- ・ 中体連 担当者からの派遣依頼に合わせ人員派遣
- ・ 高体連 トレーナーを確定されたものについては受理派遣
- ・ 国体その他 派遣申請書を受けたものに対し、派遣を行う。

② 実施と報告

- ・ トレーナー活動注意事項の遵守
- ・ トリートメントシートをもとにトレーナーレポート 提出

③ 集計

- ・ 半期ごとに各地区の活動報告を機関誌に上げる [担当：東信]
- ・ 通年のトレーナーレポートの取りまとめ [担当：北信]
- ・ 通年の活動報告に基づき 活動支援金の交付（3月）
- ・ 地区で活動支援金の給付

(2) 部員派遣

- ・ 長野県競技力向上対策本郡委員 高原義勝部員
- ・ スポーツ医科学サポート会議 9月 [機関誌担当：北信]

- ・トップ指導者ミーティング 7月 [機関誌担当：北信]
- ・スポーツドクター協議会 4/5 [機関誌担当：北信]

(3) 協議事項

- ・スポボラ活動の問題点
- ・活動推進大綱・ボランティア会費等の実施要項
- ・保険について⇒柔道整復師賠償責任保険を準用

B 柔道関連

各種柔道大会支援

- (1) 県チャンピオン大会の開催 6月23日
- (2) 全国柔道整復師会少年柔道大会、少年形競技会、日整全国柔道大会に協力 10月14日
- (3) 各種柔道大会協賛、助成
柔道連盟 救護派遣、理事会等
- (4) 北信越ブロック柔道大会開催 6/16
石川県立武道館 長野県チーム2位
- (5) (公社)柔道昇段審査開催 (見送り)

【活動内容について】

①少年柔道

- ・各地区予選会 5月ごろ (協賛金5 + 活動支援金5)
- ・県少年柔道大会 (県チャンピオン大会共催) 6/23 上田市 [機関誌担当：東信]
- ・日整少年柔道大会 10/14 講道館 [機関誌担当：監督 神農来栄]

②少年柔道形競技会 新潟との申し合わせで 隔年で全国チーム選出。
今年はない

③日整全国柔道大会

- ・県内予選会 6月23日
- ・
- ・北信越ブロック柔道大会6月16日 (石川県) [機関誌担当：選手]
- ・全国大会 10月14日
- ・合宿

報告事項

- ・北信越柔道大会選手選考会結果について
予選会5/18
- ・長野県選手団 6月23(土) 石川県立武道館にて大会参加 結果 2位
監督 小林 修 先鋒(20代)土屋 樹 次鋒(30代)土屋 歩
中堅(30代)村山洸介 副将(40代)岩下貴士 大将(50代)齊藤公志郎
- ・日整全国大会代表選手 (土屋 樹 村山洸介 岩下貴士)
北信越東部代表監督 (小林 修) [内報、機関誌原稿：参加選手]

- ・第28回（公社）長野県柔道整復師会杯少年柔道大会について
第23回 長野県少年・少女柔道チャンピオン大会 との抱き合わせ
当日の役員の出席は副会長 柏木、部長 石坂 柔道委員 市川。
日整大会参加選手及び監督は当会会長が決定し、認定証を授与する。
[内報・機関誌原稿：東信]

◎その他

柔道強化支援について

以前行っていた合宿を行う。

柔道整復師会昇段審査会を復活させる。

5. 閉会の辞

会 務 報 告

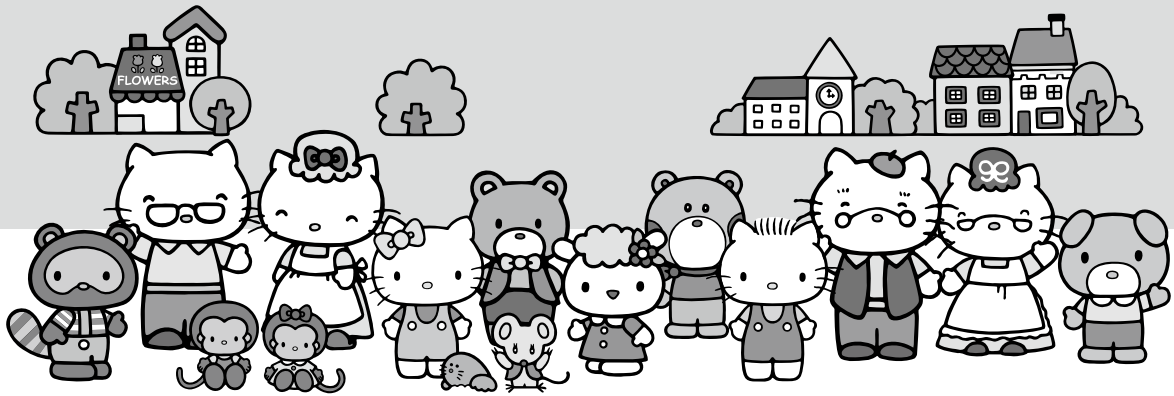
新入会員

令和元月5月末現在

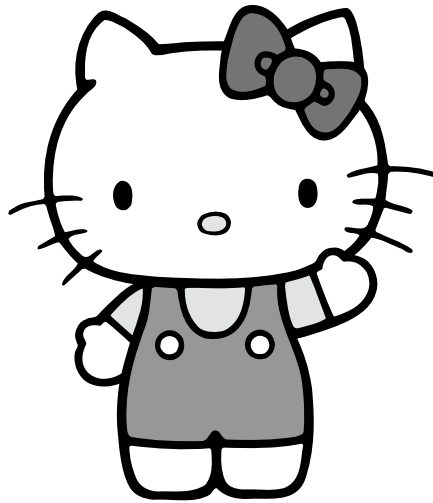
地区	氏 名	郵便番号	住 所	会員種別	入会年月日	備考
中信	深澤 歩	390-0814	松本市本庄1-7-12	賛助会員	1.10. 1	

会員の異動

地区	氏 名	郵便番号	住 所	会員種別	入退会年月日	備考
東信	土屋 樹	385-0022	佐久市岩村田1307-14	正会員	1.10. 7	賛→正
北信	小林 尚生	381-0024	長野市大字南長池440-9	正会員	1. 9. 1	移転
北信	太田 捷也	380-0935	長野市中御所1-11-7	正会員	1. 9.10	死亡
北信	太田 和信	380-0935	長野市中御所1-11-7	正会員	1. 9.18	賛→正
北信	勝山 一紀	382-0086	須坂市須坂1387	正会員	1. 9.24	賛→正
北信	金兎 清次	381-1214	長野市松代町柴411-1	正会員	1. 9.30	退会
北信	北村 歩	387-0021	千曲市大字稲荷山1782-91	正会員	1.10. 1	退会
北信	山崎 裕	389-2303	下高井郡木島平村上木島38-1	正会員	1.11. 1	移転
中信	水澤 賢	390-0833	松本市双葉12番地	正会員	1.10.31	退会
東信	中村 元	386-0012	上田市中央4-2-13	賛助会員	1. 7. 9	退会
東信	小池 祐貴	386-1325	上田市中野字宮前335-14	賛助会員	1.11.30	退会
北信	小橋 学広	389-2101	中野市豊津2479-11	賛助会員	1. 7. 1	正→賛
北信	高橋 誠希	380-0816	長野市三輪1313-13	賛助会員	1.10.31	退会
中信	倉石慎太郎	399-0745	塩尻市大門桔梗町2-3	賛助会員	1. 8. 5	退会
南信	尾曾 有希	399-3301	下伊那郡松川町上片桐3314-3	賛助会員	1. 9.20	退会



フコク生命は、「ハローキティ」とともに
夢と安心をあなたにお届けします!!



HelloKitty

©1976, 1999, 2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G593069

「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。

富国生命保険相互会社 松本支社 〒390-0874 松本市大手 2-3-18 松本フコク生命ビル 6F TEL：0263-32-1963

☎広-045-2821 (2019.11.8)

すてきな未来応援します

フコク生命

メディセル 筋膜療法

施術は『押す』から『吸う』の時代へ 筋膜を制する！

あの患者さんの痛みの原因は
筋膜にあった！

1 押すから吸うの新発想で、低リスク&全身施術を実現

独自開発のヘッドによって指先から頭皮まで全身の不具合にアプローチ

2 即効性が高く、施術効果がわかりやすい

筋膜に起因する症状であれば、Before&Afterが患者さんにすぐ実感してもらいやすい
全国1,500台の実績を活かし、各種セミナーや臨床発表会などによって、効果的な施術アプローチの情報共有を行なっております。

すでに多くの実績！！

筋膜リリース専用機
「メディセル」は
日本国内に
1,500台導入済！

3 施術時間の大幅短縮が可能

患者さんの時間的・身体的負担を軽減！！

手技による筋膜リリースに比べ、筋膜リリース専用機を使用することで大幅に施術のスピードアップを実現します。



販売代理店



医科器械・医薬品・システム全般

株式会社 トーク

〒380-0802 長野市上松2-21-13

TEL.026-252-7360 FAX.026-252-7340

デモ依頼・お問合せはこちらから

TEL.0120-527-366 FAX.0120-109-373

製造・販売元



MJ COMPANY 株式会社MJカンパニー

人にも環境にもやさしい 植物性天然酵素の環境対応商品 ニコエコシリーズ全十種類

ニコエコは未来に向けて自然との共生で地球環境保全

に貢献することを目的に「安全・安心・環境改善」の企業

理念のもと、松田松二先生（農学博士・信州大学名誉教授）

ら産学協同商品開発研究会の協力により、研究と実験を重

ねバイオの力で汚れを落とすだけでなく、人にも環境にもや

さしい画期的な商品の製造に成功しました。

これまでに「風呂用」・「スパ・モイストウォーター」他、

計十種類の製品を開発。

全身のニオイや汚れを取り去り流した水が、川や土壌を
汚染しないとたくさんの方々によるこぼれております。



農学博士・
信州大学名誉教授
松田 松二先生

今回環境を汚さず人にやさしい画期的な酵素洗剤の研究開発にたずなりました。使い続けるうちに環境にやさしいものこそ体によいことがわかるでしょう。自然に学びスローライフに組するみなさんも酵素洗剤を使用して健康な美肌と環境を手に入れて下さい。

ニコエコをお使いいただいているお客様の声

- 夫の体が不自由で、お風呂に入るのが苦勞していました。ニコエコは、いつもより長くお湯に浸かるだけで、汚れが落ちて、介護される者も介護する者も助ってます。長野県 A様
- 石鹸も、シャンプーも使わず、ニコエコのお湯だけで洗っています。ニコエコは節約にもなるので、こどものおフロが面倒ではない。ラクチン！ 埼玉県 酒井様
- 5人家族のウチでも、何番目に入ってもニオイがないのが気に入っています。それに、お湯がまるやかで、肌に優しい感じがしますね。北海道 山田様
- 風呂場のタイルにつくピンクのカビがつかなくなりました！！風呂のあと、洗たくにも使っていますが、洗たく物の汚れ落ちも良くなり、仕上がりが、やわらかくなったようです！洗濯槽の中もキレイ！！ 兵庫県 カナ様
- 子供の皮膚が弱いので洗剤には気を使っています。いろいろ試しましたがニコエコが一番よかったです！これからも使っていきたいと思えます。東京都 奥田様
- セーターを洗うのに重宝しています。柔軟剤を使わなくてもふわふわ！すすぎが1回でいいというのが水道代の節約でいいです。東京都 松尾様

・・・この他多数の実感の声が寄せられています！

取扱店募集



時代のニーズにこたえる
株式会社ニコエコ

TEL 0268-27-2121

FAX 0268-27-2124

ホームページ <http://www.nicoeco.com>

〒386-0033 長野県上田市御所 206-19



KANAKEN

Biomini II

— バイオミニ II —

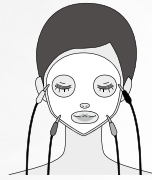
体のIC回路を調整



マイクロカレント
微弱電流

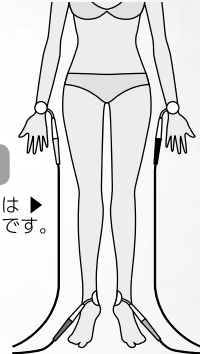
4つのモードから選ぶ
簡単操作!!

こり 痛み 美肌(再生) 疲労(リンパドレナージュ)



顔

◀お肌の細胞を活性化させるマスク通電は一人でもできます。



全身

リンパドレナージュは ▶ 全身の疲れにお勧めです。

バイオミニ II

KE-562 138,000円+税

〔クラスII/特管〕
認証番号 226AFBZX00071000

『専用ハードケース』付き



付属品

品名	商品コード	価格(税別)
① 粘着導子 TRS-7000	KE-549E	1,800円
② オクトバスコード	KE-509K	12,000円
③ ワニアアダプター(4個1組)	KE-563A	2,400円
④ 専用ハードケース	KE-563C	4,000円

別売品

品名	商品コード	価格(税別)
⑤ エーカークリップ	KE-509N	18,000円
⑥ 専用ACアダプター	KE-563B	2,500円

鍼電極低周波治療器

KANAKEN

Lasper-A・MC

エース エムシー
ラスパーA・MC

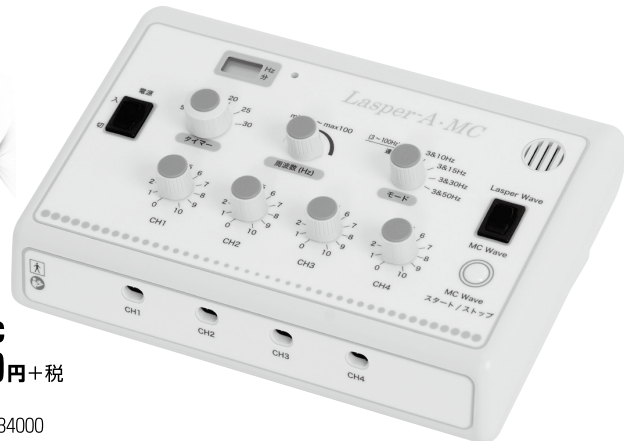
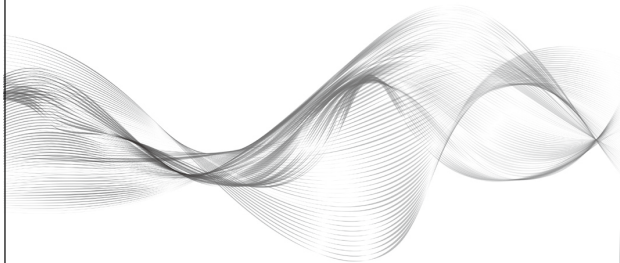
鍼電極低周波治療器

+

マイクロカレント

マイクロカレントは実績のデュアルクロス通電方式

この1台で鍼治療は「新たな時代」を迎える



ラスパーA・MC

KE-600 65,000円+税

〔クラスII/特管〕
認証番号 230ALBZX00034000

総発売元 株式会社 **カナケン**
本社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL 045-901-5471(代) FAX 045-902-9262
オンラインショップ <http://e-kenkou.jp/> E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL_06-6935-3016(代) FAX_06-6935-3017
新潟営業所: TEL_025-286-0521(代) FAX_025-286-8870
福島営業所: TEL_024-961-7211(代) FAX_024-961-7221
仙台出張所: TEL_022-287-6273(代) FAX_022-287-6218

公益社団法人長野県柔道整復師会の皆さまへ

お得なお知らせです！ 日本柔道整復師会契約数 **982**メーター (2019年11月末現在)

電気料金見直しで コスト抑え込み！

カンタン お手続き！

1. メリットを試算

検針票を送る

【FAXで送る】
専用紙で検針票を送ります。



後日、試算表が届きます。
削減メリットがひと目でわかります。

【メールで送る】
スマートフォンや携帯で検針票を撮影して、必ず都道府県・組合名・氏名・連絡先を記入の上、

judo@mitsuuroko.co.jp

宛てにメールでお送りください。
後日メールにてシミュレーション結果を返信いたします。



メールアドレス
QRコード

【担当者に直接渡す】
ご希望であれば直接お伺いし、その場で試算が可能です。その場では試算出来ない場合は、検針票を持ち帰り後日、担当者がお持ち致します。



2. 申込み

申込書を送るだけ



メリットに納得したら、申込書に必要事項を書いて送るだけ！

カンタン！

3. 供給スタート！

手続き完了をご連絡

切り替わった！



次回または次々回の検針から供給スタート！
メータ交換する場合があります（無償）

ミツウロコでんき切替実績(参考)

A 接骨院 (従量電灯 B 60A)	年間 286,774 円 ⇒ 年間 253,764 円	年間 33,000 円の削減
B 接骨院 (従量電灯 C 8kVA)	年間 184,963 円 ⇒ 年間 171,214 円	年間 13,700 円の削減
C 接骨院 (従量電灯 B 50A)	年間 149,966 円 ⇒ 年間 140,149 円	年間 9,800 円の削減
D 接骨院 (従量電灯 C 8kVA)	年間 240,632 円 ⇒ 年間 217,489 円	年間 23,100 円の削減

日本柔道整復師協同組合 指定登録業者

お問い合わせ先

ミツウロコでんき柔道整復師協同組合員様専用ダイヤル

0120-504-579

フリーコール

受付時間 9:00～19:00 (日・祝日を除く)

▲ ミツウロコグループ

『三四郎くん』は、日本全国で最も多く使われている 接骨院・整骨院専用のレセコンです!

柔道整復師向 事務管理システム

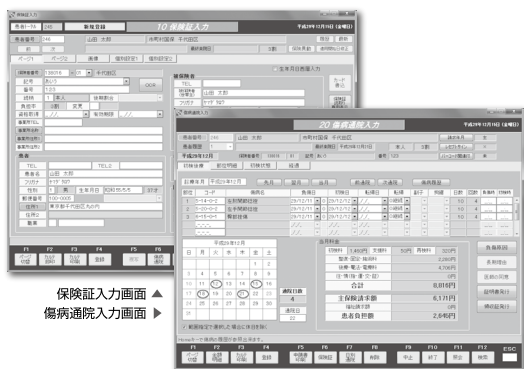
三四郎くんVer.7.5

使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の
保険改正にすばやく対応。迅速サポートでご好評を
頂いている『三四郎くん』は、常に進化を続ける信頼
と実績の事務管理ソフトです。



他社からのデータ移動も
お任せ下さい!

※一部ご希望に添えない場合があります。

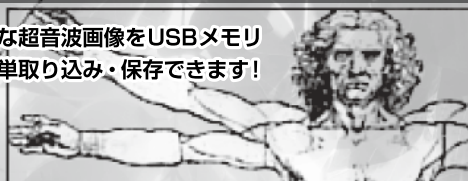


保険証入力画面 ▲
傷病通院入力画面 ▶

超音波画像ファイリングシステム

ウルトラ三四郎 Next

大切な超音波画像をUSBメモリ
で簡単取り込み・保存できます!



超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



Xario100

Platinum Series
医療機器認証番号:
225ACBZX00065000
製造販売元:
キヤノンメディカルシステムズ株式会社



Viamo c100

医療機器認証番号:
228ACBZX00020000
製造販売元:
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

柔道整復師限定

特別価格にてご提供致します!



Viamo sv7

医療機器認証番号:
225ACBZX00025000
製造販売元:
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

HS-2200

医療機器認証番号:
225AHBZX00034
製造販売元:
本多電子株式会社



ARIETTA

Prologue SE
医療機器認証番号:
227ABZXX0109000
製造販売元:
株式会社日立製作所

詳しくは担当営業に
お尋ね下さい

SB 株式会社 エス・エス・ビー

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>

詳しくはこちら

【北信越営業所】〒381-0037

長野市西和田 1-13-6 レジデンス西和田102号

TEL 026-256-9020 / FAX 026-256-9021

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース

▶▶ <http://www.jusei-news.com/>



長野県接骨師協同組合 福利厚生プラン

ハイパー任意労災(業務災害総合保険 疾病入院医療費用補償特約 等セット)

経営者の皆さま、必見!

福利厚生の充実に役立ちます!

社長、役員、全従業員の病気による入院を補償

お一人あたり

実費
補償

日帰り入院OK
100万円 限度



病気入院補償「疾病入院医療費用補償特約」4つの特長

- 1 個別告知は不要**で、従業員の方を無記名で補償します。
【ご注意】保険期間の開始前に発病していた病気の治療を目的とする入院は、保険金のお支払いの対象とはなりません。
- 2 保険料は年齢・性別に関わりなく、貴社の事業内容および売上高により決定します。**
- 3 法人が契約者の場合、保険料は全額損金扱いとなります。**
※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する保険料は、全額損金扱いとなります
(法人税基本通達9-3-5.9-3-6の2を準用 2019年12月現在)
- 4 役員・従業員等の方々が充実したサービスをご利用いただけます。**

24時間電話健康相談

セカンドオピニオンアレンジサービス

生活習慣病サポートサービス

がん治療と仕事の両立支援サービス

※ これらのサービスはティーパック株式会社に委託してご提供します。また、サービスは今後予告なく変更または中止する場合があります。

この広告は保険商品の概要をご説明したものです。また、疾病入院医療費用補償特約のみのご契約はできません。詳細につきましては、パンフレット等をご覧頂くか、取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせ下さい。

【引受保険会社】
AIG損害保険株式会社 長野支店
〒380-0813
長野市鶴賀緑町1393-3富士火災長野ビル
TEL 026-224-4110
午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
<https://www.aig.co.jp/sonpo>

【お問い合わせ・申し込みは】

取扱代理店 ベストライフ株式会社
〒381-0012 長野市柳原1459-11
TEL 0120-122-589

2019年12月現在の内容です。
D-004340 有効期限2021-1

私たちが育てられたもの
いつまでも「本」の明和でありたい

出版・印刷のご相談はお気軽に当社へ！

本づくり一筋に！
100%まかせられるプロ集団が
あなたの本づくりを強力にバックアップ！
まずはご相談ください。



明和印刷株式会社

本 社 〒380-0943 長野県長野市安茂里 2161-2
TEL.026-226-5311 FAX.026-228-0799
E-mail info@meiwa-ms.co.jp
URL <http://www.meiwa-ms.co.jp>
東京支社 〒175-0081 東京都板橋区新河岸 2-9-12
TEL.03-3976-1801 FAX.03-3976-1802

ほねつぎ第110号（夏季号）発行予定日と締切予定日

▶ 投稿される方へのお願い ◀

1. Wordで作成された原稿・写真はUSBメモリーに書き込みお送りいただくか、E-mailの貼付ファイルで送信してください。
2. 原稿にテーマ・タイトル・支部名・氏名など記載していただき、指示書と共に提出してください。
3. 寄稿者の顔写真も貼付してください。
4. 投稿用写真には必ず説明文を記載してください。

業界の年鑑となるよう様々な情報・事業報告・ご提言等多くお寄せください。

原稿締切	◆2020年6月10日◆
宛先	(公社)長野県柔道整復師会 広報部宛
電話	026-224-6800 ファックス 026-224-7575
Mail address	chousei@orion.ocn.ne.jp
発行予定日	2020年7月

▶ 編 集 後 記 ◀

「広報ほねつぎ」2020 No.109冬季号は2019年（令和1年）7月～12月の出来事を記載しております。

下半期は度重なる台風により千葉県を中心に東日本の広い範囲が未曾有の災害に見舞われました。長野県でも10月12日から13日にかけての台風19号の豪雨により千曲川沿いで大規模な水害が起こり激甚災害に指定されました。

そんな状況の中、(公社)長野県柔道整復師会でも日々復旧にご尽力している被災者の疲労を癒すため長野市の避難所にマッサージブースを設営し、北信支部の会員を中心に本会会員が連日ボランティア活動を行いました。

今回の「広報ほねつぎ」では特集としてこの激甚災害のボランティア活動の報告を記載しましたのでどうぞそちらの方もご覧ください。

広報部 中信支部 宮澤 輝



表紙写真説明

柔道整復術公認100周年

長野県柔道整復師会創立95周年

社団法人設立50周年

長野県接骨師協同組合設立25周年 記念式典

公益社団法人長野県柔道整復師会機関誌
広報 ほねつぎ (第109号) 冬季号

発行所 長野市大字安茂里伊勢宮2167-9
公益社団法人 長野県柔道整復師会

発行 令和 2 年 1 月 末日

発行人 高 田 保

編集責任者 三 澤 茂 明

印刷所 明 和 印 刷 株 式 会 社

